



レガシー データ構造の概要

この付録には、旧バージョンの Firepower システム 製品の eStreamer によってサポートされるデータ構造に関する情報を記載しています。

クライアントが、旧バージョン形式でデータを要求するようにビットが設定されているイベントストリーム要求を使用する場合、この付録の情報を使用して、受け取るデータ メッセージのデータ構造を識別できます。

バージョン 5.0 より前は、検出エンジンに個別に ID が割り当てられていたことに注意してください。バージョン 5.0 では、デバイスに ID が割り当てられます。この点は、バージョンに基づいてデータ構造に反映されません。



(注) この付録では、Firepower システム のバージョン 4.9 以降からのデータ構造のみを説明します。以前のデータ構造バージョンによる構造向けの資料が必要な場合は、Cisco カスタマー サポートにお問い合わせください。

詳細については、次の各項を参照してください。

- [レガシー侵入データ構造 \(B-1 ページ\)](#)
- [レガシー マルウェア イベントのデータ構造 \(B-50 ページ\)](#)
- [レガシー ディスカバリ データ構造 \(B-93 ページ\)](#)
- [レガシー接続データ構造 \(B-127 ページ\)](#)
- [レガシー相関イベントのデータ構造 \(B-247 ページ\)](#)
- [レガシー ホスト データ構造 \(B-263 ページ\)](#)

レガシー侵入データ構造

- [侵入イベント \(IPv4\) レコード 5.0.x ~ 5.1 \(B-2 ページ\)](#)
- [侵入イベント \(IPv6\) レコード 5.0.x ~ 5.1 \(B-8 ページ\)](#)
- [侵入イベント レコード 5.2.x \(B-14 ページ\)](#)
- [侵入イベント レコード 5.3 \(B-20 ページ\)](#)
- [侵入イベント レコード 5.1.1.x \(B-26 ページ\)](#)
- [侵入イベント レコード 5.3.1 \(B-32 ページ\)](#)
- [侵入イベント レコード 5.4.x \(B-38 ページ\)](#)
- [侵入影響アラート データ \(B-47 ページ\)](#)

侵入イベント (IPv4) レコード 5.0.x ~ 5.1

侵入イベント (IPv4) レコードのフィールドは、次の図では網掛けされています。レコードの種類は 207 です。

侵入イベント レコードは、要求メッセージに侵入イベント フラグまたは拡張要求フラグを設定して要求します。[要求フラグ \(2-12 ページ\)](#) および [拡張要求の送信 \(2-4 ページ\)](#) を参照してください。

バージョン 5.0.x ~ 5.1 の侵入イベントの場合、イベント ID、管理対象デバイス ID、イベント秒により固有識別子が形成されます。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ヘッダーバージョン(1)								メッセージタイプ(4)																							
	メッセージ長																															
	Netmap ID																レコードタイプ(207)															
	レコード長																															
	eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	デバイス ID																															
	イベント ID.																															
	イベント秒																															
	イベントマイクロ秒																															
	ルール ID(シグネチャ ID)																															
	ジェネレータ ID																															
	ルール リビジョン																															
	分類 ID																															
	プライオリティ ID																															
	送信元 IPv4 アドレス																															
	宛先 IPv4 アドレス																															
	送信元ポート																接続先ポート															
	IP プロトコル ID								影響フラグ								影響								ブロック							

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット																																
	MPLSラベル																															
	VLAN ID																パッド															
	ポリシー UUID																															
	ポリシー UUID(続き)																															
	ポリシー UUID(続き)																															
	ポリシー UUID(続き)																															
	ユーザID																															
	Web アプリケーション ID																															
	クライアントアプリケーション ID																															
	アプリケーションプロトコル ID																															
	アクセスコントロールルール ID																															
	アクセスコントロール ポリシー UUID																															
	アクセスコントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセスコントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセスコントロール ポリシー UUID(続き)																															
	インターフェイス入力 UUID																															
	インターフェイス入力 UUID(続き)																															
	インターフェイス入力 UUID(続き)																															
	インターフェイス入力 UUID(続き)																															
	インターフェイス出力 UUID																															
	インターフェイス出力 UUID(続き)																															
	インターフェイス出力 UUID(続き)																															
	インターフェイス出力 UUID(続き)																															
	セキュリティゾーン入力 UUID																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
セキュリティゾーン入力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID																																
セキュリティゾーン出力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID (続き)																																

次の表は、各侵入イベントレコードデータフィールドについての説明です。

表 B-1 侵入イベント (IPv4) レコードのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
デバイス ID	uint32	管理対象デバイスの検出の ID 番号が含まれます。バージョン 3 または 4 メタデータを要求すると管理対象デバイス名を入手できます。詳細については、 管理対象デバイスレコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
イベント ID	uint32	イベント ID 番号。
イベント秒	uint32	イベント検出の UNIX タイムスタンプ (1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
イベントマイクロ秒	uint32	イベント検出のタイムスタンプの、マイクロ秒 (100 万分の 1 秒) 単位の増分。
ルール ID (シグネチャ ID)	uint32	イベントに対応するルールの ID 番号。
ジェネレータ ID	uint32	イベントを生成した Firepower システム プリプロセッサの ID 番号。
ルールリビジョン	uint32	ルールリビジョン番号。
分類 ID	uint32	イベント分類メッセージの ID 番号。
プライオリティ ID	uint32	イベントに関連付けられている優先順位の ID 番号。
送信元 IPv4 アドレス	uint8[4]	アドレスオクテットの、イベントで使用される送信元 IPv4 アドレス。
宛先 IPv4 アドレス	uint8[4]	アドレスオクテットの、イベントで使用される宛先 IPv4 アドレス。

表 B-1 侵入イベント (IPv4) レコードのフィールド (続き)

フィールド	データタイプ	説明
送信元ポート	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は送信元ポート番号。
接続先ポート	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は宛先ポート番号。
IP プロトコル番号	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none">• 0:IP• 1:ICMP• 6:TCP• 17:UDP

表 B-1 侵入イベント (IPv4) レコードのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
影響フラグ	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x01 (ビット 0): 送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 0x02 (ビット 1): 送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 0x04 (ビット 2): 送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか (TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 0x08 (ビット 3): イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 0x10 (ビット 4): イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 0x20 (ビット 5): イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました (デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 0x40 (ビット 6): このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 0x80 (ビット 7): イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。 <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (0、不明): 00x00000 赤 (1、脆弱): xxx1xxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx オレンジ (2、潜在的に脆弱): 00x00111 黄 (3、現在は脆弱でない): 00x00011 青 (4、不明なターゲット): 00x00001
影響	uint8	<p>イベントの影響フラグ値。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: レッド (脆弱) 2: オレンジ (脆弱の可能性あり) 3: イエロー (現在は脆弱でない) 4: ブルー (不明なターゲット) 5: グレー (不明なインパクト)

表 B-1 侵入イベント (IPv4) レコードのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ブロック	uint8	イベントがブロックされたかどうかを示す値。 <ul style="list-style-type: none"> 0: ブロックされていない 1: ブロックされた 2: ブロックされた可能性がある(設定では許可されていない)
MPLSラベル	uint32	MPLS ラベル。
VLAN ID	uint16	パケットの発信元の VLAN の ID を示します。
パッド	uint16	今後使用するために予約されています。
ポリシー UUID	uint8[16]	侵入ポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
ユーザ ID	uint32	ユーザの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルの内部 ID 番号(該当する場合)。
アクセスコントロールルール ID	uint32	アクセスコントロールルールの固有識別子として機能するルール ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	アクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
入力インターフェイス UUID	uint8[16]	入力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
出力インターフェイス UUID	uint8[16]	出力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
入力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	入力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
出力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	出力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。

侵入イベント (IPv6) レコード 5.0.x ~ 5.1

侵入イベント (IPv6) レコードのフィールドは、次の図では網掛けされています。レコードの種類は 208 です。

侵入イベント レコードは、要求メッセージに侵入イベント フラグまたは拡張要求フラグを設定して要求します。[要求フラグ \(2-12 ページ\)](#) および [拡張要求の送信 \(2-4 ページ\)](#) を参照してください。

バージョン 5.0.x ~ 5.1 の侵入イベントの場合、イベント ID、管理対象デバイス ID、イベント秒により固有識別子が形成されます。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)															
	メッセージ長																															
	Netmap ID																レコードタイプ(208)															
	レコード長																															
	eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	デバイス ID																															
	イベント ID																															
	イベント秒																															
	イベント マイクロ秒																															
	ルール ID(シグネチャ ID)																															
	ジェネレータ ID																															
	ルール リビジョン																															
	分類 ID																															
	プライオリティ ID																															
	送信元 IPv6 アドレス																															
	送信元 IPv6 アドレス(続き)																															
	送信元 IPv6 アドレス(続き)																															
	送信元 IPv6 アドレス(続き)																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
宛先 IPv6 アドレス																																
宛先 IPv6 アドレス (続き)																																
宛先 IPv6 アドレス (続き)																																
宛先 IPv6 アドレス (続き)																																
送信元ポート/ICMP タイプ																宛先ポート/ICMP コード																
IP プロトコル ID								影響フラグ								影響								ブロック								
MPLS ラベル																																
VLAN ID																パッド																
ポリシー UUID																																
ポリシー UUID (続き)																																
ポリシー UUID (続き)																																
ポリシー UUID (続き)																																
ユーザ ID																																
Web アプリケーション ID																																
クライアント アプリケーション ID																																
アプリケーション プロトコル ID																																
アクセス コントロール ルール ID																																
アクセス コントロール ポリシー UUID																																
アクセス コントロール ポリシー UUID (続き)																																
アクセス コントロール ポリシー UUID (続き)																																
アクセス コントロール ポリシー UUID (続き)																																
インターフェイス入力 UUID																																
インターフェイス入力 UUID (続き)																																
インターフェイス入力 UUID (続き)																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
インターフェイス入力 UUID (続き)																																
インターフェイス出力 UUID																																
インターフェイス出力 UUID (続き)																																
インターフェイス出力 UUID (続き)																																
インターフェイス出力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID																																
セキュリティゾーン入力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID																																
セキュリティゾーン出力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID (続き)																																

次の表は、各侵入イベントレコードデータフィールドについての説明です。

表 B-2 侵入イベント (IPv6) レコードのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
デバイス ID	uint32	検出デバイスの ID 番号が含まれます。バージョン 3 または 4 メタデータを要求すると管理対象デバイス名を入手できます。詳細については、 管理対象デバイスレコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
イベント ID	uint32	イベント ID 番号。
イベント秒	uint32	イベント検出の UNIX タイムスタンプ (1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
イベントマイクロ秒	uint32	イベント検出のタイムスタンプの、マイクロ秒 (100 万分の 1 秒) 単位の増分。
ルール ID (シグネチャ ID)	uint32	イベントに対応するルールの ID 番号。
ジェネレータ ID	uint32	イベントを生成した Firepower システム プリプロセッサの ID 番号。

表 B-2 侵入イベント (IPv6) レコードのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ルールリビジョン	uint32	ルールリビジョン番号。
分類 ID	uint32	イベント分類メッセージの ID 番号。
プライオリティ ID	uint32	イベントに関連付けられている優先順位の ID 番号。
送信元 IPv6 アドレス	uint8[16]	アドレス オクテットの、イベントで使用される送信元 IPv6 アドレス。
宛先 IPv6 アドレス	uint8[16]	アドレス オクテットの、イベントで使用される宛先 IPv6 アドレス。
送信元ポート /ICMP タイプ	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は送信元ポート番号。プロトコルタイプが ICMP である場合、これは ICMP タイプを示します。
宛先ポート /ICMP コード	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は宛先ポート番号。プロトコルタイプが ICMP である場合、これは ICMP コードを示します。
IP プロトコル番号	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:IP • 1:ICMP • 6:TCP • 17:UDP

表 B-2 侵入イベント (IPv6) レコードのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
影響フラグ	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x01(ビット 0):送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 0x02(ビット 1):送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 0x04(ビット 2):送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか(TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 0x08(ビット 3):イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 0x10(ビット 4):イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 0x20(ビット 5):イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました(デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 0x40(ビット 6):このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 0x80(ビット 7):イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。 <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (0、不明):00x00000 赤(1、脆弱):xxxx1xxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx オレンジ(2、潜在的に脆弱):00x00111 黄(3、現在は脆弱でない):00x00011 青(4、不明なターゲット):00x00001
影響	uint8	<p>イベントの影響フラグ値。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1:レッド(脆弱) 2:オレンジ(脆弱の可能性あり) 3:イエロー(現在は脆弱でない) 4:ブルー(不明なターゲット) 5:グレー(不明なインパクト)

表 B-2 侵入イベント (IPv6) レコードのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ブロック	uint8	イベントがブロックされたかどうかを示す値。 <ul style="list-style-type: none"> 0: ブロックされていない 1: ブロックされた 2: ブロックされた可能性がある(設定では許可されていない)
MPLS ラベル	uint32	MPLS ラベル。(4.9+ のイベントにのみ適用。)
VLAN ID	uint16	パケットの発信元の VLAN の ID を示します。(4.9+ のイベントにのみ適用。)
パッド	uint16	今後使用するために予約されています。
ポリシー UUID	uint8[16]	侵入ポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
ユーザ ID	uint32	ユーザの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルの内部 ID 番号(該当する場合)。
アクセスコントロールルール ID	uint32	アクセスコントロールルールの固有識別子として機能するルール ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	アクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
入力インターフェイス UUID	uint8[16]	入力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
出力インターフェイス UUID	uint8[16]	出力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
入力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	入力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
出力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	出力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。

侵入イベント レコード 5.2.x

侵入イベントレコードのフィールドは、次の図で網掛けされています。レコードタイプは400であり、ブロックタイプはシリーズ2セットのデータブロックの34です。

eStreamer からの 5.2.x 侵入イベントは、拡張要求によってのみ要求できます。これに対してはストリーム要求メッセージでイベントタイプコード12およびバージョン5を要求します(拡張要求の送信の詳細については、[拡張要求の送信 \(2-4 ページ\)](#)を参照してください)。

バージョン 5.2.x の侵入イベントの場合、イベント ID、管理対象デバイス ID、イベント秒により固有識別子が形成されます。接続の秒、接続インスタンス、および接続数カウンタは、侵入イベントに関連付けられた接続イベントの、1つの固有識別子を形成します。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)															
	メッセージ長																															
	Netmap ID																レコードタイプ(400)															
	レコード長																															
	eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット23が設定されている場合のみ)																															
	将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット23が設定されている場合のみ)																															
	ブロックタイプ(34)																															
	ブロック長																															
	デバイス ID																															
	イベント ID																															
	イベント秒																															
	イベントマイクロ秒																															
	ルール ID(シグネチャ ID)																															
	ジェネレータ ID																															
	ルールリビジョン																															
	分類 ID																															
	プライオリティ ID																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
送信元 IP アドレス																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
宛先 IP アドレス																																
宛先 IP アドレス(続き)																																
宛先 IP アドレス(続き)																																
宛先 IP アドレス(続き)																																
送信元ポートまたは ICMP タイプ																送信先ポートまたは ICMP コード																
IP プロトコル ID								影響フラグ								影響								ブロック								
MPLSラベル																																
VLAN ID																パッド																
ポリシー UUID																																
ポリシー UUID(続き)																																
ポリシー UUID(続き)																																
ポリシー UUID(続き)																																
ユーザ ID																																
Web アプリケーション ID																																
クライアントアプリケーション ID																																
アプリケーションプロトコル ID																																
アクセスコントロールルール ID																																
アクセスコントロールポリシー UUID																																
アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																																
アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																																
アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
インターフェイス入力 UUID																																
インターフェイス入力 UUID(続き)																																
インターフェイス入力 UUID(続き)																																
インターフェイス入力 UUID(続き)																																
インターフェイス出力 UUID																																
インターフェイス出力 UUID(続き)																																
インターフェイス出力 UUID(続き)																																
インターフェイス出力 UUID(続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID																																
セキュリティゾーン入力 UUID(続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID(続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID(続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID																																
セキュリティゾーン出力 UUID(続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID(続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID(続き)																																
接続タイムスタンプ																																
接続インスタンス ID																接続数カウンタ																
送信元の国																宛先の国																

次の表は、各侵入イベント レコード データ フィールドについての説明です。

表 B-3 侵入イベント レコード 5.2.x のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ブロックタイプ	uint32	侵入イベントデータブロックを開始します。この値は常に 34 です。
ブロック長	uint32	侵入イベント データ ブロックのバイトの合計数(侵入イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	管理対象デバイスの検出の ID 番号が含まれます。バージョン 3 または 4 メタデータを要求すると管理対象デバイス名を手でできます。詳細については、 管理対象 デバイス レコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
イベント ID	uint32	イベント ID 番号。
イベント秒	uint32	イベント検出の UNIX タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
イベント マイクロ秒	uint32	イベント検出のタイムスタンプの、マイクロ秒(100 万分の 1 秒)単位の増分。
ルール ID (シグネチャ ID)	uint32	イベントに対応するルールの ID 番号。
ジェネレータ ID	uint32	イベントを生成した Firepower システム プリプロセッサの ID 番号。
ルール リビジョン	uint32	ルール リビジョン番号。
分類 ID	uint32	イベント分類メッセージの ID 番号。
プライオリティ ID	uint32	イベントに関連付けられている優先順位の ID 番号。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される送信元 IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される宛先 IPv4 または IPv6 アドレス。
送信元ポートまたは ICMP タイプ	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は送信元ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のタイプ。
送信先ポートまたは ICMP コード	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は宛先ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のコード。
IP プロトコル番号	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:IP • 1:ICMP • 6:TCP • 17:UDP

表 B-3 侵入イベント レコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
影響フラグ	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x01(ビット 0):送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 0x02(ビット 1):送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 0x04(ビット 2):送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか(TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 0x08(ビット 3):イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 0x10(ビット 4):イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 0x20(ビット 5):イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました(デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 0x40(ビット 6):このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 0x80(ビット 7):イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。(バージョン 5.0+ のみ) <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (0、不明):00x00000 赤(1、脆弱):xxx1xxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx(バージョン 5.0+ のみ) オレンジ(2、潜在的に脆弱):00x0011x 黄(3、現在は脆弱でない):00x0001x 青(4、不明なターゲット):00x00001
影響	uint8	<p>イベントの影響フラグ値。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1:レッド(脆弱) 2:オレンジ(脆弱の可能性あり) 3:イエロー(現在は脆弱でない) 4:ブルー(不明なターゲット) 5:グレー(不明なインパクト)

表 B-3 侵入イベントレコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ブロック	uint8	イベントがブロックされたかどうかを示す値。 <ul style="list-style-type: none"> 0: ブロックされていない 1: ブロックされた 2: ブロックされた可能性がある(設定では許可されていない)
MPLSラベル	uint32	MPLS ラベル。
VLAN ID	uint16	パケットの発信元の VLAN の ID を示します。
パッド	uint16	今後使用するために予約されています。
ポリシー UUID	uint8[16]	侵入ポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
ユーザ ID	uint32	ユーザの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルの内部 ID 番号(該当する場合)。
アクセスコントロールルール ID	uint32	アクセスコントロールルールの固有識別子として機能するルール ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	アクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
入力インターフェイス UUID	uint8[16]	入力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
出力インターフェイス UUID	uint8[16]	出力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
入力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	入力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
出力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	出力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
接続タイムスタンプ	uint32	侵入イベントに関連付けられている接続イベントの UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの経過秒数)。
接続インスタンス ID	uint16	接続イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。

表 B-3 侵入イベントレコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。
宛先の国	uint 16	宛先ホストの国のコード。

侵入イベントレコード 5.3

侵入イベントレコードのフィールドは、次の図で網掛けされています。レコードタイプは 400 であり、ブロックタイプはデータブロックのシリーズ 2 セットの 41 です。

eStreamer からの 5.3 侵入イベントは、拡張要求によってのみ要求できます。これに対してはストリーム要求メッセージでイベントタイプコード 12 およびバージョン 6 を要求します(拡張要求の送信の詳細については、[拡張要求の送信 \(2-4 ページ\)](#) を参照してください)。

バージョン 5.3 の侵入イベントの場合、イベント ID、管理対象デバイス ID、イベント秒により固有識別子が形成されます。接続の秒、接続インスタンス、および接続数カウンタは、侵入イベントに関連付けられた接続イベントの、1 つの固有識別子を形成します。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)															
	メッセージ長																															
	Netmap ID																レコードタイプ(400)															
	レコード長																															
	eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	ブロックタイプ(41)																															
	ブロック長																															
	デバイス ID																															
	イベント ID																															
	イベント秒																															
	イベントマイクロ秒																															

バイト	0								1								2								3								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ビット																																	
ルール ID (シグネチャ ID)																																	
ジェネレータ ID																																	
ルール リビジョン																																	
分類 ID																																	
プライオリティ ID																																	
送信元 IP アドレス																																	
送信元 IP アドレス (続き)																																	
送信元 IP アドレス (続き)																																	
送信元 IP アドレス (続き)																																	
宛先 IP アドレス																																	
宛先 IP アドレス (続き)																																	
宛先 IP アドレス (続き)																																	
宛先 IP アドレス (続き)																																	
送信元ポートまたは ICMP タイプ																送信先ポートまたは ICMP コード																	
IP プロトコル ID								影響フラグ								影響								ブロック									
MPLS ラベル																																	
VLAN ID																パッド																	
ポリシー UUID																																	
ポリシー UUID (続き)																																	
ポリシー UUID (続き)																																	
ポリシー UUID (続き)																																	
ユーザ ID																																	
Web アプリケーション ID																																	
クライアント アプリケーション ID																																	
アプリケーション プロトコル ID																																	

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット																																
	アクセス コントロール ルール ID																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID アクセス コントロール ポリシー UUID(続き) アクセス コントロール ポリシー UUID(続き) アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	インターフェイス入力 UUID インターフェイス入力 UUID(続き) インターフェイス入力 UUID(続き) インターフェイス入力 UUID(続き)																															
	インターフェイス出力 UUID インターフェイス出力 UUID(続き) インターフェイス出力 UUID(続き) インターフェイス出力 UUID(続き)																															
	セキュリティ ゾーン入力 UUID セキュリティ ゾーン入力 UUID(続き) セキュリティ ゾーン入力 UUID(続き) セキュリティ ゾーン入力 UUID(続き)																															
	セキュリティ ゾーン出力 UUID セキュリティ ゾーン出力 UUID(続き) セキュリティ ゾーン出力 UUID(続き) セキュリティ ゾーン出力 UUID(続き)																															
	接続タイムスタンプ																															
	接続インスタンス ID																接続数カウンタ															
	送信元の国																宛先の国															
	IOC 番号																															

次の表は、各侵入イベント レコード データ フィールドについての説明です。

表 B-4 侵入イベント レコード 5.3 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ブロックタイプ	uint32	侵入イベントデータブロックを開始します。この値は常に 34 です。
ブロック長	uint32	侵入イベント データ ブロックのバイトの合計数(侵入イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	管理対象デバイスの検出の ID 番号が含まれます。バージョン 3 または 4 メタデータを要求すると管理対象デバイス名を入手できます。詳細については、 管理対象 デバイス レコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
イベント ID	uint32	イベント ID 番号。
イベント秒	uint32	イベント検出の UNIX タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
イベント マイクロ秒	uint32	イベント検出のタイムスタンプの、マイクロ秒(100 万分の 1 秒)単位の増分。
ルール ID (シグネチャ ID)	uint32	イベントに対応するルールの ID 番号。
ジェネレータ ID	uint32	イベントを生成した Firepower システム プリプロセッサの ID 番号。
ルール リビジョン	uint32	ルール リビジョン番号。
分類 ID	uint32	イベント分類メッセージの ID 番号。
プライオリティ ID	uint32	イベントに関連付けられている優先順位の ID 番号。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される送信元 IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される宛先 IPv4 または IPv6 アドレス。
送信元ポートまたは ICMP タイプ	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は送信元ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のタイプ。
送信先ポートまたは ICMP コード	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は宛先ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のコード。
IP プロトコル番号	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:IP • 1:ICMP • 6:TCP • 17:UDP

表 B-4 侵入イベント レコード 5.3 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
影響フラグ	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x01(ビット 0):送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 0x02(ビット 1):送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 0x04(ビット 2):送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか(TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 0x08(ビット 3):イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 0x10(ビット 4):イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 0x20(ビット 5):イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました(デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 0x40(ビット 6):このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 0x80(ビット 7):イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。(バージョン 5.0+ のみ) <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (0、不明):00x00000 赤(1、脆弱):xxx1xxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx(バージョン 5.0+ のみ) オレンジ(2、潜在的に脆弱):00x0011x 黄(3、現在は脆弱でない):00x0001x 青(4、不明なターゲット):00x00001
影響	uint8	<p>イベントの影響フラグ値。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1:レッド(脆弱) 2:オレンジ(脆弱の可能性あり) 3:イエロー(現在は脆弱でない) 4:ブルー(不明なターゲット) 5:グレー(不明なインパクト)

表 B-4 侵入イベントレコード 5.3 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ブロック	uint8	イベントがブロックされたかどうかを示す値。 <ul style="list-style-type: none"> 0: ブロックされていない 1: ブロックされた 2: ブロックされた可能性がある(設定では許可されていない)
MPLSラベル	uint32	MPLS ラベル。
VLAN ID	uint16	パケットの発信元の VLAN の ID を示します。
パッド	uint16	今後使用するために予約されています。
ポリシー UUID	uint8[16]	侵入ポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
ユーザ ID	uint32	ユーザの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルの内部 ID 番号(該当する場合)。
アクセスコントロールルール ID	uint32	アクセスコントロールルールの固有識別子として機能するルール ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	アクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
入力インターフェイス UUID	uint8[16]	入力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
出力インターフェイス UUID	uint8[16]	出力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
入力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	入力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
出力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	出力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
接続タイムスタンプ	uint32	侵入イベントに関連付けられている接続イベントの UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの経過秒数)。
接続インスタンス ID	uint16	接続イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。

表 B-4 侵入イベント レコード 5.3 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。
宛先の国	uint 16	宛先ホストの国のコード。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。

侵入イベント レコード 5.1.1.x

侵入イベント レコードのフィールドは、次の図で網掛けされています。レコードタイプは 400 で、ブロックタイプは 25 です。

eStreamer からの 5.1.1 侵入イベントは、拡張要求によってのみ要求できます。これに対してはストリーム要求メッセージでイベントタイプコード 12 およびバージョン 4 を要求します(拡張要求の送信の詳細については、[拡張要求の送信 \(2-4 ページ\)](#) を参照してください)。

バージョン 5.1.1.x の侵入イベントの場合、イベント ID、管理対象デバイス ID、イベント秒により固有識別子が形成されます。接続の秒、接続インスタンス、および接続数カウンタは、侵入イベントに関連付けられた接続イベントの、1 つの固有識別子を形成します。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)																
メッセージ長																																
Netmap ID																レコードタイプ(400)																
レコード長																																
eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット 23 が設定されている場合のみ)																																
将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット 23 が設定されている場合のみ)																																
ブロックタイプ(25)																																
ブロック長																																
デバイス ID																																
イベント ID																																
イベント秒																																
イベントマイクロ秒																																
ルール ID(シグネチャ ID)																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ジェネレータ ID																															
	ルール リビジョン																															
	分類 ID																															
	プライオリティ ID																															
	送信元 IP アドレス																															
	送信元 IP アドレス (続き)																															
	送信元 IP アドレス (続き)																															
	送信元 IP アドレス (続き)																															
	宛先 IP アドレス																															
	宛先 IP アドレス (続き)																															
	宛先 IP アドレス (続き)																															
	宛先 IP アドレス (続き)																															
	送信元ポート/ICMP タイプ																宛先ポート/ICMP コード															
	IP プロトコル ID								影響フラグ								影響								ブロック							
	MPLS ラベル																															
	VLAN ID																パッド															
	ポリシー UUID																															
	ポリシー UUID (続き)																															
	ポリシー UUID (続き)																															
	ポリシー UUID (続き)																															
	ユーザ ID																															
	Web アプリケーション ID																															
	クライアント アプリケーション ID																															
	アプリケーション プロトコル ID																															
	アクセス コントロール ルール ID																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
アクセス コントロール ポリシー UUID																																
アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																																
アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																																
アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																																
インターフェイス入力 UUID																																
インターフェイス入力 UUID(続き)																																
インターフェイス入力 UUID(続き)																																
インターフェイス入力 UUID(続き)																																
インターフェイス出力 UUID																																
インターフェイス出力 UUID(続き)																																
インターフェイス出力 UUID(続き)																																
インターフェイス出力 UUID(続き)																																
セキュリティ ゾーン入力 UUID																																
セキュリティ ゾーン入力 UUID(続き)																																
セキュリティ ゾーン入力 UUID(続き)																																
セキュリティ ゾーン入力 UUID(続き)																																
セキュリティ ゾーン出力 UUID																																
セキュリティ ゾーン出力 UUID(続き)																																
セキュリティ ゾーン出力 UUID(続き)																																
セキュリティ ゾーン出力 UUID(続き)																																
接続タイムスタンプ																																
接続インスタンス ID																接続数カウンタ																

次の表は、各侵入イベント レコード データ フィールドについての説明です。

表 B-5 侵入イベント レコード 5.1.1 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ブロックタイプ	uint32	侵入イベントデータブロックを開始します。この値は常に 25 です。
ブロック長	uint32	侵入イベント データ ブロックのバイトの合計数(侵入イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	管理対象デバイスの検出の ID 番号が含まれます。バージョン 3 または 4 メタデータを要求すると管理対象デバイス名を手でできます。詳細については、 管理対象 デバイス レコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
イベント ID	uint32	イベント ID 番号。
イベント秒	uint32	イベント検出の UNIX タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
イベント マイクロ秒	uint32	イベント検出のタイムスタンプの、マイクロ秒(100 万分の 1 秒)単位の増分。
ルール ID(シグネチャ ID)	uint32	イベントに対応するルールの ID 番号。
ジェネレータ ID	uint32	イベントを生成した Firepower システム プリプロセッサの ID 番号。
ルール リビジョン	uint32	ルール リビジョン番号。
分類 ID	uint32	イベント分類メッセージの ID 番号。
プライオリティ ID	uint32	イベントに関連付けられている優先順位の ID 番号。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される送信元 IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される宛先 IPv4 または IPv6 アドレス。
送信元ポート /ICMP タイプ	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は送信元ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のタイプ。
宛先ポート /ICMP コード	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は宛先ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のコード。
IP プロトコル番号	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:IP • 1:ICMP • 6:TCP • 17:UDP

表 B-5 侵入イベント レコード 5.1.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
影響フラグ	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x01(ビット 0):送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 0x02(ビット 1):送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 0x04(ビット 2):送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか(TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 0x08(ビット 3):イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 0x10(ビット 4):イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 0x20(ビット 5):イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました(デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 0x40(ビット 6):このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 0x80(ビット 7):イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。 <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (0、不明):00x00000 赤(1、脆弱):xxx1xxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx オレンジ(2、潜在的に脆弱):00x00111 黄(3、現在は脆弱でない):00x00011 青(4、不明なターゲット):00x00001
影響	uint8	<p>イベントの影響フラグ値。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1:レッド(脆弱) 2:オレンジ(脆弱の可能性あり) 3:イエロー(現在は脆弱でない) 4:ブルー(不明なターゲット) 5:グレー(不明なインパクト)

表 B-5 侵入イベントレコード 5.1.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ブロック	uint8	イベントがブロックされたかどうかを示す値。 <ul style="list-style-type: none"> 0: ブロックされていない 1: ブロックされた 2: ブロックされた可能性がある(設定では許可されていない)
MPLS ラベル	uint32	MPLS ラベル。
VLAN ID	uint16	パケットの発信元の VLAN の ID を示します。
パッド	uint16	今後使用するために予約されています。
ポリシー UUID	uint8[16]	侵入ポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
ユーザ ID	uint32	ユーザの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルの内部 ID 番号(該当する場合)。
アクセスコントロールルール ID	uint32	アクセスコントロールルールの固有識別子として機能するルール ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	アクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
入力インターフェイス UUID	uint8[16]	入力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
出力インターフェイス UUID	uint8[16]	出力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
入力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	入力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
出力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	出力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
接続タイムスタンプ	uint32	侵入イベントに関連付けられている接続イベントの UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの経過秒数)。
接続インスタンス ID	uint16	接続イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。

侵入イベント レコード 5.3.1

侵入イベントレコードのフィールドは、次の図で網掛けされています。レコードタイプは400であり、ブロックタイプはシリーズ2セットのデータブロックの42です。

eStreamerからの5.3.1侵入イベントは、拡張要求によってのみ要求できます。これに対してはストリーム要求メッセージでイベントタイプコード12およびバージョン7を要求します(拡張要求の送信の詳細については、[拡張要求の送信\(2-4 ページ\)](#)を参照してください)。

バージョン5.3.1の侵入イベントの場合、イベントID、管理対象デバイスID、イベント秒により固有識別子が形成されます。接続の秒、接続インスタンス、および接続数カウンタは、侵入イベントに関連付けられた接続イベントの、1つの固有識別子を形成します。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)															
	メッセージ長																															
	Netmap ID																レコードタイプ(400)															
	レコード長																															
	eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット23が設定されている場合のみ)																															
	将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット23が設定されている場合のみ)																															
	ブロックタイプ(42)																															
	ブロック長																															
	デバイスID																															
	イベントID																															
	イベント秒																															
	イベントマイクロ秒																															
	ルールID(シグネチャID)																															
	ジェネレータID																															
	ルールリビジョン																															
	分類ID																															
	プライオリティID																															

バイト	0								1					2				3														
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット	送信元 IP アドレス																															
	送信元 IP アドレス(続き)																															
	送信元 IP アドレス(続き)																															
	送信元 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP アドレス																															
	宛先 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP アドレス(続き)																															
	送信元ポートまたは ICMP タイプ																送信先ポートまたは ICMP コード															
	IP プロトコル ID								影響フラグ								影響								ブロック							
	MPLS ラベル																															
	VLAN ID																パッド															
	ポリシー UUID																															
	ポリシー UUID(続き)																															
	ポリシー UUID(続き)																															
	ポリシー UUID(続き)																															
	ユーザ ID																															
	Web アプリケーション ID																															
	クライアント アプリケーション ID																															
	アプリケーションプロトコル ID																															
	アクセス コントロールルール ID																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
インターフェイス入力 UUID																																
インターフェイス入力 UUID (続き)																																
インターフェイス入力 UUID (続き)																																
インターフェイス入力 UUID (続き)																																
インターフェイス出力 UUID																																
インターフェイス出力 UUID (続き)																																
インターフェイス出力 UUID (続き)																																
インターフェイス出力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID																																
セキュリティゾーン入力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン入力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID																																
セキュリティゾーン出力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID (続き)																																
セキュリティゾーン出力 UUID (続き)																																
接続タイムスタンプ																																
接続インスタンス ID																接続数カウンタ																
送信元の国																宛先の国																
IOC 番号																セキュリティ コンテキスト																
セキュリティ コンテキスト (続き)																																
セキュリティ コンテキスト (続き)																																
セキュリティ コンテキスト (続き)																																
セキュリティ コンテキスト (続き)																																

次の表は、各侵入イベント レコード データ フィールドについての説明です。

表 B-6 侵入イベント レコード 5.3.1 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ブロックタイプ	uint32	侵入イベントデータブロックを開始します。この値は常に 42 です。
ブロック長	uint32	侵入イベント データ ブロックのバイトの合計数(侵入イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイスID	uint32	管理対象デバイスの検出の ID 番号が含まれます。バージョン 3 または 4 メタデータを要求すると管理対象デバイス名を入手できます。詳細については、 管理対象 デバイス レコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
イベント ID	uint32	イベント ID 番号。
イベント秒	uint32	イベント検出の UNIX タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
イベント マイクロ秒	uint32	イベント検出のタイムスタンプの、マイクロ秒(100 万分の 1 秒)単位の増分。
ルール ID (シグネチャ ID)	uint32	イベントに対応するルールの ID 番号。
ジェネレータ ID	uint32	イベントを生成した Firepower システム プリプロセッサの ID 番号。
ルール リビジョン	uint32	ルール リビジョン番号。
分類 ID	uint32	イベント分類メッセージの ID 番号。
プライオリティ ID	uint32	イベントに関連付けられている優先順位の ID 番号。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される送信元 IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される宛先 IPv4 または IPv6 アドレス。
送信元ポートまたは ICMP タイプ	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は送信元ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のタイプ。
送信先ポートまたは ICMP コード	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は宛先ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のコード。
IP プロトコル番号	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:IP • 1:ICMP • 6:TCP • 17:UDP

表 B-6 侵入イベント レコード 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
影響フラグ	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0x01(ビット 0):送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 • 0x02(ビット 1):送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 • 0x04(ビット 2):送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか(TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 • 0x08(ビット 3):イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 • 0x10(ビット 4):イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 • 0x20(ビット 5):イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました(デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 • 0x40(ビット 6):このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 • 0x80(ビット 7):イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。(バージョン 5.0+ のみ) <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (0、不明):00x00000 • 赤(1、脆弱):xxxx1xxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx(バージョン 5.0+ のみ) • オレンジ(2、潜在的に脆弱):00x0011x • 黄(3、現在は脆弱でない):00x0001x • 青(4、不明なターゲット):00x00001
影響	uint8	<p>イベントの影響フラグ値。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1:レッド(脆弱) • 2:オレンジ(脆弱の可能性あり) • 3:イエロー(現在は脆弱でない) • 4:ブルー(不明なターゲット) • 5:グレー(不明なインパクト)

表 B-6 侵入イベントレコード 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ブロック	uint8	イベントがブロックされたかどうかを示す値。 <ul style="list-style-type: none"> 0: ブロックされていない 1: ブロックされた 2: ブロックされた可能性がある(設定では許可されていない)
MPLSラベル	uint32	MPLS ラベル。
VLAN ID	uint16	パケットの発信元の VLAN の ID を示します。
パッド	uint16	今後使用するために予約されています。
ポリシー UUID	uint8[16]	侵入ポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
ユーザ ID	uint32	ユーザの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルの内部 ID 番号(該当する場合)。
アクセスコントロールルール ID	uint32	アクセスコントロールルールの固有識別子として機能するルール ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	アクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
入力インターフェイス UUID	uint8[16]	入力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
出力インターフェイス UUID	uint8[16]	出力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
入力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	入力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
出力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	出力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
接続タイムスタンプ	uint32	侵入イベントに関連付けられている接続イベントの UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの経過秒数)。
接続インスタンス ID	uint16	接続イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。

表 B-6 侵入イベント レコード 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
宛先の国	uint 16	宛先ホストの国のコード。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。
セキュリティコンテキスト	uint8(16)	トラフィックが通過したセキュリティコンテキスト(仮想ファイアウォール)の ID 番号。マルチコンテキストモードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。

侵入イベント レコード 5.4.x

侵入イベントレコードのフィールドは、次の図で網掛けされています。レコードタイプは 400 であり、ブロックタイプはシリーズ 2 セットのデータブロックの 45 です。これはブロックタイプ 42 に取って代わり、ブロックタイプ 60 により取って代わられます。SSL サポート用およびネットワーク分析ポリシー用のフィールドが追加されました。

eStreamer からの 5.4.x 侵入イベントは、拡張要求によってのみ要求できます。これに対してはストリーム要求メッセージでイベントタイプコード 12 およびバージョン 8 を要求します(拡張要求の送信の詳細については、[拡張要求の送信 \(2-4 ページ\)](#)を参照してください)。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)															
	メッセージ長																															
	Netmap ID																レコードタイプ(400)															
	レコード長																															
	eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	ブロックタイプ(45)																															
	ブロック長																															
	デバイスID																															
	イベントID																															
	イベント秒																															
	イベントマイクロ秒																															

バイト	0								1								2								3								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ビット																																	
ルール ID (シグネチャ ID)																																	
ジェネレータ ID																																	
ルール リビジョン																																	
分類 ID																																	
プライオリティ ID																																	
送信元 IP アドレス																																	
送信元 IP アドレス (続き)																																	
送信元 IP アドレス (続き)																																	
送信元 IP アドレス (続き)																																	
宛先 IP アドレス																																	
宛先 IP アドレス (続き)																																	
宛先 IP アドレス (続き)																																	
宛先 IP アドレス (続き)																																	
送信元ポートまたは ICMP タイプ																送信先ポートまたは ICMP コード																	
IP プロトコル ID								影響フラグ								影響								ブロック									
MPLS ラベル																																	
VLAN ID																パッド																	
ポリシー UUID																																	
ポリシー UUID (続き)																																	
ポリシー UUID (続き)																																	
ポリシー UUID (続き)																																	
ユーザ ID																																	
Web アプリケーション ID																																	
クライアントアプリケーション ID																																	
アプリケーションプロトコル ID																																	

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット																																
	アクセス コントロール ルール ID																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID (続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID (続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID (続き)																															
	インターフェイス入力 UUID																															
	インターフェイス入力 UUID (続き)																															
	インターフェイス入力 UUID (続き)																															
	インターフェイス入力 UUID (続き)																															
	インターフェイス出力 UUID																															
	インターフェイス出力 UUID (続き)																															
	インターフェイス出力 UUID (続き)																															
	インターフェイス出力 UUID (続き)																															
	セキュリティ ゾーン入力 UUID																															
	セキュリティ ゾーン入力 UUID (続き)																															
	セキュリティ ゾーン入力 UUID (続き)																															
	セキュリティ ゾーン入力 UUID (続き)																															
	セキュリティ ゾーン出力 UUID																															
	セキュリティ ゾーン出力 UUID (続き)																															
	セキュリティ ゾーン出力 UUID (続き)																															
	セキュリティ ゾーン出力 UUID (続き)																															
	接続タイムスタンプ																															
	接続インスタンス ID																接続数カウンタ															
	送信元の国																宛先の国															
	IOC 番号																セキュリティ コンテキスト															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
セキュリティ コンテキスト (続き)																																
セキュリティ コンテキスト (続き)																																
セキュリティ コンテキスト (続き)																																
セキュリティ コンテキスト (続き)																SSL 証明書フィンガープリント																
SSL 証明書フィンガープリント (続き)																																
SSL 証明書フィンガープリント (続き)																																
SSL 証明書フィンガープリント (続き)																																
SSL 証明書フィンガープリント (続き)																																
SSL 証明書フィンガープリント (続き)																実際の SSL アクション																
SSL フロー ステータス																ネットワーク分析ポリシー UUID																
ネットワーク分析ポリシー UUID (続き)																																
ネットワーク分析ポリシー UUID (続き)																																
ネットワーク分析ポリシー UUID (続き)																																
ネットワーク分析ポリシー UUID (続き)																																

次の表は、各侵入イベント レコード データ フィールドについての説明です。

表 B-7 侵入イベント レコード 5.4.x のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
ブロック タイプ	uint32	侵入イベントデータブロックを開始します。この値は常に 45 です。
ブロック長	uint32	侵入イベント データ ブロックのバイトの合計数(侵入イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイスID	uint32	管理対象デバイスの検出の ID 番号が含まれます。バージョン 3 または 4 メタデータを要求すると管理対象デバイス名を入手できます。詳細については、 管理対象 デバイス レコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
イベント ID	uint32	イベント ID 番号。

表 B-7 侵入イベントレコード 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
イベント秒	uint32	イベント検出の UNIX タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
イベントマイクロ秒	uint32	イベント検出のタイムスタンプの、マイクロ秒(100 万分の 1 秒)単位の増分。
ルール ID(シグネチャ ID)	uint32	イベントに対応するルールの ID 番号。
ジェネレータ ID	uint32	イベントを生成した Firepower システム プリプロセッサの ID 番号。
ルールリビジョン	uint32	ルールリビジョン番号。
分類 ID	uint32	イベント分類メッセージの ID 番号。
プライオリティ ID	uint32	イベントに関連付けられている優先順位の ID 番号。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される送信元 IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	イベントで使用される宛先 IPv4 または IPv6 アドレス。
送信元ポートまたは ICMP タイプ	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は送信元ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のタイプ。
送信先ポートまたは ICMP コード	uint16	イベントプロトコルタイプが TCP または UDP の場合は宛先ポート番号、またはイベントが ICMP トラフィックによって引き起こされた場合は ICMP のコード。
IP プロトコル番号	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:IP • 1:ICMP • 6:TCP • 17:UDP

表 B-7 侵入イベントレコード 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
影響フラグ	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x01 (ビット 0): 送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 0x02 (ビット 1): 送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 0x04 (ビット 2): 送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか(TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 0x08 (ビット 3): イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 0x10 (ビット 4): イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 0x20 (ビット 5): イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました(デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 0x40 (ビット 6): このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 0x80 (ビット 7): イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。(バージョン 5.0+ のみ) <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> グレー(0、不明): 00x00000 赤(1、脆弱): xxx1xxxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx (バージョン 5.0+ のみ) オレンジ(2、潜在的に脆弱): 00x0011x 黄(3、現在は脆弱でない): 00x0001x 青(4、不明なターゲット): 00x00001
影響	uint8	<p>イベントの影響フラグ値。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: レッド(脆弱) 2: オレンジ(脆弱の可能性あり) 3: イエロー(現在は脆弱でない) 4: ブルー(不明なターゲット) 5: グレー(不明なインパクト)

表 B-7 侵入イベントレコード 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ブロック	uint8	イベントがブロックされたかどうかを示す値。 <ul style="list-style-type: none"> 0: ブロックされていない 1: ブロックされた 2: ブロックされた可能性がある(設定では許可されていない)
MPLSラベル	uint32	MPLS ラベル。
VLAN ID	uint16	パケットの発信元の VLAN の ID を示します。
パッド	uint16	今後使用するために予約されています。
ポリシー UUID	uint8[16]	侵入ポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
ユーザ ID	uint32	ユーザの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルの内部 ID 番号(該当する場合)。
アクセスコントロールルール ID	uint32	アクセスコントロールルールの固有識別子として機能するルール ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	アクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能するポリシー ID 番号。
入力インターフェイス UUID	uint8[16]	入力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
出力インターフェイス UUID	uint8[16]	出力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID 番号。
入力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	入力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
出力セキュリティゾーン UUID	uint8[16]	出力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID 番号。
接続タイムスタンプ	uint32	侵入イベントに関連付けられている接続イベントの UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの経過秒数)。
接続インスタンス ID	uint16	接続イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。

表 B-7 侵入イベントレコード 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
宛先の国	uint 16	宛先ホストの国のコード。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。
セキュリティコンテキスト	uint8[16]	トラフィックが通過したセキュリティコンテキスト(仮想ファイアウォール)の ID 番号。マルチコンテキストモードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。
SSL 証明書フィンガープリント	uint8[20]	SSL サーバ証明書の SHA1 ハッシュ。
実際の SSL アクション	uint16	SSL ルールに基づいて接続に対して実行されたアクション。ルールに指定されているアクションが不可能なことがあるため、これは予期していたアクションとは異なることがあります。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:「不明」 • 1:「復号しない」 • 2:「ブロックする」 • 3:「リセットでブロック」 • 4:「復号(既知のキー)」 • 5:「復号(置換キー)」 • 6:「復号(Resign)」

表 B-7 侵入イベント レコード 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL フロース ステータス	uint16	<p>SSL フローのステータス。アクションが実行された理由、またはエラーメッセージが出された理由を示す値です。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0:「不明」 • 1:「一致しない」 • 2:「成功」 • 3:「キャッシュされていないセッション」 • 4:「不明の暗号化スイート」 • 5:「サポートされていない暗号スイート」 • 6:「サポートされていない SSL バージョン」 • 7:「使用される SSL 圧縮」 • 8:「パッシブ モードで復号不可のセッション」 • 9:「ハンドシェイク エラー」 • 10:「復号エラー」 • 11:「保留中のサーバ名カテゴリ ルックアップ」 • 12:「保留中の共通名カテゴリ ルックアップ」 • 13:「内部エラー」 • 14:「使用できないネットワーク パラメータ」 • 15:「無効なサーバの証明書の処理」 • 16:「サーバ証明書フィンガープリントが使用不可」 • 17:「サブジェクト DN をキャッシュできません」 • 18:「発行者 DN をキャッシュできません」 • 19:「不明な SSL バージョン」 • 20:「外部証明書のリストが使用できません」 • 21:「外部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 22:「内部証明書リストが無効」 • 23:「内部証明書のリストが使用できません」 • 24:「内部証明書が使用できません」 • 25:「内部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 26:「サーバ証明書の検証が使用できません」 • 27:「サーバ証明書の検証エラー」 • 28:「無効な操作」
ネットワーク 分析ポリシー UUID	uint8[16]	侵入イベントを作成したネットワーク分析ポリシーの UUID。

侵入影響アラート データ

侵入影響アラート イベントには、影響イベントに関する情報が含まれます。これは、侵入イベントがシステム ネットワーク マップ データと比較され、影響が判別されているときに送信されます。これはレコードタイプ9の標準レコードヘッダーを使用し、シリーズ1グループのブロックの、データブロックタイプが20である侵入影響アラート データブロックが続きます。(影響アラート データブロックタイプは、シリーズ1データブロックです。シリーズ1データブロックの詳細については、[ディスカバリ \(シリーズ1\) ブロック \(4-63 ページ\)](#)を参照してください。)

要求メッセージのフラグ フィールドにビット5を設定することで、eStreamer が侵入の影響イベントを送信するように要求できます。要求メッセージの詳細については、[イベントストリーム要求メッセージの形式 \(2-11 ページ\)](#)を参照してください。これらのアラートのバージョン1は、IPv4のみを処理します。5.3で導入されたバージョン2は、IPv4に加えてIPv6イベントを処理します。

バイト	0								1								2								3															
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)																							
	メッセージ長																																							
	Netmap ID																レコードタイプ(9)																							
	レコード長																																							
	侵入影響アラートブロックタイプ(20)																																							
	侵入影響アラートブロック長																																							
	イベントID																																							
	デバイスID																																							
	イベント秒																																							
	影響																																							
	送信元IPアドレス																																							
	宛先IPアドレス																																							
影響説明	文字列ブロックタイプ(0)																																							
	文字列ブロック長																																							
	説明...																																							

次の表は、影響イベントの各データ フィールドについての説明です。

表 B-8 影響イベント データ フィールド

フィールド	データタイプ	説明
侵入影響アラート ブロックタイプ	uint32	侵入影響アラート データ ブロックが続くことを示します。このフィールドの値は、常に 20 です。 侵入イベントとメタデータのレコードタイプ(3-1 ページ) を参照してください。
侵入影響アラート ブロック長	uint32	侵入の影響アラートのブロックタイプの長さを示します。後続のすべてのデータ、および侵入の影響アラートのブロックタイプと長さの 8 バイトを含みます。
イベント ID	uint32	イベント ID 番号を表示します。
デバイス ID	uint32	管理対象デバイス ID 番号を表示します。
イベント秒	uint32	イベントが検出された秒(1970 年 1 月 1 日からの経過秒数)を示します。

表 B-8 影響イベント データ フィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
影響	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x01 (ビット 0): 送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 0x02 (ビット 1): 送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 0x04 (ビット 2): 送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか(TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 0x08 (ビット 3): イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 0x10 (ビット 4): イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 0x20 (ビット 5): イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました(デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 0x40 (ビット 6): このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 0x80 (ビット 7): イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。(バージョン 5.0+ のみ) <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (0、不明): 00x00000 赤(1、脆弱): xxxx1xxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx (バージョン 5.0+ のみ) オレンジ(2、潜在的に脆弱): 00x0011x 黄(3、現在は脆弱でない): 00x0001x 青(4、不明なターゲット): 00x00001
送信元 IP アドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、影響イベントに関連付けられているホストの IP アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、影響イベントに関連付けられている宛先 IP アドレスの IP アドレス(該当する場合)。宛先 IP アドレスがない場合、この値は 0 です。

表 B-8 影響イベント データ フィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロックタイプ	uint32	影響名を含む文字列データのブロックを開始します。この値は常に 0 に設定されます。文字列ブロックの詳細については、 文字列データ ブロック (4-74 ページ) を参照してください。
文字列ブロック長	uint32	イベント説明文字列ブロックのバイト数。これには文字列ブロックタイプ用の 4 バイト、文字列ブロック長用の 4 バイト、および説明のバイト数が含まれます。
説明	string	影響イベントについての説明。

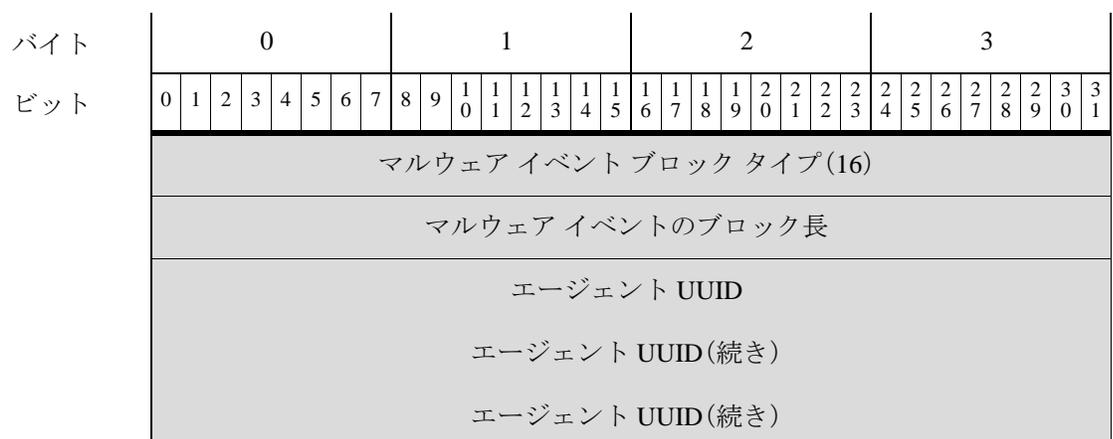
レガシーマルウェアイベントのデータ構造

- [マルウェア イベントのデータ ブロック 5.1\(B-50 ページ\)](#)
- [マルウェア イベント データ ブロック 5.1.1.x\(B-54 ページ\)](#)
- [マルウェア イベント データ ブロック 5.2.x\(B-60 ページ\)](#)
- [マルウェア イベントのデータ ブロック 5.3\(B-67 ページ\)](#)
- [マルウェア イベント データ ブロック 5.3.1\(B-74 ページ\)](#)
- [マルウェア イベント データ ブロック 5.4.x\(B-82 ページ\)](#)

マルウェア イベントのデータ ブロック 5.1

eStreamer サービスは、マルウェア イベントに関する情報を保存するために、マルウェア イベント データ ブロックを使用します。これらのイベントには、クラウド内で検出または検疫されたマルウェア、検出方法、マルウェアの影響を受けるホストとユーザに関する情報が含まれています。マルウェア イベント データ ブロックのブロックタイプは、シリーズ 2 グループの 16 です。マルウェア イベント レコードの一部としてイベントを要求するには、イベントバージョン 1 およびイベントコード 101 の要求メッセージ内に、マルウェア イベント フラグ(要求フラグ フィールドのビット 30)を設定します。

次の図は、マルウェア イベント データ ブロックの構造を示しています。



バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット	エージェント UUID (続き)																															
	クラウド UUID																															
	クラウド UUID (続き)																															
	クラウド UUID (続き)																															
	クラウド UUID (続き)																															
	タイムスタンプ																															
	イベント タイプ ID																															
	イベント サブタイプ ID								ホスト IP アドレス																							
検出名	ホスト IP アドレス (続き)								ディテクタ ID								文字列ブロック タイプ (0)															
	文字列ブロック タイプ (0) (続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長 (続き)																検出名...															
ユーザ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ...																															
ファイル名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル名...																															
ファイルパス	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイルパス...																															
ファイル SHA ハッシュ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル SHA ハッシュ...																															
	ファイル サイズ																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット	ファイルタイプ								ファイルのタイムスタンプ																							
親ファイル名前	ファイルのタイムスタンプ (続き)								文字列ブロック タイプ (0)																							
	文字列ブロック タイプ (0) (続き)								文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長 (続き)								親ファイル名...																							
親ファイル SHA ハッシュ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイル SHA ハッシュ...																															
イベント説明	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	イベントの説明...																															

次の表は、マルウェア イベント データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-9 マルウェア イベント データ ブロックのフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
マルウェア イベント ブロック タイプ	uint32	マルウェア イベント データ ブロックを開始します。この値は常に 16 です。
マルウェア イベント のブロック長	uint32	マルウェア イベント データ ブロックのバイトの合計数 (マルウェア イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
エージェント UUID	uint8[16]	マルウェア イベントをレポートする AMP for Endpoints エージェントの内部固有 ID。
クラウド UUID	uint8[16]	マルウェア イベントの発生元であるマルウェア認識ネットワークの、内部の固有 ID。
タイムスタンプ	uint32	マルウェア イベント生成時のタイムスタンプ。
イベント タイプ ID	uint32	マルウェア イベント タイプの内部 ID。
イベント サブタイプ ID	uint8	マルウェア 検出につながったアクションの内部 ID。
ホスト IP アドレス	uint32	マルウェア イベントに関連付けられているホスト IP アドレス。

表 B-9 マルウェアイベントデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ディテクタ ID	uint8	マルウェアを検出した検出テクノロジーの内部 ID。
文字列ブロックタイプ	uint32	検出名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	検出名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および検出名フィールドのバイト数を含む)。
検出名	string	検出または検疫されたマルウェアの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザ名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびユーザフィールドのバイト数を含む)。
ユーザ	string	Cisco Agent がインストールされ、マルウェアイベントが発生したコンピュータのユーザ。これらのユーザはユーザディスカバリには関係ないことに注意してください。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイル名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびファイル名フィールドのバイト数を含む)。
ファイル名	string	検出または検疫されたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイルパスを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイルパス文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびファイルパスフィールドのバイト数を含む)。
ファイルパス	string	検出または検疫されたファイルのファイルパス。ファイル名は含まれません。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイル SHA ハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル SHA ハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびファイル SHA ハッシュフィールドのバイト数を含む)。
ファイル SHA ハッシュ	string	検出または検疫されたファイルの SHA-256 ハッシュ値。
ファイルサイズ	uint32	検出または検疫されたファイルのサイズ(バイト単位)。
ファイルタイプ	uint8	検出または検疫されたファイルのファイルタイプ。
ファイルのタイムスタンプ	uint32	検出または検疫されたファイルの作成タイムスタンプ。

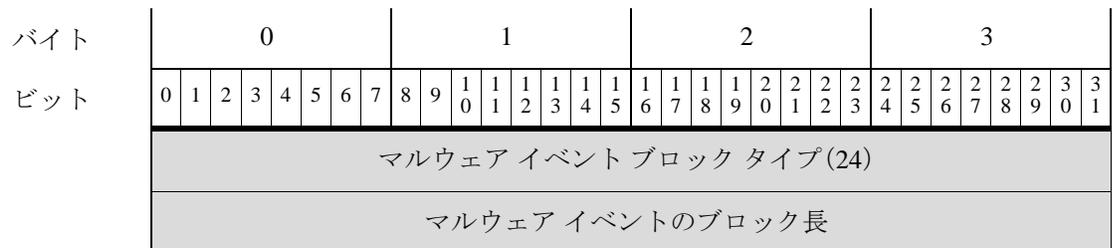
表 B-9 マルウェアイベントデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および親ファイル名フィールドのバイト数を含む)。
親ファイル名	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスしたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル SHA ハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル SHA ハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および親ファイル SHA ハッシュフィールドのバイト数を含む)。
親ファイル SHA ハッシュ	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスした親ファイルの SHA-256 のハッシュ値。
文字列ブロックタイプ	uint32	イベントの説明を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	イベントの説明文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびイベントの説明フィールドのバイト数を含む)。
イベントの説明	string	イベントタイプに関連付けられている追加イベント情報。

マルウェア イベント データ ブロック 5.1.1.x

eStreamer サービスは、マルウェア イベントに関する情報を保存するために、マルウェア イベント データ ブロックを使用します。これらのイベントには、クラウド内で検出または検疫されたマルウェア、検出方法、マルウェアの影響を受けるホストとユーザに関する情報が含まれています。マルウェア イベント データ ブロックのブロックタイプは、シリーズ 2 グループの 24 です。マルウェア イベント レコードの一部として、イベントバージョン 2 およびイベントコード 101 の要求メッセージ内にマルウェア イベント フラグ(要求フラグフィールドのビット 30)を設定して、イベントを要求します。

次の図は、マルウェア イベント データ ブロックの構造を示しています。



バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット																																
	エージェント UUID																															
	エージェント UUID(続き)																															
	エージェント UUID(続き)																															
	エージェント UUID(続き)																															
	クラウド UUID																															
	クラウド UUID(続き)																															
	クラウド UUID(続き)																															
	クラウド UUID(続き)																															
	マルウェア イベント タイムスタンプ																															
	イベント タイプ ID																															
	イベント サブタイプ ID								ホスト IP アドレス																							
検出名	ホスト IP アドレス(続き)								ディテクタ ID								文字列ブロック タイプ(0)															
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																検出名...															
ユーザ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ...																															
ファイル名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル名...																															
ファイルパス	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイルパス...																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ファイル SHAハッ シュ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル SHA ハッシュ...																															
	ファイルサイズ																															
	ファイルタイプ	ファイルのタイムスタンプ																														
親ファ イル名.	ファイルのタ イムスタンプ (続き)	文字列ブロック タイプ(0)																														
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)	文字列ブロック長																														
	文字列ブロック 長(続き)	親ファイル名...																														
親ファイル SHA ハッ シュ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイル SHA ハッシュ...																															
イベント 説明	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	イベントの説明...																															
	デバイス ID																															
	接続インスタンス																接続数カウンタ															
	接続イベント タイムスタンプ																															
	方向	送信元 IP アドレス																														
	送信元 IP アドレス(続き)																															
	送信元 IP アドレス(続き)																															
	送信元 IP アドレス(続き)																															
送信元 IP(続き)	宛先IPアドレス																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	宛先 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP(続き)								アプリケーション ID																							
	アプリケーション ID(続き)								ユーザ ID																							
	ユーザ ID(続き)								アクセス コントロール ポリシー UUID																							
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
URI	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)								傾向								レトロスペクティブ傾向								文字列ブロックタイプ(0)							
	文字列ブロックタイプ(0)(続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																URI...															
	送信元ポート																[接続先ポート															

次の表は、マルウェア イベント データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-10 マルウェア イベント データ ブロック 5.1.1.x のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
マルウェア イベント ブロック タイプ	uint32	マルウェア イベント データ ブロックを開始します。この値は常に 24 です。
マルウェア イベントのブロック長	uint32	マルウェア イベント データ ブロックのバイトの合計数 (マルウェア イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
エージェント UUID	uint8[16]	マルウェア イベントをレポートする AMP for Endpoints エージェントの内部固有 ID。
クラウド UUID	uint8[16]	マルウェア イベントの発生元であるマルウェア認識ネットワークの、内部の固有 ID。
マルウェア イベント タイムスタンプ	uint32	マルウェア イベント生成時のタイムスタンプ。

表 B-10 マルウェアイベントデータブロック 5.1.1.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
イベントタイプ ID	uint32	マルウェア イベント タイプ の内部 ID。
イベント サブタイプ ID	uint8	マルウェア 検出 につながった アクション の内部 ID。
ホスト IP アドレス	uint32	マルウェア イベント に関連付けられている ホスト IP アドレス。
ディテクタ ID	uint8	マルウェア を検出した 検出テクノロジー の内部 ID。
文字列ブロックタイプ	uint32	検出名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	検出名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および検出名フィールドのバイト数を含む)。
検出名	string	検出または検疫されたマルウェアの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザ名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびユーザフィールドのバイト数を含む)。
ユーザ	string	Cisco Agent がインストールされ、マルウェア イベントが発生したコンピュータのユーザ。これらのユーザはユーザディスカバリには関係ないことに注意してください。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイル名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびファイル名フィールドのバイト数を含む)。
ファイル名	string	検出または検疫されたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイルパスを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイルパス文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびファイルパスフィールドのバイト数を含む)。
ファイルパス	string	検出または検疫されたファイルのファイルパス。ファイル名は含まれません。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイル SHA ハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル SHA ハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびファイル SHA ハッシュフィールドのバイト数を含む)。
ファイル SHA ハッシュ	string	検出または検疫されたファイルの SHA-256 ハッシュ値のレンダリングされた文字列。

表 B-10 マルウェアイベントデータブロック 5.1.1.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ファイルサイズ	uint32	検出または検疫されたファイルのサイズ(バイト単位)。
ファイルタイプ	uint8	検出または検疫されたファイルのファイルタイプ。
ファイルのタイムスタンプ	uint32	検出または検疫されたファイルの作成時の UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの経過秒数)。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、および親ファイル名フィールドのバイト数を含む)。
親ファイル名	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスしたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル SHA ハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル SHA ハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、および親ファイル SHA ハッシュフィールドのバイト数を含む)。
親ファイル SHA ハッシュ	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスした親ファイルの SHA-256 のハッシュ値。
文字列ブロックタイプ	uint32	イベントの説明を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	イベントの説明文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、およびイベントの説明フィールドのバイト数を含む)。
イベントの説明	string	イベントタイプに関連付けられている追加イベント情報。
デバイス ID	uint32	イベントを生成したデバイスの ID。
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスの Snort インスタンス。接続または IDS イベントとイベントをリンクするために使用されます。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
接続イベントタイムスタンプ	uint32	接続イベントのタイムスタンプ。
方向	uint8	ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示します。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 1: ダウンロード • 2: アップロード 現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。

表 B-10 マルウェアイベントデータブロック 5.1.1.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーしたアクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能する ID 番号。
傾向	uint8	ファイルのマルウェアステータス。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 1 (CLEAN): ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 2 (UNKNOWN): ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 3 (MALWARE): ファイルにはマルウェアが含まれています。 4 (CACHE_MISS): ソフトウェアは Cisco クラウドに特性を確認する要求を送信できませんでした。 5 (NO_CLOUD_RESP): Cisco クラウドサービスが要求に応答しませんでした。
レトロスペクティブ特性	uint8	特性が更新されている場合のファイルの特性。特性が更新されていない場合、このフィールドには特性フィールドと同じ値が格納されます。有効な値は、特性フィールドと同じです。
文字列ブロックタイプ	uint32	URI を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	URI 文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および URI フィールドのバイト数を含む)。
URI	string	接続の URI。
送信元ポート	uint16	接続の送信元のポート番号。
接続先ポート	uint16	接続の宛先のポート番号。

マルウェアイベントデータブロック 5.2.x

eStreamer サービスは、マルウェアイベントに関する情報を保存するために、マルウェアイベントデータブロックを使用します。これらのイベントには、クラウド内で検出または検疫されたマルウェア、検出方法、マルウェアの影響を受けるホストとユーザに関する情報が含まれています。マルウェアイベントデータブロックのブロックタイプは、シリーズ 2 グループの 33 です。マルウェアイベントレコードの一部として、イベントバージョン 3 およびイベントコード 101 の要求メッセージ内にマルウェアイベントフラグ(要求フラグフィールドのビット 30)を設定して、イベントを要求します。

次の図は、マルウェア イベント データ ブロックの構造を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	マルウェア イベントのブロック タイプ (33)																															
	マルウェア イベントのブロック長																															
	エージェント UUID																															
	エージェント UUID(続き)																															
	エージェント UUID(続き)																															
	エージェント UUID(続き)																															
	クラウド UUID																															
	クラウド UUID(続き)																															
	クラウド UUID(続き)																															
	クラウド UUID(続き)																															
	マルウェア イベント タイムスタンプ																															
	イベント タイプ ID																															
検出名	イベント サブタイプ ID								ディテクタ ID								文字列ブロック タイプ (0)															
	文字列ブロック タイプ (0) (続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																検出名...															
ユーザ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ...																															
ファイル名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル名...																															

レガシーマルウェアイベントのデータ構造

バイト	0								1							2							3									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ファイルパス	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイルパス...																															
ファイル SHA ハッシュ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル SHA ハッシュ...																															
	ファイルサイズ																															
	ファイルタイプ																															
	ファイルのタイムスタンプ																															
親ファイル名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイル名...																															
親ファイル SHA ハッシュ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイル SHA ハッシュ...																															
イベント説明	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	イベントの説明...																															
デバイス ID																																
接続インスタンス																接続数カウンタ																
接続イベント タイムスタンプ																																
方向								送信元 IP アドレス																								
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																

バイト	0								1								2								3															
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31								
	送信元 IP (続き)								宛先 IP アドレス																															
	宛先 IP アドレス (続き)																																							
	宛先 IP アドレス (続き)																																							
	宛先 IP アドレス (続き)																																							
	宛先 IP (続き)								アプリケーション ID																															
	アプリケーション ID (続き)								ユーザ ID																															
	ユーザ ID (続き)								アクセスコントロールポリシー UUID																															
	アクセスコントロールポリシー UUID (続き)																																							
	アクセスコントロールポリシー UUID (続き)																																							
	アクセスコントロールポリシー UUID (続き)																																							
URI	アクセスコントロールポリシー UUID (続き)								傾向								レトロスペクティブ傾向								文字列ブロックタイプ(0)															
	文字列ブロックタイプ(0) (続き)																文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長 (続き)																URI...																							
	送信元ポート																接続先ポート																							
送信元の国																宛先の国																								
Web アプリケーション ID																																								
クライアントアプリケーション ID																																								
操作																プロトコル																								

次の表は、マルウェア イベント データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-11 マルウェア イベント データ ブロック 5.2.x のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
マルウェア イベント ブロック タイプ	uint32	マルウェア イベント データ ブロックを開始します。この値は常に 33 です。
マルウェア イベント のブロック長	uint32	マルウェア イベント データ ブロックのバイトの合計数 (マルウェア イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
エージェント UUID	uint8[16]	マルウェア イベントをレポートする AMP for Endpoints エージェントの内部固有 ID。
クラウド UUID	uint8[16]	マルウェア イベントの発生元であるマルウェア認識ネットワークの、内部の固有 ID。
マルウェア イベント タイムスタンプ	uint32	マルウェア イベント生成時のタイムスタンプ。
イベント タイプ ID	uint32	マルウェア イベント タイプの内部 ID。
イベント サブタイプ ID	uint8	マルウェア 検出につながったアクションの内部 ID。
ディテクタ ID	uint8	マルウェアを検出した検出テクノロジーの内部 ID。
文字列ブロック タイプ	uint32	検出名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	検出名文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、および検出名フィールドのバイト数を含む)。
検出名	string	検出または検疫されたマルウェアの名前。
文字列ブロック タイプ	uint32	ユーザ名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、およびユーザ フィールドのバイト数を含む)。
ユーザ	string	Cisco Agent がインストールされ、マルウェア イベントが発生したコンピュータのユーザ。これらのユーザはユーザ ディスカバリーには関係ないことに注意してください。
文字列ブロック タイプ	uint32	ファイル名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル名文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、およびファイル名フィールドのバイト数を含む)。
ファイル名	string	検出または検疫されたファイルの名前。
文字列ブロック タイプ	uint32	ファイルパスを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。

表 B-11 マルウェアイベントデータブロック 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	ファイルパス文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、およびファイルパスフィールドのバイト数を含む)。
ファイルパス	string	検出または検疫されたファイルのファイルパス。ファイル名は含まれません。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイルSHAハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	ファイルSHAハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、およびファイルSHAハッシュフィールドのバイト数を含む)。
ファイルSHAハッシュ	string	検出または検疫されたファイルのSHA-256ハッシュ値のレンダリングされた文字列。
ファイルサイズ	uint32	検出または検疫されたファイルのサイズ(バイト単位)。
ファイルタイプ	uint8	検出または検疫されたファイルのファイルタイプ。
ファイルのタイムスタンプ	uint32	検出または検疫されたファイルの作成時のUNIXタイムスタンプ(1970年1月1日からの経過秒数)。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、および親ファイル名フィールドのバイト数を含む)。
親ファイル名	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスしたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイルSHAハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイルSHAハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、および親ファイルSHAハッシュフィールドのバイト数を含む)。
親ファイルSHAハッシュ	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスした親ファイルのSHA-256のハッシュ値。
文字列ブロックタイプ	uint32	イベントの説明を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	イベントの説明文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、およびイベントの説明フィールドのバイト数を含む)。
イベントの説明	string	イベントタイプに関連付けられている追加イベント情報。
デバイスID	uint32	イベントを生成したデバイスのID。
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスのSnortインスタンス。接続またはIDSイベントとイベントをリンクするために使用されます。

表 B-11 マルウェアイベントデータブロック 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
接続イベントタイムスタンプ	uint32	接続イベントのタイムスタンプ。
方向	uint8	ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示します。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> 1:ダウンロード 2:アップロード 現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーしたアクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能する ID 番号。
傾向	uint8	ファイルのマルウェアステータス。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 1(CLEAN):ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 2(NEUTRAL):ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 3(MALWARE):ファイルにはマルウェアが含まれています。 4(CACHE_MISS):ソフトウェアから Cisco クラウドに対して、特性を確認する要求を送信できなかったか、または Cisco クラウドサービスが要求に応答しませんでした。
レトロスペクティブ特性	uint8	特性が更新されている場合のファイルの特性。特性が更新されていない場合、このフィールドには特性フィールドと同じ値が格納されます。有効な値は、特性フィールドと同じです。
文字列ブロックタイプ	uint32	URI を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	URI 文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および URI フィールドのバイト数を含む)。
URI	string	接続の URI。
送信元ポート	uint16	接続の送信元のポート番号。

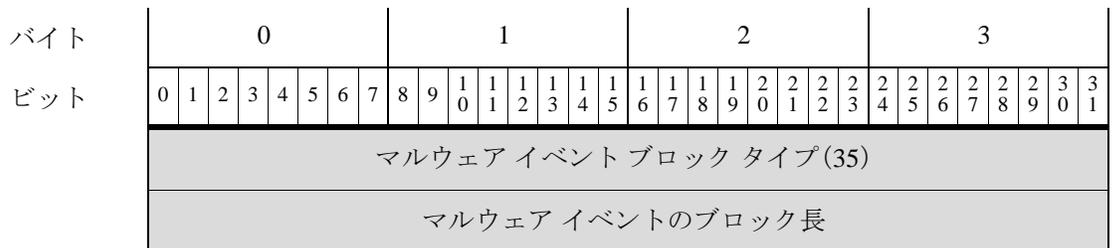
表 B-11 マルウェアイベントデータブロック 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
接続先ポート	uint16	接続の宛先のポート番号。
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。
宛先の国	uint 16	宛先ホストの国のコード。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアント アプリケーション ID	uint32	専用クライアント アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
操作	uint8	ファイルタイプに基づいてファイルに対して実行されたアクション。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 1: 検出 • 2: ブロック • 3: マルウェア クラウドルックアップ • 4: マルウェア ブロック • 5: マルウェア ホワイトリスト
プロトコル	uint8	ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1: ICMP • 4: IP • 6: TCP • 17: UDP これは現時点では TCP のみです。

マルウェア イベントのデータ ブロック 5.3

eStreamer サービスは、マルウェア イベントに関する情報を保存するために、マルウェア イベントデータ ブロックを使用します。これらのイベントには、クラウド内で検出または検疫されたマルウェア、検出方法、マルウェアの影響を受けるホストとユーザに関する情報が含まれています。マルウェア イベントデータ ブロックのブロックタイプは、シリーズ 2 グループの 35 です。マルウェア イベントレコードの一部として、イベントバージョン 4 およびイベントコード 101 の要求メッセージ内にマルウェア イベントフラグ(要求フラグフィールドのビット 30)を設定して、イベントを要求します。

次の図は、マルウェア イベントデータ ブロックの構造を示しています。



バイト	0								1					2					3													
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット																																
	エージェント UUID																															
	エージェント UUID (続き)																															
	エージェント UUID (続き)																															
	エージェント UUID (続き)																															
	クラウド UUID																															
	クラウド UUID (続き)																															
	クラウド UUID (続き)																															
	クラウド UUID (続き)																															
	マルウェア イベント タイムスタンプ																															
	イベント タイプ ID																															
	イベント サブタイプ ID																															
検出名	ディテクタ ID								文字列ブロック タイプ (0)																							
	文字列ブロック タイプ (0) (続き)								文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長 (続き)								検出名...																							
ユーザ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ...																															
ファイル名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル名...																															
ファイルパス	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイルパス...																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ファイル SHAハッ シュ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル SHA ハッシュ...																															
	ファイル サイズ																															
	ファイル タイプ																															
	ファイルのタイムスタンプ																															
親ファ イル名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイル名...																															
親ファイル SHA ハッ シュ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイル SHA ハッシュ...																															
イベント 説明	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	イベントの説明...																															
デバイス ID																																
接続インスタンス																接続数カウンタ																
接続イベント タイムスタンプ																																
方向								送信元 IP アドレス																								
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP(続き)								宛先IPアドレス																								

レガシーマルウェアイベントのデータ構造

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット	宛先 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP(続き)								アプリケーション ID																							
	アプリケーション ID(続き)								ユーザ ID																							
	ユーザ ID(続き)								アクセスコントロールポリシー UUID																							
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																															
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																															
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																															
URI	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)								傾向								レトロスペクティブ傾向								文字列ブロックタイプ(0)							
	文字列ブロックタイプ(0)(続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																URI...															
	送信元ポート																[接続先ポート															
	送信元の国																宛先の国															
Web アプリケーション ID																																
クライアントアプリケーション ID																																
操作								プロトコル								脅威スコア								IOC 番号								
IOC 番号(続き)																																

次の表は、マルウェア イベント データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-12 マルウェア イベント データ ブロック 5.3 のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
マルウェア イベント ブロック タイプ	uint32	マルウェア イベント データ ブロックを開始します。この値は常に 35 です。
マルウェア イベントのブロック長	uint32	マルウェア イベント データ ブロックのバイトの合計数 (マルウェア イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
エージェント UUID	uint8[16]	マルウェア イベントをレポートする AMP for Endpoints エージェントの内部固有 ID。
クラウド UUID	uint8[16]	マルウェア イベントの発生元であるマルウェア認識ネットワークの、内部の固有 ID。
マルウェア イベント タイムスタンプ	uint32	マルウェア イベント生成時のタイムスタンプ。
イベント タイプ ID	uint32	マルウェア イベント タイプの内部 ID。
イベント サブタイプ ID	uint32	マルウェア 検出につながったアクションの内部 ID。
ディテクタ ID	uint8	マルウェアを検出した検出テクノロジーの内部 ID。
文字列ブロック タイプ	uint32	検出名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	検出名文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、および検出名フィールドのバイト数を含む)。
検出名	string	検出または検疫されたマルウェアの名前。
文字列ブロック タイプ	uint32	ユーザ名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、およびユーザ フィールドのバイト数を含む)。
ユーザ	string	Cisco Agent がインストールされ、マルウェア イベントが発生したコンピュータのユーザ。これらのユーザはユーザ ディスカバリには関係ないことに注意してください。
文字列ブロック タイプ	uint32	ファイル名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル名文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、およびファイル名フィールドのバイト数を含む)。
ファイル名	string	検出または検疫されたファイルの名前。
文字列ブロック タイプ	uint32	ファイルパスを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。

表 B-12 マルウェアイベントデータブロック 5.3 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	ファイルパス文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、およびファイルパスフィールドのバイト数を含む)。
ファイルパス	string	検出または検疫されたファイルのファイルパス。ファイル名は含まれません。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイル SHA ハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル SHA ハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、およびファイル SHA ハッシュフィールドのバイト数を含む)。
ファイル SHA ハッシュ	string	検出または検疫されたファイルの SHA-256 ハッシュ値のレンダリングされた文字列。
ファイルサイズ	uint32	検出または検疫されたファイルのサイズ(バイト単位)。
ファイルタイプ	uint8	検出または検疫されたファイルのファイルタイプ。このフィールドの意味は、このイベントと一緒にメタデータで送信されます。詳細については、 AMP for Endpoints ファイルタイプのメタデータ(3-44 ページ) を参照してください。
ファイルのタイムスタンプ	uint32	検出または検疫されたファイルの作成時の UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの経過秒数)。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、および親ファイル名フィールドのバイト数を含む)。
親ファイル名	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスしたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル SHA ハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル SHA ハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、および親ファイル SHA ハッシュフィールドのバイト数を含む)。
親ファイル SHA ハッシュ	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスした親ファイルの SHA-256 のハッシュ値。
文字列ブロックタイプ	uint32	イベントの説明を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	イベントの説明文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の8バイト、およびイベントの説明フィールドのバイト数を含む)。
イベントの説明	string	イベントタイプに関連付けられている追加イベント情報。
デバイス ID	uint32	イベントを生成したデバイスの ID。

表 B-12 マルウェアイベントデータブロック 5.3 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスの Snort インスタンス。接続または IDS イベントとイベントをリンクするために使用されます。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
接続イベント タイムスタンプ	uint32	接続イベントのタイムスタンプ。
方向	uint8	ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示します。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 1: ダウンロード • 2: アップロード 現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
アクセス コントロール ポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーしたアクセス コントロール ポリシーの固有識別子として機能する ID 番号。
傾向	uint8	ファイルのマルウェア ステータス。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 (CLEAN): ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 • 2 (UNKNOWN): ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 • 3 (MALWARE): ファイルにはマルウェアが含まれています。 • 4 (UNAVAILABLE): ソフトウェアから Cisco クラウドに対して、特性を確認する要求を送信できなかったか、または Cisco クラウド サービスが要求に応答しませんでした。 • 5 (CUSTOM SIGNATURE): ファイルがユーザ定義のハッシュと一致するため、ユーザが指定した方法で処理されました。
レトロスペクティブ 特性	uint8	特性が更新されている場合のファイルの特性。特性が更新されていない場合、このフィールドには特性フィールドと同じ値が格納されます。有効な値は、特性フィールドと同じです。

表 B-12 マルウェアイベントデータブロック 5.3 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロックタイプ	uint32	URI を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	URI 文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および URI フィールドのバイト数を含む)。
URI	string	接続の URI。
送信元ポート	uint16	接続の送信元のポート番号。
接続先ポート	uint16	接続の宛先のポート番号。
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。
宛先の国	uint16	宛先ホストの国のコード。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
操作	uint8	ファイルタイプに基づいてファイルに対して実行されたアクション。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:検出 • 2:ブロック • 3:マルウェアクラウドルックアップ • 4:マルウェアブロック • 5:マルウェアホワイトリスト
プロトコル	uint8	ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:ICMP • 4:IP • 6:TCP • 17:UDP これは現時点では TCP のみです。
脅威スコア	uint8	動的分析中に観測された、悪意のある可能性がある振る舞いに基づく数値(0 ~ 100)。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。

マルウェア イベント データ ブロック 5.3.1

eStreamer サービスは、マルウェア イベントに関する情報を保存するために、マルウェア イベント データ ブロックを使用します。これらのイベントには、クラウド内で検出または検疫されたマルウェア、検出方法、マルウェアの影響を受けるホストとユーザに関する情報が含まれています。マルウェア イベント データ ブロックのブロックタイプは、シリーズ 2 グループの 44 です。これはブロック 35 に取って代わります。マルウェア イベント レコードの一部として、イベントバージョン 5 およびイベント コード 101 の要求メッセージ内にマルウェア イベント フラグ(要求フラグ フィールドのビット 30)を設定して、イベントを要求します。

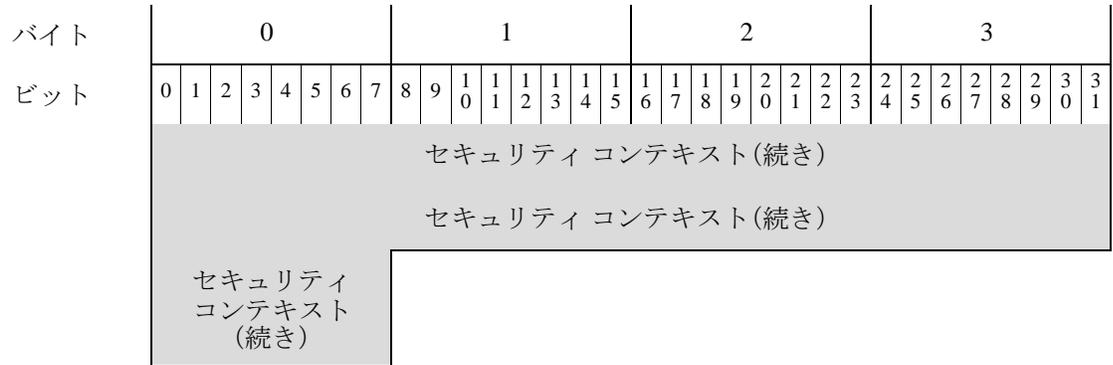
次の図は、マルウェア イベント データ ブロックの構造を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	マルウェア イベント ブロック タイプ (44)																															
	マルウェア イベント のブロック長																															
	エージェント UUID																															
	エージェント UUID (続き)																															
	エージェント UUID (続き)																															
	エージェント UUID (続き)																															
	クラウド UUID																															
	クラウド UUID (続き)																															
	クラウド UUID (続き)																															
	クラウド UUID (続き)																															
	マルウェア イベント タイムスタンプ																															
	イベント タイプ ID																															
	イベント サブタイプ ID																															
検出名	ディテクタ ID								文字列ブロック タイプ (0)																							
	文字列ブロック タイプ (0) (続き)								文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長 (続き)								検出名...																							
ユーザ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ...																															
ファイル名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル名...																															

レガシーマルウェアイベントのデータ構造

バイト	0								1							2							3									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ファイルパス	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイルパス...																															
ファイルSHAハッシュ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル SHA ハッシュ...																															
	ファイルサイズ																															
	ファイルタイプ																															
	ファイルのタイムスタンプ																															
親ファイル名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイル名...																															
親ファイルSHAハッシュ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイル SHA ハッシュ...																															
イベント説明	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	イベントの説明...																															
デバイスID																																
接続インスタンス																接続数カウンタ																
接続イベント タイムスタンプ																																
方向								送信元 IP アドレス																								
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																

バイト	0								1								2								3															
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31								
	送信元 IP (続き)								宛先 IP アドレス																															
	宛先 IP アドレス (続き)																																							
	宛先 IP アドレス (続き)																																							
	宛先 IP アドレス (続き)																																							
	宛先 IP (続き)								アプリケーション ID																															
	アプリケーション ID (続き)								ユーザ ID																															
	ユーザ ID (続き)								アクセスコントロールポリシー UUID																															
	アクセスコントロールポリシー UUID (続き)																																							
	アクセスコントロールポリシー UUID (続き)																																							
	アクセスコントロールポリシー UUID (続き)																																							
URI	アクセスコントロールポリシー UUID (続き)								傾向								レトロスペクティブ傾向								文字列ブロックタイプ(0)															
	文字列ブロックタイプ(0) (続き)																文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長 (続き)																URI...																							
	送信元ポート																接続先ポート																							
	送信元の国																宛先の国																							
	Web アプリケーション ID																																							
	クライアントアプリケーション ID																																							
	操作								プロトコル								脅威スコア								IOC 番号															
	IOC 番号 (続き)								セキュリティ コンテキスト																															
	セキュリティ コンテキスト (続き)																																							



次の表は、マルウェア イベント データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-13 マルウェア イベント データ ブロック 5.3.1 のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
マルウェア イベント ブロック タイプ	uint32	マルウェア イベント データ ブロックを開始します。この値は常に 44 です。
マルウェア イベントのブロック長	uint32	マルウェア イベント データ ブロックのバイトの合計数(マルウェア イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
エージェント UUID	uint8[16]	マルウェア イベントをレポートする AMP for Endpoints エージェントの内部固有 ID。
クラウド UUID	uint8[16]	マルウェア イベントの発生元 Cisco Advanced Malware Protection cloud の、内部の固有 ID。
マルウェア イベント タイムスタンプ	uint32	マルウェア イベント生成時のタイムスタンプ。
イベント タイプ ID	uint32	マルウェア イベント タイプの内部 ID。
イベント サブタイプ ID	uint32	マルウェア 検出につながったアクションの内部 ID。
ディテクタ ID	uint8	マルウェアを検出した検出テクノロジーの内部 ID。
文字列ブロック タイプ	uint32	検出名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	検出名文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、および検出名フィールドのバイト数を含む)。
検出名	string	検出または検疫されたマルウェアの名前。
文字列ブロック タイプ	uint32	ユーザ名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、およびユーザ フィールドのバイト数を含む)。

表 B-13 マルウェアイベントデータブロック 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ユーザ	string	Cisco Agent がインストールされ、マルウェア イベントが発生したコンピュータのユーザ。これらのユーザはユーザ ディスカバリには関係ないことに注意してください。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイル名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル名文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロックタイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、およびファイル名フィールドのバイト数を含む)。
ファイル名	string	検出または検疫されたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイルパスを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイルパス文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロックタイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、およびファイルパス フィールドのバイト数を含む)。
ファイルパス	string	検出または検疫されたファイルのファイルパス。ファイル名は含まれません。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイル SHA ハッシュを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル SHA ハッシュ文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロックタイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、およびファイル SHA ハッシュ フィールドのバイト数を含む)。
ファイル SHA ハッシュ	string	検出または検疫されたファイルの SHA-256 ハッシュ値のレンダリングされた文字列。
ファイルサイズ	uint32	検出または検疫されたファイルのサイズ(バイト単位)。
ファイルタイプ	uint8	検出または検疫されたファイルのファイルタイプ。このフィールドの意味は、このイベントと一緒にメタデータで送信されます。詳細については、 AMP for Endpoints ファイルタイプのメタデータ(3-44 ページ) を参照してください。
ファイルのタイムスタンプ	uint32	検出または検疫されたファイルの作成時の UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの経過秒数)。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル名文字列データ ブロックに含まれるバイト数 (ブロックタイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、および親ファイル名フィールドのバイト数を含む)。
親ファイル名	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスしたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル SHA ハッシュを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。

表 B-13 マルウェアイベントデータブロック 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	親ファイル SHA ハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および親ファイル SHA ハッシュフィールドのバイト数を含む)。
親ファイル SHA ハッシュ	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスした親ファイルの SHA-256 のハッシュ値。
文字列ブロックタイプ	uint32	イベントの説明を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	イベントの説明文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびイベントの説明フィールドのバイト数を含む)。
イベントの説明	string	イベントタイプに関連付けられている追加イベント情報。
デバイスID	uint32	イベントを生成したデバイスの ID。
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスの Snort インスタンス。接続または IDS イベントとイベントをリンクするために使用されます。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
接続イベントタイムスタンプ	uint32	接続イベントのタイムスタンプ。
方向	uint8	ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示します。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:ダウンロード • 2:アップロード 現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先IPアドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーしたアクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能する ID 番号。

表 B-13 マルウェアイベントデータブロック 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
傾向	uint8	<p>ファイルのマルウェア ステータス。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1(CLEAN):ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 • 2(UNKNOWN):ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 • 3(MALWARE):ファイルにはマルウェアが含まれています。 • 4(UNAVAILABLE):ソフトウェアから Cisco クラウドに対して、特性を確認する要求を送信できなかったか、または Cisco クラウド サービスが要求に応答しませんでした。 • 5(CUSTOM SIGNATURE):ファイルがユーザ定義のハッシュと一致するため、ユーザが指定した方法で処理されました。
レトロスペクティブ特性	uint8	<p>特性が更新されている場合のファイルの特性。特性が更新されていない場合、このフィールドには特性フィールドと同じ値が格納されます。有効な値は、特性フィールドと同じです。</p>
文字列ブロック タイプ	uint32	<p>URI を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。</p>
文字列ブロック長	uint32	<p>URI 文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および URI フィールドのバイト数を含む)。</p>
URI	string	<p>接続の URI。</p>
送信元ポート	uint16	<p>接続の送信元のポート番号。</p>
接続先ポート	uint16	<p>接続の宛先のポート番号。</p>
送信元の国	uint16	<p>送信元ホストの国のコード。</p>
宛先の国	uint16	<p>宛先ホストの国のコード。</p>
Web アプリケーション ID	uint32	<p>専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。</p>
クライアントアプリケーション ID	uint32	<p>専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。</p>
操作	uint8	<p>ファイルタイプに基づいてファイルに対して実行されたアクション。次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1:検出 • 2:ブロック • 3:マルウェア クラウド ルックアップ • 4:マルウェア ブロック • 5:マルウェア ホワイティスト

表 B-13 マルウェアイベントデータブロック 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
プロトコル	uint8	ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:ICMP • 4:IP • 6:TCP • 17:UDP これは現時点では TCP のみです。
脅威スコア	uint8	動的分析中に観測された、悪意のある可能性がある振る舞いに基づく数値(0 ~ 100)。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。
セキュリティ コンテキスト	uint8(16)	トラフィックが通過したセキュリティ コンテキスト (仮想ファイアウォール) の ID 番号。マルチコンテキストモードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。

マルウェア イベント データ ブロック 5.4.x

eStreamer サービスは、マルウェア イベントに関する情報を保存するために、マルウェア イベント データ ブロックを使用します。これらのイベントには、クラウド内で検出または検疫されたマルウェア、検出方法、マルウェアの影響を受けるホストとユーザに関する情報が含まれています。マルウェア イベント データ ブロックのブロックタイプは、シリーズ 2 グループの 47 です。これはブロック 44 に取って代わり、ブロックによって取って代わられます。SSL とファイルアーカイブ サポート用のフィールドが追加されました。

マルウェア イベント レコードの一部としてイベントを要求するには、イベントバージョン 6 およびイベントコード 101 の要求メッセージ内に、マルウェア イベント フラグ(要求フラグフィールドのビット 30)を設定します。

次の図は、マルウェア イベント データ ブロックの構造を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	マルウェア イベント ブロック タイプ (47)																															
	マルウェア イベントのブロック長																															
	エージェント UUID																															
	エージェント UUID(続き)																															
	エージェント UUID(続き)																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット	エージェント UUID (続き)																															
	クラウド UUID																															
	クラウド UUID (続き)																															
	クラウド UUID (続き)																															
	クラウド UUID (続き)																															
	マルウェア イベント タイムスタンプ																															
	イベント タイプ ID																															
	イベント サブタイプ ID																															
検出名	ディテクタ ID								文字列ブロック タイプ (0)																							
	文字列ブロック タイプ (0) (続き)								文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長 (続き)								検出名...																							
ユーザ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ...																															
ファイル名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル名...																															
ファイルパス	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイルパス...																															
ファイル SHA ハッシュ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ファイル SHA ハッシュ...																															
	ファイルサイズ																															

レガシーマルウェアイベントのデータ構造

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ファイルタイプ																															
	ファイルのタイムスタンプ																															
親ファイル名	文字列ブロックタイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイル名...																															
親ファイルSHAハッシュ	文字列ブロックタイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	親ファイルSHAハッシュ...																															
イベント説明	文字列ブロックタイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	イベントの説明...																															
	デバイスID																															
	接続インスタンス																接続数カウンタ															
	接続イベントタイムスタンプ																															
方向	送信元IPアドレス																															
	送信元IPアドレス(続き)																															
	送信元IPアドレス(続き)																															
	送信元IPアドレス(続き)																															
送信元IP(続き)	宛先IPアドレス																															
	宛先IPアドレス(続き)																															
	宛先IPアドレス(続き)																															
	宛先IPアドレス(続き)																															
宛先IP(続き)	アプリケーションID																															
アプリケーションID(続き)	ユーザID																															
ユーザID(続き)	アクセスコントロールポリシーUUID																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																															
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																															
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																															
URI	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)								傾向								レトロスペクティブ傾向								文字列ブロックタイプ(0)							
	文字列ブロックタイプ(0)(続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																URI...															
	送信元ポート																接続先ポート															
	送信元の国																宛先の国															
	Web アプリケーション ID																															
	クライアントアプリケーション ID																															
	操作								プロトコル								脅威スコア								IOC 番号							
	IOC 番号(続き)								セキュリティ コンテキスト																							
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)								SSL 証明書フィンガープリント																							
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)								実際の SSL アクション																SSL フローステータス							

バイト	0								1								2								3											
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
アーカイブ SHA	SSL フロース テータス(続き)								文字列ブロック タイプ(0)																											
	文字列ブロック タイプ(続き)								文字列ブロック タイプ(0)																											
	文字列長さ (続き)								アーカイブ SHA...																											
アーカイブ名	文字列ブロック タイプ(0)																																			
	文字列ブロック長																																			
	アーカイブ名...																																			
	アーカイブ深度																																			

次の表は、マルウェア イベント データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-14 マルウェア イベント データ ブロック 5.4.x のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
マルウェア イベント ブロック タイプ	uint32	マルウェア イベント データ ブロックを開始します。この値は常に 47 です。
マルウェア イベント のブロック長	uint32	マルウェア イベント データ ブロックのバイトの合計数(マルウェア イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
エージェント UUID	uint8[16]	マルウェア イベントをレポートする AMP for Endpoints エージェントの内部固有 ID。
クラウド UUID	uint8[16]	マルウェア イベントの発生元 Cisco Advanced Malware Protection cloud の、内部の固有 ID。
マルウェア イベント タイムスタンプ	uint32	マルウェア イベント生成時のタイムスタンプ。
イベント タイプ ID	uint32	マルウェア イベント タイプの内部 ID。
イベント サブタイプ ID	uint32	マルウェア 検出につながったアクションの内部 ID。
ディテクタ ID	uint8	マルウェアを検出した検出テクノロジーの内部 ID。
文字列ブロック タイプ	uint32	検出名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	検出名文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、および検出名フィールドのバイト数を含む)。
検出名	string	検出または検疫されたマルウェアの名前。

表 B-14 マルウェアイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザ名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびユーザフィールドのバイト数を含む)。
ユーザ	string	Cisco Agent がインストールされ、マルウェアイベントが発生したコンピュータのユーザ。これらのユーザはユーザ ディスカバリーには関係ないことに注意してください。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイル名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびファイル名フィールドのバイト数を含む)。
ファイル名	string	検出または検疫されたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイルパスを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイルパス文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびファイルパスフィールドのバイト数を含む)。
ファイルパス	string	検出または検疫されたファイルのファイルパス。ファイル名は含まれません。
文字列ブロックタイプ	uint32	ファイル SHA ハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ファイル SHA ハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびファイル SHA ハッシュフィールドのバイト数を含む)。
ファイル SHA ハッシュ	string	検出または検疫されたファイルの SHA-256 ハッシュ値のレンダリングされた文字列。
ファイルサイズ	uint32	検出または検疫されたファイルのサイズ(バイト単位)。
ファイルタイプ	uint8	検出または検疫されたファイルのファイルタイプ。このフィールドの意味は、このイベントと一緒にメタデータで送信されます。詳細については、 AMP for Endpoints ファイルタイプのメタデータ(3-44 ページ) を参照してください。
ファイルのタイムスタンプ	uint32	検出または検疫されたファイルの作成時の UNIX タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からの経過秒数)。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および親ファイル名フィールドのバイト数を含む)。

表 B-14 マルウェアイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
親ファイル名	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスしたファイルの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	親ファイル SHA ハッシュを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	親ファイル SHA ハッシュ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および親ファイル SHA ハッシュフィールドのバイト数を含む)。
親ファイル SHA ハッシュ	string	検出が行われたときに、検出または検疫されたファイルにアクセスした親ファイルの SHA-256 のハッシュ値。
文字列ブロックタイプ	uint32	イベントの説明を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	イベントの説明文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびイベントの説明フィールドのバイト数を含む)。
イベントの説明	string	イベントタイプに関連付けられている追加イベント情報。
デバイスID	uint32	イベントを生成したデバイスの ID。
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスの Snort インスタンス。接続または IDS イベントとイベントをリンクするために使用されます。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
接続イベントタイムスタンプ	uint32	接続イベントのタイムスタンプ。
方向	uint8	ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示します。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> 1: ダウンロード 2: アップロード 現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーしたアクセスコントロールポリシーの固有識別子として機能する ID 番号。

表 B-14 マルウェアイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
傾向	uint8	<p>ファイルのマルウェア ステータス。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1(CLEAN):ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 • 2(UNKNOWN):ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 • 3(MALWARE):ファイルにはマルウェアが含まれています。 • 4(UNAVAILABLE):ソフトウェアから Cisco クラウドに対して、特性を確認する要求を送信できなかったか、または Cisco クラウド サービスが要求に応答しませんでした。 • 5(CUSTOM SIGNATURE):ファイルがユーザ定義のハッシュと一致するため、ユーザが指定した方法で処理されました。
レトロスペクティブ特性	uint8	<p>特性が更新されている場合のファイルの特性。特性が更新されていない場合、このフィールドには特性フィールドと同じ値が格納されます。有効な値は、特性フィールドと同じです。</p>
文字列ブロック タイプ	uint32	<p>URI を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。</p>
文字列ブロック長	uint32	<p>URI 文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、および URI フィールドのバイト数を含む)。</p>
URI	string	<p>接続の URI。</p>
送信元ポート	uint16	<p>接続の送信元のポート番号。</p>
接続先ポート	uint16	<p>接続の宛先のポート番号。</p>
送信元の国	uint16	<p>送信元ホストの国のコード。</p>
宛先の国	uint16	<p>宛先ホストの国のコード。</p>
Web アプリケーション ID	uint32	<p>専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。</p>
クライアント アプリケーション ID	uint32	<p>専用クライアント アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。</p>

表 B-14 マルウェアイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
操作	uint8	<p>ファイルタイプに基づいてファイルに対して実行されたアクション。次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1:検出 • 2:ブロック • 3:マルウェアクラウドルックアップ • 4:マルウェアブロック • 5:マルウェアホワイトリスト • 6:クラウドルックアップのタイムアウト • 7:カスタム検出 • 8:カスタム検出ブロック • 9:アーカイブブロック(深度超過) • 10:アーカイブブロック(暗号化されている) • 11:アーカイブブロック(調査エラー)
プロトコル	uint8	<p>ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1:ICMP • 4:IP • 6:TCP • 17:UDP <p>これは現時点では TCP のみです。</p>
脅威スコア	uint8	動的分析中に観測された、悪意のある可能性がある振る舞いに基づく数値(0 ~ 100)。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。
セキュリティコンテキスト	uint8(16)	トラフィックが通過したセキュリティコンテキスト(仮想ファイアウォール)の ID 番号。マルチコンテキストモードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。
SSL 証明書フィンガープリント	uint8[20]	SSL サーバ証明書の SHA1 ハッシュ。

表 B-14 マルウェアイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
実際の SSL アクション	uint16	<p>SSL ルールに基づいて接続に対して実行されたアクション。ルールに指定されているアクションが不可能なことがあるため、これは予期していたアクションとは異なることがあります。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• 0:「不明」• 1:「復号しない」• 2:「ブロックする」• 3:「リセットでブロック」• 4:「復号(既知のキー)」• 5:「復号(置換キー)」• 6:「復号(Resign)」

表 B-14 マルウェアイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL フロー ステータス	uint16	<p>SSL フローのステータス。アクションが実行された理由、またはエラーメッセージが出された理由を示す値です。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0:「不明」 • 1:「一致しない」 • 2:「成功」 • 3:「キャッシュされていないセッション」 • 4:「不明の暗号化スイート」 • 5:「サポートされていない暗号スイート」 • 6:「サポートされていない SSL バージョン」 • 7:「使用される SSL 圧縮」 • 8:「パッシブ モードで復号不可のセッション」 • 9:「ハンドシェイク エラー」 • 10:「復号エラー」 • 11:「保留中のサーバ名カテゴリ ルックアップ」 • 12:「保留中の共通名カテゴリ ルックアップ」 • 13:「内部エラー」 • 14:「使用できないネットワーク パラメータ」 • 15:「無効なサーバの証明書の処理」 • 16:「サーバ証明書フィンガープリントが使用不可」 • 17:「サブジェクト DN をキャッシュできません」 • 18:「発行者 DN をキャッシュできません」 • 19:「不明な SSL バージョン」 • 20:「外部証明書のリストが使用できません」 • 21:「外部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 22:「内部証明書リストが無効」 • 23:「内部証明書のリストが使用できません」 • 24:「内部証明書が使用できません」 • 25:「内部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 26:「サーバ証明書の検証が使用できません」 • 27:「サーバ証明書の検証エラー」 • 28:「無効な操作」
文字列ブロックタイプ	uint32	<p>アーカイブ SHA を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。</p>

表 B-14 マルウェアイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	アーカイブ SHA 文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および侵入ポリシー名のバイト数を含む)。
アーカイブ SHA	string	ファイルが含まれる親アーカイブの SHA1 ハッシュ。
文字列ブロックタイプ	uint32	アーカイブ名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	アーカイブ名文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびアーカイブ名のバイト数を含む)。
アーカイブ名	string	親アーカイブの名前。
アーカイブ深度	uint8	ファイルがネストされている層の数。たとえば、テキストファイルが zip アーカイブ内にある場合、この値は 1 になります。

レガシーディスカバリデータ構造

- [レガシーディスカバリ イベントヘッダー \(B-93 ページ\)](#)
- [レガシーサーバデータブロック \(B-95 ページ\)](#)
- [レガシークライアントアプリケーションデータブロック \(B-96 ページ\)](#)
- [レガシースキャン結果データブロック \(B-98 ページ\)](#)
- [レガシーホストプロファイルデータブロック \(B-117 ページ\)](#)
- [レガシー OS フィンガープリントデータブロック \(B-125 ページ\)](#)

レガシーディスカバリ イベントヘッダー

ディスカバリ イベントヘッダー 5.0 ~ 5.1.1.x

ディスカバリ イベントおよび接続イベントのメッセージには、ディスカバリ イベントヘッダーが含まれます。これは、イベントのタイプおよびサブタイプ、イベントが発生した時刻、イベントが発生したデバイス、およびメッセージ内のイベントデータの構造を伝えます。このヘッダーには、実際のホストディスカバリ、ユーザ、または接続イベントのデータが続きます。さまざまなイベントのタイプ/サブタイプ値に関連付けられる構造の詳細については、[イベントタイプ別ホストディスカバリ構造 \(4-44 ページ\)](#) で説明します。

ディスカバリ イベントヘッダーのイベントタイプフィールドおよびイベントサブタイプフィールドは、送信されたイベントメッセージの構造を示します。イベントデータブロックの構造が一度判別されたら、プログラムはメッセージを適切に解析できます。

次の図の網掛けされた行は、ディスカバリ イベントヘッダーの形式を例示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)															
	メッセージ長																															
	Netmap ID																レコードタイプ															
	レコード長																															
	eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット 23 が設定されている場合のみ)																															
ディスカバリイベントヘッダー	デバイス ID																															
	IPアドレス																															
	MAC アドレス																															
	MAC アドレス(続き)																将来の使用に備えて予約済み															
	イベント秒																															
	イベント マイクロ秒																															
	予約済み(内部使用)								イベントタイプ																							
	イベント サブタイプ																															
	ファイル番号(内部使用専用)																															
	ファイルの位置(内部使用専用)																															

次の表は、ディスカバリ イベント ヘッダーについての説明です。

表 B-15 ディスカバリ イベント ヘッダーのフィールド

フィールド	データ型	説明
デバイス ID	uint32	ディスカバリ イベントを生成したデバイスの ID 番号。バージョン 3 および 4 のメタデータを要求すると、デバイスのメタデータを入手できます。詳細については、 管理対象 デバイス レコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
IPアドレス	uint32	イベントに関連するホストの IP アドレス。
MAC アドレス	uint86	イベントに関連するホストの MAC アドレス。
将来の使用に備えて予約済み	byte[2]	0 に設定された値による 2 バイトのパディング。
イベント秒	uint32	システムがイベントを生成したときの UNIX タイムスタンプ (1970 年 1 月 1 日以降の秒数)。
イベント マイクロ秒	uint32	システムがイベントを生成したときのタイムスタンプの、マイクロ秒 (100 万分の 1 秒) の増分。
予約済み (内部使用)	バイト	Cisco の内部データであり、無視してかまいません。
イベント タイプ	uint32	イベントのタイプ (新規イベントの場合は 1000、変更イベントの場合は 1001、ユーザ入力イベントの場合は 1002、フルホストプロファイルの場合は 1050)。使用可能なイベント タイプの一覧の詳細については、 イベント タイプ別ホスト ディスカバリ 構造 (4-44 ページ) を参照してください。
イベント サブタイプ	uint32	イベント サブタイプ。使用可能なイベント サブタイプの一覧の詳細については、 イベント タイプ別ホスト ディスカバリ 構造 (4-44 ページ) を参照してください。
ファイル番号	byte[4]	シリアル ファイル番号。このフィールドは、Cisco の内部使用のためのものであり、無視してかまいません。
ファイルの位置	byte[4]	シリアル ファイル内のイベントの位置。このフィールドは、Cisco の内部使用のためのものであり、無視してかまいません。

レガシー サーバデータ ブロック

詳細については、次の項を参照してください。

- [属性アドレス データ ブロック 5.0 ~ 5.1.1.x \(B-95 ページ\)](#)

属性アドレス データ ブロック 5.0 ~ 5.1.1.x

属性アドレス ブロック データは、属性リスト項目が含まれ、属性定義データ ブロック内で使用されます。これはブロック タイプ 38 です。

次の図は、属性アドレス ブロックの基本構造を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	属性アドレスブロックタイプ (38)																															
	属性アドレスブロック長																															
	Attribute ID																															
	[IPアドレス (IP Address)]																															
	ビット																															

次の表は、属性アドレスデータブロックのフィールドについての説明です。

表 B-16 属性アドレスデータブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
属性アドレスブロックタイプ	uint32	属性アドレスブロックデータを開始します。この値は常に 38 です。
属性アドレスブロック長	uint32	属性アドレスデータブロックのバイト数(属性アドレスブロックタイプと長さ用の 8 バイト、およびそれに続く属性アドレスデータのバイト数を含む)。
属性 ID	uint32	影響を受ける属性の ID 番号(該当する場合)。
IPアドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、ホストの IP アドレス (アドレスが自動的に割り当てられた場合)。
ビット	uint32	IP アドレスが自動的に割り当てられた場合に、ネットマスクを計算するために使用される有効ビットが含まれます。

レガシークライアントアプリケーションデータブロック

詳細については、次の項を参照してください。

- [ユーザクライアントアプリケーションデータブロック 5.0 ~ 5.1 \(B-96 ページ\)](#)

ユーザクライアントアプリケーションデータブロック 5.0 ~ 5.1

ユーザクライアントアプリケーションデータブロックには、クライアントアプリケーションデータの送信元に関する情報、データを追加したユーザの ID 番号、および IP アドレス範囲データブロックのリストが含まれます。ユーザクライアントアプリケーションデータブロックのブロックタイプは 59 です。

次の図は、ユーザクライアントアプリケーションデータブロックの基本構造を示しています。

バイト	0								1								2								3															
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ユーザクライアントアプリケーションブロックタイプ(59)																																							
	ユーザクライアントアプリケーションブロック長																																							
IPアドレス 範囲	汎用リストブロックタイプ(31)																																							
	汎用リストブロック長																																							
	IP 範囲仕様データブロック*																																							
	アプリケーションプロトコル ID																																							
	クライアントアプリケーション ID																																							
バージョン	文字列ブロックタイプ(0)																																							
	文字列ブロック長																																							
	バージョン...																																							

次の表は、ユーザクライアントアプリケーションデータブロックのフィールドについての説明です。

表 B-17 ユーザクライアントアプリケーションデータブロックのフィールド

フィールド	バイト数	説明
ユーザクライアントアプリケーションブロックタイプ	uint32	ユーザクライアントアプリケーションデータブロックを開始します。この値は常にです。
ユーザクライアントアプリケーションブロック長	uint32	ユーザクライアントアプリケーションデータブロックのバイトの合計数(ユーザクライアントアプリケーションブロックタイプと長さのフィールド用の8バイト、およびそれに続くユーザクライアントアプリケーションデータのバイト数を含む)。
汎用リストブロックタイプ	uint32	IP アドレス範囲データを伝える IP 範囲仕様データブロック*で構成された汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	リストヘッダーとカプセル化されたすべての IP 範囲仕様データブロック*を含む汎用リストデータブロックのバイト数。
IP 範囲仕様データブロック*	変数	ユーザ入力 IP アドレス範囲に関する情報を含む IP 範囲仕様データブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 表 4-58 ユーザサーバデータブロックのフィールド(4-107 ページ) を参照してください。

表 B-17 ユーザクライアントアプリケーションデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	バイト数	説明
アプリケーション プロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプ リケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロックタ イプ	uint32	クライアントアプリケーションバージョンを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーションバージョン文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド、およびバージョンのバイト数を含む)。
バージョン	string	クライアントアプリケーションバージョン。

レガシー スキャン結果データブロック

詳細については、次の項を参照してください。

- [スキャン結果データブロック 5.0 ~ 5.1.1.x \(B-98 ページ\)](#)
- [ユーザ製品データブロック 5.0.x \(B-101 ページ\)](#)
- [ユーザ情報データブロック 5.x \(B-115 ページ\)](#)

スキャン結果データブロック 5.0 ~ 5.1.1.x

スキャン結果データブロックは、脆弱性を説明し、スキャン結果追加イベント内で使用されます(イベントタイプ 1002、サブタイプ 11)。スキャン結果データブロックのブロックタイプは 102 です。

次の図は、スキャン結果データブロックの形式を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	スキャン結果ブロックタイプ(102)																															
	スキャン結果ブロック長																															
	ユーザ ID																															
	Scan Type																															
	IPアドレス																															
	ポート																プロトコル															

バイト	0								1								2								3								
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	フラグ																リストブロックタイプ(11)																脆弱性スキャンリスト
	リストブロックタイプ(11)																リストブロック長																
脆弱性リスト	リストブロック長																スキャン脆弱性ブロックタイプ(109)																
	スキャン脆弱性ブロックタイプ(109)																スキャン脆弱性ブロック長																
	スキャン脆弱性ブロック長																脆弱性データ...																
	リストブロックタイプ(11)																																汎用スキャン結果リスト
	リストブロック長																																
スキャン結果リスト	汎用スキャン結果ブロックタイプ(108)																																
	汎用スキャン結果ブロック長																																
	汎用スキャン結果...																																
ユーザ製品リスト	汎用リストブロックタイプ(31)																																
	汎用リストブロック長																																
	ユーザ製品データブロック*																																

次の表は、スキャン結果データブロックのフィールドについての説明です。

表 B-18 スキャン結果データブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
スキャン結果ブロックタイプ	uint32	スキャン結果データブロックを開始します。この値は常に 102 です。
スキャン結果ブロック長	uint32	スキャン脆弱性データブロックのバイト数(接続統計ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くスキャン脆弱性データのバイト数を含む)。
ユーザ ID	uint32	スキャン結果をインポートしたユーザ、またはスキャン結果を生成したスキャンを実行したユーザのユーザ ID 番号が含まれます。
スキャンタイプ	uint32	結果がシステムに追加された方法を示します。
IPアドレス	uint32	IP アドレス オクテットの、結果の脆弱性によって影響を受けるホストの IP アドレス。
ポート	uint16	結果の脆弱性の影響を受ける、サブサーバで使用されるポート。

表 B-18 スキャン結果データブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
プロトコル	uint16	IANA プロトコル番号。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:ICMP • 4:IP • 6:TCP • 17:UDP
フラグ	uint16	予約済
リストブロックタイプ	uint32	トランスポート スキャン脆弱性データを伝えるスキャン脆弱性データブロックで構成されるリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのスキャン脆弱性データブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のスキャン脆弱性データブロックが続きます。
スキャン脆弱性ブロックタイプ	uint32	スキャン中に検出された脆弱性を記述するスキャン脆弱性データブロックを開始します。この値は常に 109 です。
スキャン脆弱性ブロック長	uint32	スキャン脆弱性データブロックのバイト数(接続統計ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くスキャン脆弱性データのバイト数を含む)。
脆弱性データ	string	各脆弱性に関する情報。
リストブロックタイプ	uint32	トランスポート スキャン脆弱性データを伝えるスキャン脆弱性データブロックで構成されるリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのスキャン脆弱性データブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のスキャン脆弱性データブロックが続きます。
汎用スキャン結果ブロックタイプ	uint32	スキャン中に検出されたサーバおよびオペレーティングシステムを記述する汎用スキャン結果データブロックを開始します。この値は常に 108 です。
汎用スキャン結果ブロック長	uint32	汎用スキャン結果データブロックのバイト数(汎用スキャン結果ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くスキャン結果データのバイト数を含む)。
汎用スキャン結果データ	string	各スキャン結果に関する情報。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サードパーティアプリケーションからのホスト入力データを伝えるユーザ製品データブロックを構成する、汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。

表 B-18 スキャン結果データブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのユーザ製品データブロックを含む)。
ユーザ製品データブロック*	変数	ホスト入力データを含むユーザ製品データブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 ユーザ製品データブロック 5.1+(4-178 ページ) を参照してください。

ユーザ製品データブロック 5.0.x

ユーザ製品データブロックは、サードパーティアプリケーション文字列マッピングを含む、サードパーティアプリケーションからインポートされたホスト入力データを伝えます。このデータブロックは、次の表では、[6.1+の接続統計データブロックのフィールドについて説明します。\(4-131 ページ\)](#)で使用されます。ユーザ製品データブロックは、4.10.x の場合はブロックタイプ 65、5.0 ~ 5.0.x の場合はブロックタイプ 118 です。それぞれのブロックタイプは同じ構造を持ちます。



(注) 次の図で、データブロック名の横のアスタリスク(*)は、データブロックの複数のインスタンスが発生する可能性があることを示します。

次の図は、ユーザ製品データブロックの形式を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ユーザ製品データブロックタイプ (65 118)																															
	ユーザ製品ブロック長																															
	ソース ID																															
	ソースタイプ																															
IPアドレス範囲	汎用リストブロックタイプ (31)																															
	汎用リストブロック長																															
	IP 範囲仕様データブロック*																															
	ポート																プロトコル															
	ドロップユーザ製品																															

バイト	0								1					2					3													
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
カスタムベンダー 文字列	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	カスタムベンダー文字列...																															
カスタム製品 文字列	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	カスタム製品文字列...																															
カスタムバージョン 文字列	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	カスタムバージョン文字列...																															
	ソフトウェア ID																															
	サーバ ID																															
	ベンダー ID																															
	製品 ID																															
メジャーバージョン 文字列	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	メジャーバージョン文字列...																															
マイナーバージョン 文字列	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	マイナーバージョン文字列...																															
リビジョン 文字列	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	リビジョン文字列...																															
移行先メジャー 文字列	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	移行先メジャーバージョン文字列...																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
マイナー用 文字列	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	マイナー用バージョン文字列...																															
リビジョン用 文字列	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	リビジョン用文字列...																															
ビルド 文字列	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ビルド文字列...																															
パッチ 文字列	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	パッチ文字列...																															
内線番号 文字列	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	拡張文字列...																															
OS UUID	オペレーティング システム UUID																															
	オペレーティング システム UUID(続き)																															
	オペレーティング システム UUID(続き)																															
	オペレーティング システム UUID(続き)																															
修正のリスト	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	修正リスト データ ブロック*																															

次の表は、ユーザ製品データブロックのコンポーネントについての説明です。

表 B-19 ユーザ製品データブロック 4.10.x、5.0 ~ 5.0.x のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ユーザ製品データブロックタイプ	uint32	ユーザ製品データブロックを開始します。この値はバージョン 4.10.x の場合は 65、バージョン 5.0 ~ 5.0.x の場合は 118 です。
ユーザ製品ブロック長	uint32	ユーザ製品データブロックのバイトの合計数(ユーザ製品ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くユーザ製品データのバイト数を含む)。
ソース ID	uint32	データをインポートした送信元の ID 番号。
ソースタイプ	uint32	データ提供ソースのソースタイプ。
汎用リストブロックタイプ	uint32	IP アドレス範囲データを伝える IP 範囲仕様データブロック* で構成された汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	リストヘッダーとカプセル化されたすべての IP 範囲仕様データブロック* を含む汎用リストデータブロックのバイト数。
IP 範囲仕様データブロック*	変数	ユーザ入力の IP アドレス範囲に関する情報を含む IP 範囲仕様データブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 5.2+の IP アドレス範囲データブロック (4-99 ページ) を参照してください。
ポート	uint16	ユーザが指定したポート。
プロトコル	uint16	ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:ICMP • 4:IP • 6:TCP • 17:UDP
ドロップユーザ製品	uint32	ユーザ OS 定義がホストから削除されたかどうかを次のように示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:いいえ • 1:はい
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザ入力で指定されたカスタムベンダー名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	カスタムベンダー文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびベンダー名のバイト数を含む)。
カスタムベンダー名	string	ユーザ入力で指定されたカスタムベンダー名。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザ入力で指定されたカスタム製品名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	カスタム製品文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、および製品名のバイト数を含む)。

表 B-19 ユーザ製品データ ブロック 4.10.x、5.0 ~ 5.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
カスタム製品名	string	ユーザ入力で指定されたカスタム製品名。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザ入力で指定されたカスタムバージョンを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	カスタムバージョン文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
カスタムバージョン	string	ユーザ入力で指定されたカスタムバージョン。
ソフトウェア ID	uint32	Cisco データベースの特定のレビジョンのサーバまたはオペレーティングシステムの ID。
サーバ ID	uint32	ユーザ入力で指定されたホストサーバ上のアプリケーションプロトコルの Cisco アプリケーション ID。
ベンダー ID	uint32	サードパーティオペレーティングシステムが Cisco 3D オペレーティングシステム定義にマップされるときに指定される、サードパーティオペレーティングシステムのベンダーの ID。
製品 ID	uint32	サードパーティオペレーティングシステム文字列が Cisco 3D オペレーティングシステム定義にマップされるときに指定される、サードパーティオペレーティングシステム文字列の製品 ID 文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義のメジャーバージョン番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	メジャー文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
メジャーバージョン	string	サードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義のメジャーバージョン。
文字列ブロックタイプ	uint32	サードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義のマイナーバージョン番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	マイナー文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
マイナーバージョン	string	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義のマイナーバージョン。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco オペレーティングシステム定義のレビジョン番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。

表 B-19 ユーザ製品データブロック 4.10.x、5.0 ~ 5.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	リビジョン文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびリビジョン番号のバイト数を含む)。
リビジョン	string	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義のリビジョン番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	サードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義の最終メジャーバージョン番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	メジャー用文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
移行先メジャー	string	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義のメジャーバージョン番号の範囲内にある、最終バージョン番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	サードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義の最終マイナーバージョン番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	マイナー用文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
マイナー用	string	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義のマイナーバージョン番号の範囲内にある、最終バージョン番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	サードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義の最終リビジョン番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	リビジョン用文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびリビジョン番号のバイト数を含む)。
リビジョン用	string	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステム定義のリビジョン番号の範囲内にある、最終リビジョン番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	サードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステムのビルド番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ビルド文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびビルド番号のバイト数を含む)。

表 B-19 ユーザ製品データ ブロック 4.10.x、5.0 ~ 5.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ビルド	string	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステムのビルド番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	サードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステムのパッチ番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	パッチ文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびパッチ番号のバイト数を含む)。
パッチ	string	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステムのパッチ番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	サードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステムの拡張番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	拡張文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、および拡張番号のバイト数を含む)。
内線番号	string	ユーザ入力内のサードパーティオペレーティングシステム文字列がマップされる Cisco 3D オペレーティングシステムの拡張番号。
UUID	uint8 [x16]	オペレーティングシステム用の固有 ID 番号が含まれます。
汎用リストブロックタイプ	uint32	どの修正が特定の IP アドレス範囲内のホストに適用されているかに関するユーザ入力データを伝える修正リストデータブロックで構成される、汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべての修正リストデータブロックを含む)。
修正リストデータブロック*	変数	ホストに適用された修正に関する情報を含む修正リストデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 フィックスリストデータブロック(4-106 ページ) を参照してください。

レガシーユーザログインデータブロック

詳細については、次の各項を参照してください。

- [ユーザログイン情報データブロック 5.0 ~ 5.0.2\(B-108 ページ\)](#)
- [ユーザログイン情報データブロック 5.1 ~ 5.4.x\(B-109 ページ\)](#)
- [ユーザログイン情報データブロック 6.0.x\(B-111 ページ\)](#)
- [ユーザ情報データブロック 5.x\(B-115 ページ\)](#)

ユーザ ログイン情報データ ブロック 5.0 ~ 5.0.2

ユーザ ログイン情報データ ブロックは、ユーザ情報更新メッセージで使用され、検出されたユーザのログイン情報の変更を伝えます。詳細については、[ユーザ情報更新メッセージブロック \(4-62 ページ\)](#)を参照してください。

ユーザ ログイン情報データ ブロックは、バージョン 5.0 ~ 5.0.2 の場合は、ブロック タイプ 121 です。

次の図は、ユーザ ログイン情報データ ブロックの形式を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ユーザ ログイン情報ブロック タイプ (121)																															
	ユーザ ログイン情報ブロック長																															
	タイムスタンプ																															
	IPアドレス																															
ユーザ名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ名...																															
	ユーザ ID																															
	アプリケーション ID																															
E メール	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	電子メール...																															

次の表は、ユーザ ログイン情報データ ブロックのコンポーネントについての説明です。

表 B-20 ユーザ ログイン情報データ ブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ユーザ ログイン情報ブロック タイプ	uint32	ユーザ ログイン情報データ ブロックを開始します。この値は、バージョン 5.0 ~ 5.0.2 の場合は 121 です。
ユーザ ログイン情報ブロック長	uint32	ユーザ ログイン情報データ ブロックのバイトの合計数(ユーザ ログイン情報ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くユーザ ログイン情報データのバイト数を含む)。

表 B-20 ユーザログイン情報データブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

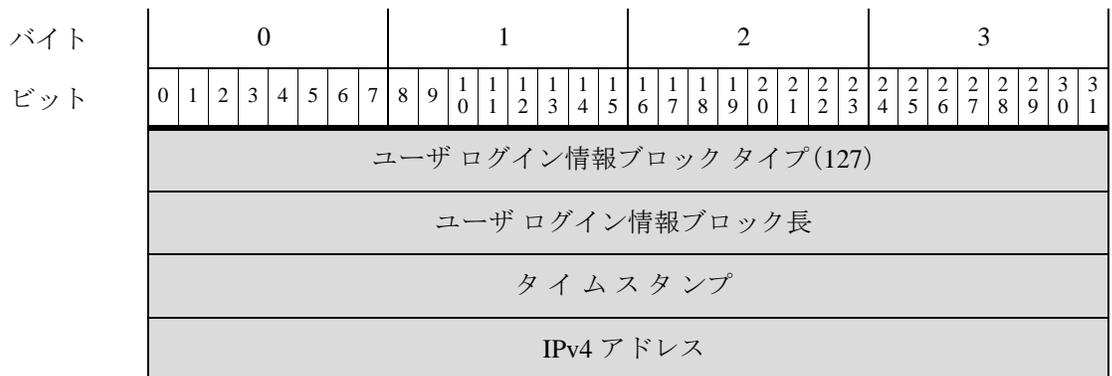
フィールド	データタイプ	説明
タイムスタンプ	uint32	イベントのタイムスタンプ。
IPアドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、ユーザのログインが検出されたホストからの IP アドレス。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザのユーザ名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ名文字列データ ブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびユーザ名のバイト数を含む)。
ユーザ名	string	ユーザのユーザ名。
ユーザ ID	uint32	ユーザの ID 番号。
アプリケーション ID	uint32	ログイン情報の取得元の、接続に使用されたアプリケーションプロトコルのアプリケーション ID。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザの電子メールアドレスを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ブロックタイプフィールドと長さフィールドの 8 バイトに電子メールアドレスのバイト数を加えた電子メールアドレス文字列データブロックのバイト数。
E メール	string	ユーザの電子メールアドレス。

ユーザログイン情報データブロック 5.1 ~ 5.4.x

ユーザログイン情報データブロックは、ユーザ情報更新メッセージで使用され、検出されたユーザのログイン情報の変更を伝えます。詳細については、[ユーザアカウント更新メッセージデータブロック \(4-187 ページ\)](#)を参照してください。

ユーザログイン情報データブロックは、バージョン 4.7 ~ 4.10.x の場合はブロックタイプ 73、バージョン 5.0 ~ 5.0.2 の場合はシリーズ 1 グループのブロックのブロックタイプ 121、バージョン 5.1 ~ 5.4.x の場合はシリーズ 1 グループのブロックのデータタイプ 127 です。

次の図は、ユーザログイン情報データブロックの形式を示しています。



バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ユーザ名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ名...																															
	ユーザ ID																															
	アプリケーション ID																															
E メール	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	電子メール...																															
	IPv6アドレス																															
	IPv6 アドレス(続き)																															
	IPv6 アドレス(続き)																															
	IPv6 アドレス(続き)																															
レポート基準	ログインタイプ	文字列ブロック タイプ(0)																														
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)	文字列ブロック長																														
	文字列ブロッ ク長	レポート基準...																														

次の表は、ユーザ ログイン情報データ ブロックのコンポーネントについての説明です。

表 B-21 ユーザ ログイン情報データ ブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ユーザ ログイン情報ブロック タイプ	uint32	ユーザ ログイン情報データ ブロックを開始します。この値は、バージョン 5.1+ の場合は 127 です。
ユーザ ログイン情報ブロック長	uint32	ユーザ ログイン情報データ ブロックのバイトの合計数 (ユーザ ログイン情報ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くユーザ ログイン情報データのバイト数を含む)。
タイムスタンプ	uint32	イベントのタイムスタンプ。

表 B-21 ユーザログイン情報データブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
IPv4 アドレス	uint32	このフィールドは予約済みですが、設定されておりません。IPv4 アドレスは IPv6 アドレス フィールドに保存されます。詳細については、 IP アドレス (1-6 ページ) を参照してください。
文字列ブロック タイプ	uint32	ユーザのユーザ名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ名文字列データ ブロックのバイト数(ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびユーザ名のバイト数を含む)。
ユーザ名	string	ユーザのユーザ名。
ユーザ ID	uint32	ユーザの ID 番号。
アプリケーション ID	uint32	ログイン情報の取得元の、接続に使用されたアプリケーション プロトコルのアプリケーション ID。
文字列ブロック タイプ	uint32	ユーザの電子メールアドレスを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ブロック タイプ フィールドと長さフィールドの 8 バイトに電子メールアドレスのバイト数を加えた電子メールアドレス文字列データ ブロックのバイト数。
E メール	string	ユーザの電子メールアドレス。
IPv6 アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、ユーザのログインが検出されたホストからの IPv6 アドレス。
ログイン タイプ	uint8	検出されたユーザ ログインのタイプ。
文字列ブロック タイプ	uint32	レポート基準値を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	レポート基準文字列データ ブロックのバイト数(ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびレポート基準フィールドのバイト数を含む)。
レポート基準	string	ログインをレポートする Active Directory サーバの名前。

ユーザ ログイン情報データ ブロック 6.0.x

ユーザ ログイン情報データ ブロックは、ユーザ情報更新メッセージで使用され、検出されたユーザのログイン情報の変更を伝えます。詳細については、[ユーザ アカウント更新メッセージ データ ブロック \(4-187 ページ\)](#) を参照してください。

ユーザ ログイン情報データ ブロックは、バージョン 6.0.x の場合は、ブロック タイプ 159 です。これには新しい ISE 統合エンドポイント プロファイル、セキュリティ インテリジェンスのフィールドがあります。

ユーザ ログイン情報データ ブロックは、バージョン 4.7 ~ 4.10.x の場合はブロック タイプ 73、バージョン 5.0 ~ 5.0.2 の場合はシリーズ 1 グループのブロックのブロック タイプ 121、バージョン 5.1+ の場合はシリーズ 1 グループのブロックのデータ タイプ 127 です。詳細については、[ユーザ ログイン情報データ ブロック 5.1 ~ 5.4.x \(B-109 ページ\)](#) を参照してください。

次の図は、ユーザ ログイン情報データブロックの形式を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ユーザ ログイン情報ブロック タイプ (159)																															
	ユーザ ログイン情報ブロック長																															
	タイムスタンプ																															
	IPv4 アドレス																															
ユーザ名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ名...																															
ドメイン	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ドメイン...																															
	ユーザ ID																															
	レルム ID																															
	エンドポイントプロファイル ID																															
	セキュリティグループ ID																															
	アプリケーション ID																															
	プロトコル																															
E メール	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	電子メール...																															
	IPv6 アドレス																															
	IPv6 アドレス (続き)																															
	IPv6 アドレス (続き)																															
	IPv6 アドレス (続き)																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ロケーション IPv6 アドレス																																
ロケーション IPv6 アドレス (続き)																																
ロケーション IPv6 アドレス (続き)																																
ロケーション IPv6 アドレス (続き)																																
レポート基準	ログインタイプ								承認タイプ								文字列ブロックタイプ(0)															
	文字列ブロックタイプ(0) (続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																レポート基準...															

次の表は、ユーザログイン情報データブロックのコンポーネントについての説明です。

表 B-22 ユーザログイン情報データブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ユーザログイン情報ブロックタイプ	uint32	ユーザログイン情報データブロックを開始します。この値は、バージョン 6.0.x の場合は 159 です。
ユーザログイン情報ブロック長	uint32	ユーザログイン情報データブロックのバイトの合計数 (ユーザログイン情報ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くユーザログイン情報データのバイト数を含む)。
タイムスタンプ	uint32	イベントのタイムスタンプ。
IPv4 アドレス	uint32	このフィールドは予約済みですが、設定されておりません。IPv4 アドレスは IPv6 アドレスフィールドに保存されます。詳細については、 IP アドレス (1-6 ページ) を参照してください。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザのユーザ名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ名文字列データブロックのバイト数 (ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびユーザ名のバイト数を含む)。
ユーザ名	string	ユーザのユーザ名。
文字列ブロックタイプ	uint32	ドメインを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ブロックタイプフィールドと長さフィールドの 8 バイトにドメインのバイト数を加えたユーザ名文字列データブロックのバイト数。
ドメイン	string	ユーザがログインしているドメイン。
ユーザ ID	uint32	ユーザの ID 番号。

表 B-22 ユーザログイン情報データブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
レルム ID	uint32	アイデンティティレルムに対応する整数 ID。
エンドポイントプロファイル ID	uint32	接続エンドポイントが使用するデバイスのタイプの ID 番号。この番号は DC ごとに固有であり、メタデータで解決します。
セキュリティグループ ID	uint32	ネットワークトラフィックグループの ID 番号。
アプリケーション ID	uint32	ログイン情報の取得元の、接続に使用されたアプリケーションプロトコルのアプリケーション ID。
プロトコル	uint32	ユーザの検出やレポートに使用するプロトコル。値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 165:FTP • 426:SIP • 547:AOL Instant Messenger • 683:IMAP • 710:LDAP • 767:NTP • 773:Oracle データベース • 788:POP3 • 1755:MDNS
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザの電子メールアドレスを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ブロックタイプフィールドと長さフィールドの 8 バイトに電子メールアドレスのバイト数を加えた電子メールアドレス文字列データブロックのバイト数。
E メール	string	ユーザの電子メールアドレス。
IPv6 アドレス	uint8[16]	IP アドレスオクテットの、ユーザのログインが検出されたホストからの IPv6 アドレス。
ロケーション IPv6 アドレス	uint8[16]	ユーザがログインした最新の IP アドレス。IPv4 または IPv6 のどちらかのアドレスになります。
ログインタイプ	uint8	検出されたユーザログインのタイプ。
認証タイプ	uint8	ユーザが使用する認証のタイプ。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:認証は不要 • 1:パッシブ認証、AD エージェント、または ISE セッション • 2:キャプティブポータルの正常な認証 • 3:キャプティブポータルのゲスト認証 • 4:キャプティブポータルの失敗認証
文字列ブロックタイプ	uint32	レポート基準値を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。

表 B-22 ユーザログイン情報データブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	レポート基準文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびレポート基準フィールドのバイト数を含む)。
レポート基準	string	ログインをレポートする Active Directory サーバの名前。

ユーザ情報データブロック 5.x

ユーザ情報データブロックはユーザ変更メッセージで使用され、検出、削除、またはドロップされたユーザの情報を伝えます。詳細については、[ユーザ変更メッセージ\(4-62 ページ\)](#)を参照してください。

ユーザ情報データブロックのブロックタイプは、4.7 ~ 4.10.x のシリーズ 1 ブロックグループのブロックタイプ 75 と、5.x のシリーズ 1 ブロックグループのブロックタイプ 120 です。構成は、ブロックタイプ 75 と 120 で同じです。

次の図は、ユーザ情報データブロックの形式を示しています。

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1
ビット	ユーザ情報ブロック タイプ (75 120)																															
	ユーザ情報ブロック長																															
	ユーザ ID																															
ユーザ名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ名...																															
	プロトコル																															
名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	名...																															
姓	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	姓...																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
E メール	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	電子メール...																															
部署名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	部署名...																															
電話	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	電話...																															

次の表は、ユーザ情報データ ブロックのコンポーネントについての説明です。

表 B-23 ユーザ情報データ ブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ユーザ情報ブロックタイプ	uint32	ユーザ情報データ ブロックを開始します。この値は、バージョン 4.7 ~ 4.10.x の場合は 75、5.0+ の場合は 120 です。
ユーザ情報ブロック長	uint32	ユーザ情報データ ブロックのバイトの合計数(ユーザログイン情報ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くユーザ情報データのバイト数を含む)。
ユーザ ID	uint32	ユーザの ID 番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザのユーザ名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ名文字列データ ブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびユーザ名のバイト数を含む)。
ユーザ名	string	ユーザのユーザ名。
プロトコル	uint32	ユーザ情報を含むパケットのプロトコル。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザの名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	名文字列データ ブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、および名のバイト数を含む)。
名	string	ユーザの名前。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザの姓を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。

表 B-23 ユーザ情報データブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	姓文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の8バイト、および姓のバイト数を含む)。
姓	string	ユーザの姓。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザの電子メールアドレスを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	ブロックタイプフィールドと長さフィールドの8バイトに電子メールアドレスのバイト数を加えた電子メールアドレス文字列データブロックのバイト数。
Eメール	string	ユーザの電子メールアドレス。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザの部署を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	部署文字列データブロックのバイト数(ブロックタイプと長さのフィールド用の8バイト、および部署のバイト数を含む)。
部署名	string	ユーザの部署名。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザの電話番号を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に0です。
文字列ブロック長	uint32	ブロックタイプフィールドと長さフィールドの8バイトに電話番号のバイト数を加えた電話番号文字列データブロックのバイト数。
電話	string	ユーザの電話番号。

レガシーホストプロファイルデータブロック

詳細については、次の各項を参照してください。

- [ホストプロファイルデータブロック 5.0 ~ 5.0.2\(B-117 ページ\)](#)

ホストプロファイルデータブロック 5.0 ~ 5.0.2

次の図は、ホストプロファイルデータブロックのバージョン 5.0 ~ 5.0.2 の形式を示しています。さらに、ホストプロファイルデータブロックには、ホスト重要度値が含まれていませんが、VLAN のプレゼンスインジケータは含まれています。さらに、ホストプロファイルデータブロックは、ホストの NetBIOS 名を伝えることができます。ホストプロファイルデータブロックのブロックタイプは 91 です。



(注)

次の図のブロックタイプフィールドの横のアスタリスク(*)は、メッセージにシリーズ1データブロックのゼロ以上のインスタンスが含まれる可能性があることを示しています。

レガシーディスカバリデータ構造

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ホストプロファイルブロックタイプ(91)																															
	ホストプロファイルブロック長																															
	IPアドレス																															
サーバフィンガープリント	ホップ								プライマリ/セカンダリ								汎用リストブロックタイプ(31)															
	汎用リストブロックタイプ(続き)																汎用リストブロック長															
	汎用リストブロック長(続き)																サーバフィンガープリントデータブロック*															
クライアントフィンガープリント	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	クライアントフィンガープリントデータブロック*																															
SMBフィンガープリント	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	SMBフィンガープリントデータブロック*																															
DHCPフィンガープリント	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	DHCPフィンガープリントデータブロック*																															
TCPサーバブロック*	リストブロックタイプ(11)																TCPサーバのリスト															
	リストブロック長																															
	サーバブロックタイプ(36)																															
TCPサーバブロック*	サーバブロック長																															
	TCPサーバデータ...																															

バイト	0								1								2								3								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	リストブロック タイプ(11)																															UDP サーバ のリスト	
	リストブロック長																																
UDP サーバ ブロック*	サーバブロック タイプ(36)*																																
	サーバブロック長																																
	UDP サーバデータ...																																
	リストブロック タイプ(11)																															ネットワー クプロトコ ルのリスト	
	リストブロック長																																
ネットワーク プロトコ ルブロック*	プロトコルブロック タイプ(4)*																																
	プロトコルブロック長																																
	ネットワーク プロトコルデータ...																																
	リストブロック タイプ(11)																															トランス ポートプロ トコルのリ スト	
	リストブロック長																																
トランス ポートプロ トコルブ ロック*	プロトコルブロック タイプ(4)*																																
	プロトコルブロック長																																
	トランスポート プロトコルデータ...																																
	リストブロック タイプ(11)																															MAC アドレ スのリスト	
	リストブロック長																																
MAC アドレ スブロック*	MAC アドレス ブロック タイプ(95)*																																
	MAC アドレスブロック長																																
	MAC アドレスデータ...																																
	最終検出時のホスト																																
	ホストタイプ																																
	VLAN の有無								VLAN ID								VLAN タイプ																

レガシーディスカバリデータ構造

バイト	0								1								2								3															
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31								
	VLAN 優先順位								汎用リストブロック タイプ(31)																								クライアントアプリケーションのリスト							
	汎用リストブロック タイプ (続き)								汎用リスト ブロック長																															
クライアントアプリケーションデータ	汎用リストブロック長(続き)								クライアントアプリケーションブロック タイプ(112)*																															
									クライアントアプリケーションブロック タイプ (29)*(続き)								クライアントアプリケーションブロック長																							
									クライアントアプリケーションブロック長(続き)								クライアントアプリケーションデータ...																							
NetBIOS 名	文字列ブロック タイプ(0)																																							
	文字列ブロック長																																							
	NetBIOS 文字列データ...																																							

次の表は、バージョン 4.9 ~ 5.0.2 により返されるホストプロファイルデータブロックのフィールドについての説明です。

表 B-24 ホストプロファイルデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ホストプロファイルブロックタイプ	uint32	ホストプロファイルデータブロック 4.9 ~ 5.0.2 を開始します。このデータブロックのブロックタイプは 91 です。
ホストプロファイルブロック長	uint32	ホストプロファイルデータブロックのバイト数(ホストプロファイルブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くホストプロファイルデータに含まれるバイト数を含む)。
IPアドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、プロファイルに記述されているホストの IP アドレス。
ホップ	uint8	ホストからのデバイスまでのホップ数。
プライマリ/セカンダリ	uint8	ホストがそれを検出したデバイスのプライマリまたはセカンダリのどちらのネットワークにあるかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 0:ホストはプライマリ ネットワークにあります。 1:ホストはセカンダリ ネットワークにあります。

表 B-24 ホストプロファイルデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
汎用リストブロックタイプ	uint32	サーバフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(サーバフィンガープリント)データブロック*	変数	サーバフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 (B-125 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(クライアントフィンガープリント)データブロック*	変数	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 (B-125 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	SMB フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(SMB フィンガープリント)データブロック*	変数	SMB フィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 (B-125 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	DHCP フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。

表 B-24 ホストプロファイルデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(DHCPフィンガープリント)データブロック*	変数	DHCPフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 (B-125 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	TCPサーバデータを伝えるサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのサーバデータブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のサーバデータブロックが続きます。
サーバブロックタイプ	uint32	サーバデータブロックを開始します。この値は常に 89 です。
サーバブロック長	uint32	サーバデータブロックのバイト数(サーバブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く TCPサーバデータのバイト数を含む)。
TCPサーバデータ	変数	TCPサーバを記述するデータフィールド(旧バージョンの製品で説明)。
リストブロックタイプ	uint32	UDPサーバデータを伝えるサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのサーバデータブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のサーバデータブロックが続きます。
サーバブロックタイプ	uint32	UDPサーバを記述するサーバデータブロックを開始します。この値は常に 89 です。
サーバブロック長	uint32	サーバデータブロックのバイト数(サーバブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く UDPサーバデータのバイト数を含む)。
UDPサーバデータ	変数	UDPサーバを記述するデータフィールド(旧バージョンの製品で説明)。
リストブロックタイプ	uint32	ネットワークプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。

表 B-24 ホストプロファイルデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のプロトコルデータブロックが続きます。
プロトコルブロックタイプ	uint32	ネットワークプロトコルを記述するプロトコルデータブロックを開始します。この値は常に 4 です。
プロトコルブロック長	uint32	プロトコルデータブロックのバイト数(プロトコルブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くプロトコルデータのバイト数を含む)。
ネットワークプロトコルデータ	uint16	ネットワークプロトコル数が含まれるデータフィールド(プロトコルデータブロック (4-79 ページ) で説明)。
リストブロックタイプ	uint32	トランスポートプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のトランスポートプロトコルデータブロックが続きます。
プロトコルブロックタイプ	uint32	トランスポートプロトコルを記述するプロトコルデータブロックを開始します。この値は常に 4 です。
プロトコルブロック長	uint32	プロトコルデータブロックのバイト数(プロトコルブロックタイプと長さ用の 8 バイト、およびそれに続くプロトコルデータのバイト数を含む)。
トランスポートプロトコルデータ	変数	トランスポートプロトコル数が含まれるデータフィールド(プロトコルデータブロック (4-79 ページ) で説明)。
リストブロックタイプ	uint32	MAC アドレスデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リストのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべての MAC アドレスデータブロックを含む)。
ホスト MAC アドレスブロックタイプ	uint32	ホスト MAC アドレスデータブロックを開始します。この値は常に 95 です。
ホスト MAC アドレスブロック長	uint32	ホスト MAC アドレスデータブロックのバイト数(ホスト MAC アドレスブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くホスト MAC アドレスデータのバイト数を含む)。
ホスト MAC アドレスデータ	変数	ホスト MAC アドレスデータフィールド(ホスト MAC アドレス 4.9+(4-120 ページ) で説明)。
最終検出時のホスト	uint32	システムがホストのアクティビティを検出した最終時刻を表す UNIX タイムスタンプ。

表 B-24 ホストプロファイルデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ホストタイプ	uint32	ホストのタイプを示します。表示される可能性がある値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 0:ホスト 1:ルータ 2:ブリッジ 3:NAT デバイス 4:LB(ロード バランサ)
VLAN の有無	uint8	VLAN が存在するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 0:はい 1:いいえ
VLAN ID	uint16	ホストがメンバーである VLAN を示す VLAN ID 番号。
VLAN タイプ	uint8	VLAN タグにカプセル化されたパケットのタイプ。
VLAN 優先順位	uint8	VLAN タグに含まれる優先順位値。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションデータを伝えるクライアントアプリケーションデータブロックで構成される汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのクライアントアプリケーションデータブロックを含む)。
クライアントアプリケーションブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションブロックを開始します。この値は常に 5 です。
クライアントアプリケーションブロック長	uint32	クライアントアプリケーションブロックのバイト数(クライアントアプリケーションブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くクライアントアプリケーションデータのバイト数を含む)。
クライアントアプリケーションデータ	変数	クライアントアプリケーションを記述するクライアントアプリケーションデータフィールド(5.0+ のホストクライアントアプリケーションデータブロック(4-162 ページ)で説明)。
文字列ブロックタイプ	uint32	NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は文字列データを示す 0 に設定されます。
文字列ブロック長	uint32	NetBIOS 名データブロックのバイト数を示します(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名のバイト数を含む)。
NetBIOS 文字列データ	変数	ホストプロファイルに記述されているホストの NetBIOS 名が含まれます。

レガシー OS フィンガープリントデータブロック

詳細については、次の各項を参照してください。

- オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.0 ~ 5.0.2 (B-125 ページ)

オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.0 ~ 5.0.2

オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックのブロックタイプは 87 です。このブロックには、フィンガープリント Universally Unique Identifier (UUID) の他、フィンガープリントタイプ、フィンガープリント送信元タイプ、フィンガープリント送信元 ID を格納します。次の図は、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックのバージョン 5.0 ~ 5.0.2 の形式を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ (87)																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
OS フィンガープリント UUID	フィンガープリント UUID																															
	フィンガープリント UUID (続き)																															
	フィンガープリント UUID (続き)																															
	フィンガープリント UUID (続き)																															
	フィンガープリントタイプ																															
	フィンガープリントソースタイプ																															
	フィンガープリントソース ID																															
	フィンガープリントの最終確認値																															
	TTL 差異																															

次の表は、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックのフィールドについての説明です。

表 B-25 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックタイプ	uint32	オペレーティングシステムデータブロックを開始します。この値は常に 87 です。
オペレーティングシステムデータブロック長	uint32	オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックのバイト数。この値は常に 41 です。データブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、フィンガープリント UUID 値用の 16 バイト、フィンガープリントのタイプ用の 4 バイト、フィンガープリントソースのタイプ用の 4 バイト、フィンガープリントソース ID 用の 4 バイト、最終確認値用の 4 バイト、および TTL 差異用の 1 バイトです。
フィンガープリント UUID	uint8[16]	オペレーティングシステムの固有識別子として機能するフィンガープリント ID 番号(オクテット)。フィンガープリント UUID は、脆弱性データベース (VDB) 内のオペレーティングシステム名、ベンダー、およびバージョンにマップされます。
フィンガープリントタイプ	uint32	フィンガープリントのタイプを示します。
フィンガープリントソースタイプ	uint32	オペレーティングシステムフィンガープリントを提供した送信元のタイプ(ユーザまたはスキャナなど)を示します。
フィンガープリントソース ID	uint32	オペレーティングシステムフィンガープリントを提供した送信元の ID を示します。
最後の確認日時	uint32	トラフィック内でフィンガープリントが最後に検出された時を示します。
TTL 差異	uint8	フィンガープリントの TTL 値と、ホストのフィンガープリント取得に使用したパケットに表示される TTL 値との間の差異を示します。

レガシー接続データ構造

詳細については、次の項を参照してください。

- [接続統計データ ブロック 5.0 ~ 5.0.2 \(B-127 ページ\)](#)
- [接続統計データ ブロック 5.1 \(B-132 ページ\)](#)
- [接続統計データ ブロック 5.2.x \(B-138 ページ\)](#)
- [接続チャンク データ ブロック 5.0 ~ 5.1 \(B-145 ページ\)](#)
- [接続チャンク データ ブロック 5.1.1 ~ 6.0.x \(B-146 ページ\)](#)
- [接続統計データ ブロック 5.1.1.x \(B-148 ページ\)](#)
- [接続統計データ ブロック 5.3 \(B-154 ページ\)](#)
- [接続統計データ ブロック 5.3.1 \(B-161 ページ\)](#)
- [接続統計データ ブロック 5.4 \(B-168 ページ\)](#)
- [接続統計データ ブロック 5.4.1 \(B-183 ページ\)](#)
- [接続統計データ ブロック 6.0.x \(B-197 ページ\)](#)

接続統計データ ブロック 5.0 ~ 5.0.2

接続統計データ ブロックは、接続データ メッセージで使用されます。接続統計データ ブロックバージョン 5.0 ~ 5.0.2 のブロック タイプは 115 です。

接続統計データ メッセージの詳細については、[接続統計データ メッセージ \(4-54 ページ\)](#) を参照してください。

次の図は、接続統計データ ブロック 5.0 ~ 5.0.2 の形式を示しています。

::

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	接続データ ブロック タイプ (115)																															
	接続データ ブロック長																															
	デバイス ID																															
	入力ゾーン																															
	入力ゾーン (続き)																															
	入力ゾーン (続き)																															
	入力ゾーン (続き)																															
	出力ゾーン																															
	出力ゾーン (続き)																															

バイト ビット	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	出力ゾーン(続き)																															
	出力ゾーン(続き)																															
	入力インターフェイス																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	ポリシー リビジョン																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ルール ID																															
	ルール アクション																															
	イニシエータ ポート																レスポнда ポート															

バイト ビット	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	TCP フラグ																プロトコル								NetFlow ソース							
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																								最初のパケットの時刻							
	最初のパケットのタイムスタンプ(続き)																								最終パケットの時刻							
	最終パケットのタイムスタンプ(続き)																								送信パケット数							
	送信パケット数(続き)																															
	送信パケット数(続き)																								受信パケット数							
	受信パケット数(続き)																															
	受信パケット数(続き)																								送信バイト数							
	送信バイト数(続き)																															
	受信パケット数(続き)																								受信バイト数							
	受信バイト数(続き)																															
	受信バイト数(続き)																								ユーザ ID							
	ユーザ ID(続き)																															
	アプリケーションプロトコル ID(続き)																								アプリケーションプロトコル ID							
	アプリケーションプロトコル ID(続き)																															
	URL カテゴリ(続き)																								URL カテゴリ							
	URL カテゴリ(続き)																															
	URL レピュテーション(続き)																								URL レピュテーション							
	URL レピュテーション(続き)																															
	クライアントアプリケーション ID(続き)																								クライアントアプリケーション ID							
	クライアントアプリケーション ID(続き)																															
	Web アプリケーション ID(続き)																								Web アプリケーション ID							
	Web アプリケーション ID(続き)																															
	文字列ブロックタイプ(0)																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
クライアント アプリケーション URL	文字列ブロック タイプ (続き)																								文字列ブロッ ク長							
	文字列ブロック長 (続き)																								クライアントア プリケーション URL...							
NetBIOS 名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名...																															
クライアント アプリケーションバ ージョン	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	クライアントアプリケーションバージョン...																															

次の表は、接続統計データ ブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールドについての説明です。

表 B-26 接続統計データ ブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
接続統計データ ブロックタイプ	uint32	接続統計データ ブロック 5.0 ~ 5.0.2 を開始します。値は常に 115 です。
接続統計データ ブロック長	uint32	接続統計データ ブロックのバイト数(接続統計ブロックタイプ と長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続データ のバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	接続イベントを検出したデバイス。
入力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの入力セキュリティゾーン。
出力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの出力セキュリティゾーン。
入力インター フェイス	uint8[16]	着信トラフィックのインターフェイス。
出力インター フェイス	uint8[16]	発信トラフィックのインターフェイス。
イニシエータ IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、接続イベントを記述するセッション を開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、開始ホストに応答したホストの IP ア ドレス。
ポリシー リビ ジョン	uint8[16]	トリガーされた関連イベントに関連付けられているルールのリ ビジョン番号(該当する場合)。

表 B-26 接続統計データブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ルール ID	uint32	イベントをトリガーしたルールの内部 ID(該当する場合)。
ルールアクション	uint32	そのルールに対してユーザインターフェイスで選択されたアクション(allow、block など)。
イニシエータポート	uint16	開始ホストにより使用されるポート。
レスポンスポート	uint16	応答ホストにより使用されるポート。
TCP フラグ	uint16	接続イベントのすべての TCP フラグを示します。
プロトコル	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。
NetFlow ソース	uint8[16]	接続のデータをエクスポートした NetFlow 対応デバイスの IP アドレス
最初のパケットタイムスタンプ	uint32	セッションで最初のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
最終パケットタイムスタンプ	uint32	セッションで最後のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
送信パケット数	uint64	開始ホストからの送信パケット数。
受信パケット数	uint64	応答ホストが送信したパケット数。
送信バイト数	uint64	開始ホストからの送信バイト数。
受信バイト数	uint64	応答ホストから送信バイト数。
ユーザ ID	uint32	トラフィックを生成したホストの最終ログインユーザの内部 ID 番号。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルのアプリケーション ID。
URL カテゴリ	uint32	URL カテゴリの内部 ID 番号。
URL レピュテーション	uint32	URL レピュテーションの内部 ID 番号。
クライアントアプリケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびクライアントアプリケーション URL 文字列のバイト数を含む)。

表 B-26 接続統計データ ブロック 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
クライアントアプリケーション URL	string	クライアント アプリケーションがアクセスする URL(該当する場合) (/files/index.html など)。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データ ブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアント アプリケーションバージョンの文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアント アプリケーションバージョンの文字列データ ブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
クライアントアプリケーションバージョン	string	クライアント アプリケーションバージョン。

接続統計データ ブロック 5.1

接続統計データ ブロックは、接続データ メッセージで使用されます。バージョン 5.0.2 と 5.1 の間に加えられた接続データ ブロックの変更には、5.1 で導入された設定パラメータ(ルールアクション理由、モニタールール、セキュリティ インテリジェンス送信元/宛先、セキュリティ インテリジェンス レイヤ)が指定される新規フィールドの追加が含まれます。接続統計データ ブロックバージョン 5.1 のブロックタイプは 126 です。

接続統計データ メッセージの詳細については、[接続統計データ メッセージ\(4-54 ページ\)](#)を参照してください。

次の図は、接続統計データ ブロック 5.1 の形式を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
接続データ ブロック タイプ(126)																																
接続データ ブロック長																																
デバイス ID																																
入力ゾーン																																
入力ゾーン(続き)																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	入力ゾーン(続き)																															
	入力ゾーン(続き)																															
	出力ゾーン																															
	出力ゾーン(続き)																															
	出力ゾーン(続き)																															
	出力ゾーン(続き)																															
	入力インターフェイス																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	ポリシー リビジョン																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ルール ID																															
	ルール アクション																ルールの理由															
	イニシエータ ポート																レスポнда ポート															
	TCP フラグ																プロトコル								NetFlow ソース							
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																								最初のパケットの時刻							
	最初のパケットのタイムスタンプ(続き)																								最終パケットの時刻							
	最終パケットのタイムスタンプ(続き)																								イニシエータ送信パケット数							
	イニシエータ送信パケット数(続き)																															
	イニシエータ送信パケット数(続き)																								レスポнда送信パケット数							
	レスポнда送信パケット数(続き)																															
	レスポнда送信パケット数(続き)																								イニシエータ送信バイト数							
	イニシエータ送信バイト数(続き)																															
	イニシエータ送信バイト数(続き)																								レスポнда送信バイト数							
	レスポнда送信バイト数(続き)																															
	レスポнда送信バイト数(続き)																								ユーザ ID							
	ユーザ ID(続き)																															
	アプリケーションプロトコル ID(続き)																								アプリケーションプロトコル ID							
	アプリケーションプロトコル ID(続き)																															
	URL カテゴリ(続き)																								URL カテゴリ							
	URL カテゴリ(続き)																															
	URL レピュテーション(続き)																								URL レピュテーション							

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	URL レピュテーション(続き)																クライアントアプリケーション ID															
	クライアントアプリケーション ID(続き)																Web アプリケーション ID															
	Web アプリケーション ID(続き)																文字列ブロックタイプ(0)															
クライアントアプリケーション URL	文字列ブロックタイプ(続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																クライアントアプリケーション URL...															
NetBIOS 名	文字列ブロックタイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名...																															
クライアントアプリケーションバージョン	文字列ブロックタイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	クライアントアプリケーションバージョン...																															
	モニタ ルール 1																															
	モニタ ルール 2																															
	モニタ ルール 3																															
	モニタ ルール 4																															
	モニタ ルール 5																															
	モニタ ルール 6																															
	モニタ ルール 7																															
	モニタ ルール 8																															
	秒開始送信元/宛先																秒開始レピュテーション層															

次の表は、接続統計データ ブロック 5.1 のフィールドについての説明です。

表 B-27 接続統計データブロック 5.1 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
接続統計データブロックタイプ	uint32	接続統計データブロック 5.1 を開始します。値は常に 126 です。
接続統計データブロック長	uint32	接続統計データブロックのバイト数(接続統計ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続データのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	接続イベントを検出したデバイス。
入力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの入力セキュリティゾーン。
出力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの出力セキュリティゾーン。
入力インターフェイス	uint8[16]	着信トラフィックのインターフェイス。
出力インターフェイス	uint8[16]	発信トラフィックのインターフェイス。
イニシエータ IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、接続イベントを記述するセッションを開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、開始ホストに回答したホストの IP アドレス。
ポリシー リビジョン	uint8[16]	トリガーされた関連イベントに関連付けられているルールのリビジョン番号(該当する場合)。
ルール ID	uint32	イベントをトリガーしたルールの内部 ID(該当する場合)。
ルールアクション	uint16	そのルールに対してユーザ インターフェイスで選択されたアクション(allow、block など)。
ルールの理由	uint16	イベントをトリガーしたルールの理由。
イニシエータポート	uint16	開始ホストにより使用されるポート。
レスポндаポート	uint16	応答ホストにより使用されるポート。
TCP フラグ	uint16	接続イベントのすべての TCP フラグを示します。
プロトコル	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。
NetFlow ソース	uint8[16]	接続のデータをエクスポートした NetFlow 対応デバイスの IP アドレス。
最初のパケットタイムスタンプ	uint32	セッションで最初のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
最終パケットタイムスタンプ	uint32	セッションで最後のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
イニシエータ送信パケット数	uint64	開始ホストからの送信パケット数。
レスポнда送信パケット数	uint64	応答ホストが送信したパケット数。

表 B-27 接続統計データブロック 5.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
イニシエータ送信バイト数	uint64	開始ホストからの送信バイト数。
レスポンス送信バイト数	uint64	応答ホストから送信バイト数。
ユーザ ID	uint32	トラフィックを生成したホストの最終ログイン ユーザの内部 ID 番号。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーション プロトコルのアプリケーション ID。
URL カテゴリ	uint32	URL カテゴリの内部 ID 番号。
URLレピュテーション	uint32	URL レピュテーションの内部 ID 番号。
クライアントアプリケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびクライアントアプリケーション URL 文字列のバイト数を含む)。
クライアントアプリケーション URL	string	クライアントアプリケーションがアクセスする URL(該当する場合) (/files/index.html など)。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
クライアントアプリケーションバージョン	string	クライアントアプリケーションバージョン。
モニターール 1	uint32	接続イベントに関連付けられている 1 番目のモニターールの ID。

表 B-27 接続統計データ ブロック 5.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
モニタ ルール 2	uint32	接続イベントに関連付けられている 2 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 3	uint32	接続イベントに関連付けられている 3 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 4	uint32	接続イベントに関連付けられている 4 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 5	uint32	接続イベントに関連付けられている 5 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 6	uint32	接続イベントに関連付けられている 6 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 7	uint32	接続イベントに関連付けられている 7 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 8	uint32	接続イベントに関連付けられている 8 番目のモニタ ルールの ID。
セキュリティ インテリジェンス 送信元/宛先	uint8	送信元または宛先の IP アドレスを IP ブラックリストに突き合わせるかどうか。
セキュリティ インテリジェンス 層	uint8	IP ブラックリストに一致した IP 層。

接続統計データ ブロック 5.2.x

接続統計データ ブロックは、接続データ メッセージで使用されます。バージョン 5.1.1 と 5.2 の間に加えられた接続データ ブロックの変更には、地理位置情報をサポートするための新規フィールドの追加が含まれます。バージョン 5.2.x の接続統計データ ブロックは、シリーズ 1 グループのブロックの、ブロック タイプ 144 です。これにより、ブロック タイプ 137(接続統計データ ブロック 5.1.1.x(B-148 ページ))は廃止されます。

接続統計データ メッセージの詳細については、[接続統計データ メッセージ\(4-54 ページ\)](#)を参照してください。

次の図は、接続統計データ ブロック 5.2.x の形式を示しています。



バイト	0								1								2								3								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ビット																																	
	入力ゾーン																																
	入力ゾーン(続き)																																
	入力ゾーン(続き)																																
	入力ゾーン(続き)																																
	出力ゾーン																																
	出力ゾーン(続き)																																
	出力ゾーン(続き)																																
	出力ゾーン(続き)																																
	入力インターフェイス																																
	入力インターフェイス(続き)																																
	入力インターフェイス(続き)																																
	入力インターフェイス(続き)																																
	出力インターフェイス																																
	出力インターフェイス(続き)																																
	出力インターフェイス(続き)																																
	出力インターフェイス(続き)																																
	イニシエータ IP アドレス																																
	イニシエータ IP アドレス(続き)																																
	イニシエータ IP アドレス(続き)																																
	イニシエータ IP アドレス(続き)																																
	レスポнда IP アドレス																																
	レスポнда IP アドレス(続き)																																
	レスポнда IP アドレス(続き)																																
	レスポнда IP アドレス(続き)																																
	ポリシー リビジョン																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ルール ID																															
	ルールアクション																ルールの理由															
	イニシエータ ポート																レスポнда ポート															
	TCP フラグ																プロトコル								NetFlow ソース							
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																								インスタンス ID							
	インスタンス ID (続き)								接続数カウンタ																最初のパケットの時刻							
	最初のパケットのタイムスタンプ(続き)																								最終パケットの時刻							
	最終パケットのタイムスタンプ(続き)																								イニシエータ送信パケット数							
	イニシエータ送信パケット数(続き)																															
	イニシエータ送信パケット数(続き)																								レスポнда Tx パケット							
	レスポнда送信パケット数(続き)																															
	レスポнда送信パケット数(続き)																								イニシエータ送信バイト数							
	イニシエータ送信バイト数(続き)																															
	イニシエータ送信バイト数(続き)																								レスポнда Tx バイト							
	レスポнда送信バイト数(続き)																															
	レスポнда送信バイト数(続き)																								ユーザ ID							

バイト	0								1							2							3								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
ビット																															
	ユーザ ID (続き)																							アプリケーション プロトコル ID							
	アプリケーションプロトコル ID (続き)																							URL カテゴリ							
	URL カテゴリ (続き)																							URLレピュテー ション							
	URL レピュテーション (続き)																							クライアントア プリケーション ID							
	クライアントアプリケーション ID (続き)																							Web アプリケー ション ID							
クライアント URL	Web アプリケーション ID (続き)																							文字列ブロック タイプ (0)							
	文字列ブロック タイプ (続き)																							文字列ブロッ ク長							
	文字列ブロック長 (続き)																							クライアントア プリケーション URL...							
NetBIOS 名	文字列ブロック タイプ (0)																														
	文字列ブロック長																														
	NetBIOS 名...																														
クライアント アプリケー ションバー ジョン	文字列ブロック タイプ (0)																														
	文字列ブロック長																														
	クライアントアプリケーションバージョン...																														
	モニターール 1																														
	モニターール 2																														
	モニターール 3																														
	モニターール 4																														
	モニターール 5																														
	モニターール 6																														
	モニターール 7																														

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
モニタ ルール 8																																
秒開始送信元/ 宛先								秒イニシエー タ層								ファイルイベント カウント																
侵入イベント カウント																イニシエータの国																
レスポндаの国																																

次の表は、接続統計データ ブロック 5.2.x のフィールドについての説明です。

表 B-28 接続統計データ ブロック 5.2.x のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
接続統計データ ブロック タイプ	uint32	接続統計データ ブロック 5.2.x を開始します。値は常に 144 です。
接続統計データ ブロック 長	uint32	接続統計データ ブロックのバイト数(接続統計ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続 く接続データのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	接続イベントを検出したデバイス。
入力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの入力セキュリ ティゾーン。
出力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの出力セキュリ ティゾーン。
入力インターフェイス	uint8[16]	着信トラフィックのインターフェイス。
出力インターフェイス	uint8[16]	発信トラフィックのインターフェイス。
イニシエータ IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、接続イベントを記述するセッ ションを開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、開始ホストに回答したホストの IP アドレス。
ポリシー リビジョン	uint8[16]	トリガーされた関連イベントに関連付けられているルー ルのリビジョン番号(該当する場合)。
ルール ID	uint32	イベントをトリガーしたルールの内部 ID(該当する場合)。
ルール アクション	uint16	そのルールに対してユーザ インターフェイスで選択され たアクション(allow、block など)。
ルールの理由	uint16	イベントをトリガーしたルールの理由。
イニシエータ ポート	uint16	開始ホストにより使用されるポート。
レスポнда ポート	uint16	応答ホストにより使用されるポート。
TCP フラグ	uint16	接続イベントのすべての TCP フラグを示します。
プロトコル	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。

表 B-28 接続統計データブロック 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
NetFlow ソース	uint8[16]	接続のデータをエクスポートした NetFlow 対応デバイスの IP アドレス。
インスタンス ID	uint16	イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
最初のパケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最初のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
最終パケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最後のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
イニシエータ送信パケット数	uint64	開始ホストからの送信パケット数。
レスポнда送信パケット数	uint64	応答ホストが送信したパケット数。
イニシエータ送信バイト数	uint64	開始ホストからの送信バイト数。
レスポнда送信バイト数	uint64	応答ホストから送信バイト数。
ユーザ ID	uint32	トラフィックを生成したホストの最終ログインユーザの内部 ID 番号。
アプリケーション プロトコル ID	uint32	アプリケーション プロトコルのアプリケーション ID。
URL Category	uint32	URL カテゴリの内部 ID 番号。
URLレピュテーション	uint32	URL レピュテーションの内部 ID 番号。
クライアント アプリケーション ID	uint32	専用クライアント アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロック タイプ	uint32	クライアント アプリケーション URL の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアント アプリケーション URL の文字列データブロックのバイト数(文字列ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびクライアント アプリケーション URL 文字列のバイト数を含む)。
クライアント アプリケーション URL	string	クライアント アプリケーションがアクセスする URL(該当する場合) (/files/index.html など)。
文字列ブロック タイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロック タイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。

表 B-28 接続統計データブロック 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロック タイプ	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
クライアントアプリケーションバージョン	string	クライアントアプリケーションバージョン。
モニタ ルール 1	uint32	接続イベントに関連付けられている 1 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 2	uint32	接続イベントに関連付けられている 2 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 3	uint32	接続イベントに関連付けられている 3 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 4	uint32	接続イベントに関連付けられている 4 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 5	uint32	接続イベントに関連付けられている 5 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 6	uint32	接続イベントに関連付けられている 6 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 7	uint32	接続イベントに関連付けられている 7 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 8	uint32	接続イベントに関連付けられている 8 番目のモニタ ルールの ID。
セキュリティ インテリジェンス送信元/宛先	uint8	送信元または宛先の IP アドレスを IP ブラックリストに突き合わせるかどうか。
セキュリティ インテリジェンス層	uint8	IP ブラックリストに一致した IP 層。
ファイル イベント カウント	uint16	同じ秒で発生するファイル イベントを区別するために使用される値。
侵入 イベント カウント	uint16	同じ秒で発生する侵入 イベントを区別するために使用される値。
イニシエータの国	uint16	開始ホストの国のコード。
レスポндаの国	uint16	応答ホストの国のコード。

接続チャンク データ ブロック 5.0 ~ 5.1

接続チャンク データ ブロックは、NetFlow デバイスによって検出された接続データを伝えます。接続チャンク データ ブロックのブロック タイプは、4.10.1 よりも前のバージョンの場合は 66 です。バージョン 5.0 ~ 5.1 の場合、ブロック タイプは 119 です。

次の図は、接続チャンク データ ブロックの形式を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
接続チャンク ブロック タイプ (66 119)																																
接続チャンク ブロック 長																																
イニシエータ IP アドレス																																
レスポнда IP アドレス																																
開始時刻																																
アプリケーション ID																																
レスポнда ポート																プロトコル								接続タイプ								
NetFlow ディテクタ IP アドレス																																
送信パケット数																																
受信パケット数																																
送信バイト数																																
受信バイト数																																
接続																																

次の表は、接続チャンク データ ブロックのコンポーネントについての説明です。

表 B-29 接続チャンク データ ブロックのフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
接続チャンク ブロック タイプ	uint32	接続チャンク データ ブロックを開始します。この値は、バージョン 4.10.1 以前の場合は 66、バージョン 5.0 の場合は 119 です。
接続チャンク ブロック 長	uint32	接続チャンク データ ブロックのバイト数(接続チャンク ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続チャンク データのバイト数を含む)。

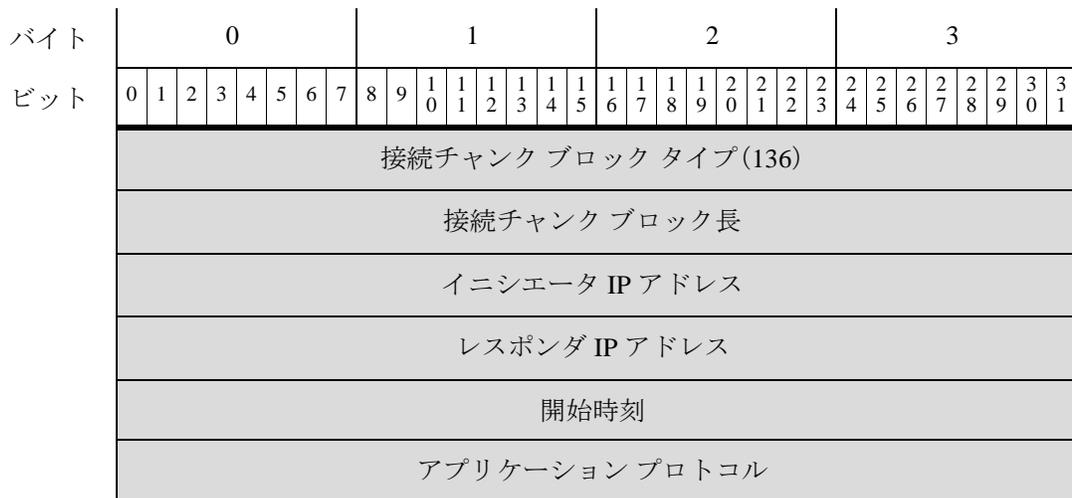
表 B-29 接続チャンク データブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
イニシエータ IP アドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、接続を開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、接続で応答するホストの IP アドレス。
開始時刻	uint32	接続チャンクの開始時刻。
アプリケーション ID	uint32	接続で使用されるアプリケーション プロトコルのアプリケーション ID 番号。
レスポнда ポート	uint16	接続チャンクでレスポндаが使用したポート。
プロトコル	uint8	ユーザ情報を含むパケットのプロトコル。
接続タイプ	uint8	接続の種類。
送信元 デバイス IP アドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、接続を検出した NetFlow デバイスの IP アドレス。
送信パケット数	uint32	接続チャンクで送信されたパケット数。
受信パケット数	uint32	接続チャンクで受信されたパケット数。
送信バイト数	uint32	接続チャンクで送信されたバイト数。
受信バイト数	uint32	接続チャンクで受信されたバイト数。
接続	uint32	接続チャンクで行われたセッション数。

接続チャンク データ ブロック 5.1.1 ~ 6.0.x

接続チャンク データ ブロックは、接続データを伝えます。5 分間分を集約した接続ログ データを保存します。接続チャンク データ ブロックのブロック タイプは、シリーズ 1 グループの 136 です。これはブロック タイプ 119 に取って代わります。

次の図は、接続チャンク データ ブロックの形式を示しています。



バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	レスポнда ポート																プロトコル								接続タイプ							
	NetFlow ディテクタ IP アドレス																															
	送信パケット数 送信パケット数(続き)																															
	受信パケット数 受信パケット数(続き)																															
	送信バイト数 送信バイト数(続き)																															
	受信バイト数 受信バイト数(続き)																															
	接続																															

次の表は、接続チャンク データ ブロックのコンポーネントについての説明です。

表 B-30 接続チャンク データ ブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
接続チャンク ブロックタイプ	uint32	接続チャンク データ ブロックを開始します。この値は常に 136 です。
接続チャンク ブロック長	uint32	接続チャンク データ ブロックのバイト数(接続チャンク ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続チャンク データのバイト数を含む)。
イニシエータ IP アドレス	uint8(4)	この接続タイプのイニシエータの IP アドレス。これはレスポнда IP アドレスとともに、複数の同じ接続を見分けるために使用されます。
レスポнда IP アドレス	uint8(4)	この接続タイプのレスポндаの IP アドレス。これはイニシエータ IP アドレスとともに、複数の同じ接続を見分けるために使用されます。
開始時刻	uint32	接続チャンクの開始時刻。
アプリケーションプロトコル	uint32	接続で使用されたプロトコルの ID 番号。
レスポндаポート	uint16	接続チャンクでレスポндаが使用したポート。
プロトコル	uint8	ユーザ情報を含むパケットのプロトコル。

表 B-30 接続チャンク データブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
接続タイプ	uint8	接続の種類:
NetFlow ディテクタ IP アドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、接続を検出した NetFlow デバイスの IP アドレス。
送信パケット数	uint64	接続チャンクで送信されたパケット数。
受信パケット数	uint64	接続チャンクで受信されたパケット数。
送信バイト数	uint64	接続チャンクで送信されたバイト数。
受信バイト数	uint64	接続チャンクで受信されたバイト数。
接続	uint32	5 分間の接続数。

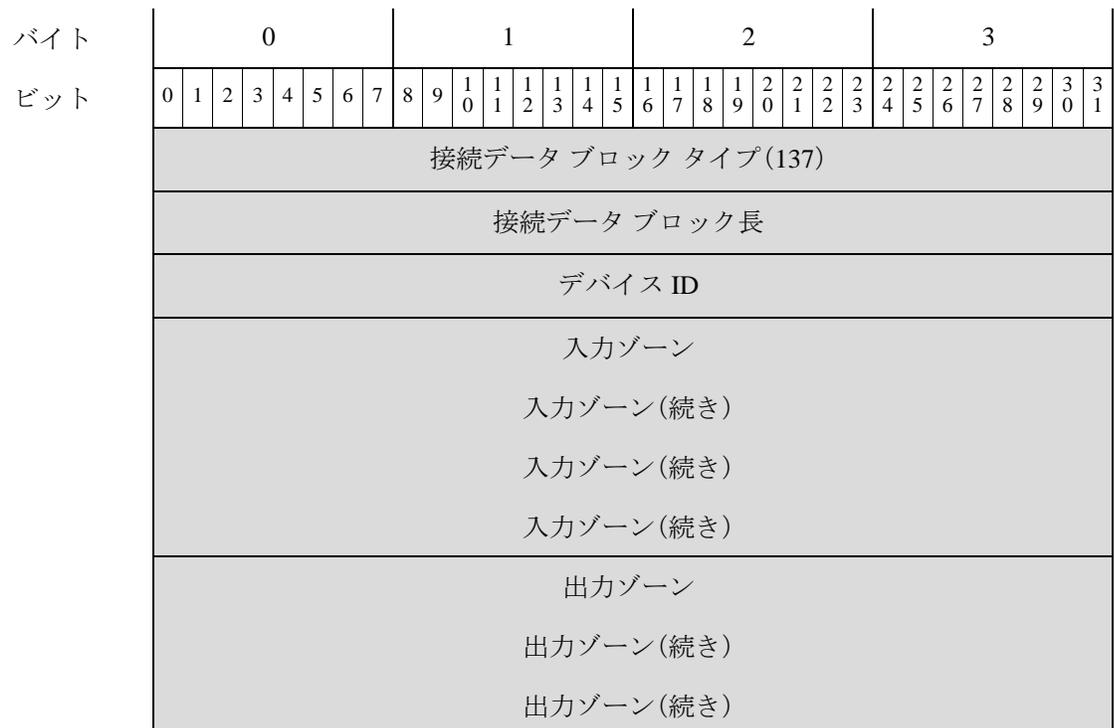
接続統計データ ブロック 5.1.1.x

接続統計データ ブロックは、接続データ メッセージで使用されます。バージョン 5.1 と 5.1.1 の間に加えられた接続データ ブロックの変更には、関連する侵入イベントを識別するための新規フィールドの追加が含まれます。接続統計データ ブロックバージョン 5.1.1.x のブロックタイプは 137 です。これにより、ブロックタイプ 126 ([接続統計データ ブロック 5.1 \(B-132 ページ\)](#)) は廃止されます。

接続統計データ メッセージの詳細については、[接続統計データ メッセージ \(4-54 ページ\)](#) を参照してください。

次の図は、接続統計データ ブロック 5.1.1 の形式を示しています。

::



バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	出力ゾーン(続き)																															
	入力インターフェイス																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	ポリシー リビジョン																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ルール ID																															
	ルール アクション																ルールの理由															
	イニシエータ ポート																レスポнда ポート															
	TCP フラグ																プロトコル								NetFlow ソース							

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	NetFlow ソース (続き)																															
	NetFlow ソース (続き)																															
	NetFlow ソース (続き)																															
	NetFlow ソース (続き)																								インスタンス ID							
	インスタンス ID (続き)								接続数カウンタ																最初のパケットの時刻							
	最初のパケットのタイムスタンプ (続き)																								最終パケットの時刻							
	最終パケットのタイムスタンプ (続き)																								イニシエータ送信パケット数							
	イニシエータ送信パケット数 (続き)																															
	イニシエータ送信パケット数 (続き)																								レスポнда Tx パケット							
	レスポнда送信パケット数 (続き)																															
	レスポнда送信パケット数 (続き)																								イニシエータ送信バイト数							
	イニシエータ送信バイト数 (続き)																															
	イニシエータ送信バイト数 (続き)																								レスポнда Tx バイト							
	レスポнда送信バイト数 (続き)																															
	レスポнда送信バイト数 (続き)																								ユーザ ID							
	ユーザ ID (続き)																															
	アプリケーションプロトコル ID (続き)																								アプリケーションプロトコル ID							
	アプリケーションプロトコル ID (続き)																															
	URL カテゴリ (続き)																								URL カテゴリ							
	URL カテゴリ (続き)																															
	URL レピュテーション (続き)																								URL レピュテーション							
	URL レピュテーション (続き)																															
	クライアントアプリケーション ID (続き)																								クライアントアプリケーション ID							
	クライアントアプリケーション ID (続き)																															
	Web アプリケーション ID (続き)																								Web アプリケーション ID							
	Web アプリケーション ID (続き)																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
クライアント URL	Web アプリケーション ID(続き)																								文字列ブロック タイプ(0)							
	文字列ブロック タイプ(続き)																								文字列ブロック 長							
	文字列ブロック長(続き)																								クライアントア プリケーション URL...							
NetBIOS 名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名...																															
クライアント アプリケーションバージョン	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	クライアントアプリケーションバージョン...																															
	モニタ ルール 1																															
	モニタ ルール 2																															
	モニタ ルール 3																															
	モニタ ルール 4																															
	モニタ ルール 5																															
	モニタ ルール 6																															
	モニタ ルール 7																															
	モニタ ルール 8																															
	秒開始送信元/宛先								秒イニシエータ層								ファイルイベント カウント															
	侵入イベント カウント																															

次の表は、接続統計データブロック 5.1.1.x のフィールドについての説明です。

表 B-31 接続統計データブロック 5.1.1.x のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
接続統計データブロックタイプ	uint32	接続統計データブロック 5.1.1.x を開始します。値は常に 137 です。
接続統計データブロック長	uint32	接続統計データブロックのバイト数(接続統計ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続データのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	接続イベントを検出したデバイス。
入力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの入力セキュリティゾーン。
出力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの出力セキュリティゾーン。
入力インターフェイス	uint8[16]	着信トラフィックのインターフェイス。
出力インターフェイス	uint8[16]	発信トラフィックのインターフェイス。
イニシエータ IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、接続イベントを記述するセッションを開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、開始ホストに回答したホストの IP アドレス。
ポリシー リビジョン	uint8[16]	トリガーされた関連イベントに関連付けられているルールのリビジョン番号(該当する場合)。
ルール ID	uint32	イベントをトリガーしたルールの内部 ID(該当する場合)。
ルールアクション	uint16	そのルールに対してユーザインターフェイスで選択されたアクション(allow、block など)。
ルールの理由	uint16	イベントをトリガーしたルールの理由。
イニシエータポート	uint16	開始ホストにより使用されるポート。
レスポндаポート	uint16	応答ホストにより使用されるポート。
TCP フラグ	uint16	接続イベントのすべての TCP フラグを示します。
プロトコル	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。
NetFlow ソース	uint8[16]	接続のデータをエクスポートした NetFlow 対応デバイスの IP アドレス。
インスタンス ID	uint16	イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
最初のパケットタイムスタンプ	uint32	セッションで最初のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。

表 B-31 接続統計データブロック 5.1.1.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
最終パケットタイムスタンプ	uint32	セッションで最後のパケットが交換された日時 of UNIX タイムスタンプ。
イニシエータ送信パケット数	uint64	開始ホストからの送信パケット数。
レスポнда送信パケット数	uint64	応答ホストが送信したパケット数。
イニシエータ送信バイト数	uint64	開始ホストからの送信バイト数。
レスポнда送信バイト数	uint64	応答ホストから送信バイト数。
ユーザ ID	uint32	トラフィックを生成したホストの最終ログイン ユーザの内部 ID 番号。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルのアプリケーション ID。
URL カテゴリ	uint32	URL カテゴリの内部 ID 番号。
URLレピュテーション	uint32	URL レピュテーションの内部 ID 番号。
クライアントアプリケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびクライアントアプリケーション URL 文字列のバイト数を含む)。
クライアントアプリケーション URL	string	クライアントアプリケーションがアクセスする URL (該当する場合) (/files/index.html など)。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。

表 B-31 接続統計データ ブロック 5.1.1.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
クライアントアプリケーションバージョン	string	クライアントアプリケーションバージョン。
モニタ ルール 1	uint32	接続イベントに関連付けられている 1 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 2	uint32	接続イベントに関連付けられている 2 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 3	uint32	接続イベントに関連付けられている 3 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 4	uint32	接続イベントに関連付けられている 4 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 5	uint32	接続イベントに関連付けられている 5 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 6	uint32	接続イベントに関連付けられている 6 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 7	uint32	接続イベントに関連付けられている 7 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 8	uint32	接続イベントに関連付けられている 8 番目のモニタ ルールの ID。
セキュリティ インテリジェンス 送信元/宛先	uint8	送信元または宛先の IP アドレスを IP ブラックリストに突き合わせるかどうか。
セキュリティ インテリジェンス 層	uint8	IP ブラックリストに一致した IP 層。
ファイル イベント カウント	uint16	同じ秒で発生するファイル イベントを区別するために使用される値。
侵入 イベント カウント	uint16	同じ秒で発生する侵入 イベントを区別するために使用される値。

接続統計データ ブロック 5.3

接続統計データ ブロックは、接続データ メッセージで使用されます。バージョン 5.2.x と 5.3 の間に加えられた接続データ ブロックの変更には、NetFlow 情報用の新規フィールドの追加が含まれます。バージョン 5.3 の接続統計データ ブロックは、シリーズ 1 グループのブロックの、ブロックタイプ 152 です。これにより、ブロックタイプ 144(接続統計データ ブロック 5.2.x(B-138 ページ))は廃止されます。

接続イベント レコードを要求するには、イベント バージョン 10 およびイベント コード 71 の要求メッセージ内に、拡張イベント フラグ(要求フラグ フィールドのビット 30)を設定します。要求フラグ(2-12 ページ)を参照してください。ビット 23 を有効にすると、拡張イベント ヘッダーがレコードに含まれます。

接続統計データ メッセージの詳細については、[接続統計データ メッセージ\(4-54 ページ\)](#) を参照してください。

次の図は、接続統計データ ブロック 5.3+の形式を示しています。

::

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	接続データ ブロック タイプ (152)																															
	接続データ ブロック長																															
	デバイス ID																															
	入力ゾーン 入力ゾーン(続き) 入力ゾーン(続き) 入力ゾーン(続き)																															
	出力ゾーン 出力ゾーン(続き) 出力ゾーン(続き) 出力ゾーン(続き)																															
	入力インターフェイス 入力インターフェイス(続き) 入力インターフェイス(続き) 入力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス 出力インターフェイス(続き) 出力インターフェイス(続き) 出力インターフェイス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス イニシエータ IP アドレス(続き) イニシエータ IP アドレス(続き) イニシエータ IP アドレス(続き)																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
レスポнда IP アドレス																																
レスポнда IP アドレス(続き)																																
レスポнда IP アドレス(続き)																																
レスポнда IP アドレス(続き)																																
ポリシー リビジョン																																
ポリシー リビジョン(続き)																																
ポリシー リビジョン(続き)																																
ポリシー リビジョン(続き)																																
ルール ID																																
ルール アクション																ルールの理由																
イニシエータ ポート																レスポнда ポート																
TCP フラグ																プロトコル								NetFlow ソース								
NetFlow ソース(続き)																																
NetFlow ソース(続き)																																
NetFlow ソース(続き)																																
NetFlow ソース(続き)																								インスタンス ID								
インスタンス ID (続き)								接続数カウンタ																最初のパケットの時刻								
最初のパケットのタイムスタンプ(続き)																								最終パケットの時刻								
最終パケットのタイムスタンプ(続き)																								イニシエータ送信パケット数								
イニシエータ送信パケット数(続き)																																
イニシエータ送信パケット数(続き)																								レスポнда Tx パケット								
レスポнда送信パケット数(続き)																																
レスポнда送信パケット数(続き)																								イニシエータ送信バイト数								

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	イニシエータ送信バイト数(続き)																															
	イニシエータ送信バイト数(続き)																								レスポнда Tx バイト							
	レスポнда送信バイト数(続き)																															
	レスポнда送信バイト数(続き)																								ユーザ ID							
	ユーザ ID(続き)																															
	アプリケーションプロトコル ID(続き)																								アプリケーション プロトコルID							
	アプリケーションプロトコル ID(続き)																															
	URL カテゴリ(続き)																								URL カテゴリ							
	URL カテゴリ(続き)																															
	URL レピュテーション(続き)																								URLレピュテー ション							
	URL レピュテーション(続き)																															
	クライアントアプリケーション ID(続き)																								クライアントア プリケーショ ン ID							
	クライアントアプリケーション ID(続き)																															
クライアント URL	Web アプリケーション ID(続き)																								Web アプリケー ション ID							
	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック タイプ(続き)																								文字列ブロッ ク長							
	文字列ブロック長(続き)																								クライアントア プリケーショ ン URL...							
NetBIOS 名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名...																															
クライアント アプリケー ションバー ジョン	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	クライアントアプリケーションバージョン...																															
	モニタ ルール 1																															
	モニタ ルール 2																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	モニタ ルール 3																															
	モニタ ルール 4																															
	モニタ ルール 5																															
	モニタ ルール 6																															
	モニタ ルール 7																															
	モニタ ルール 8																															
	秒開始送信元/ 宛先								秒イニシエー タ層								ファイル イベント カウント															
	侵入イベント カウント																イニシエータの国															
	レスポндаの国																IOC 番号															
	送信元自律システム																															
	宛先自律システム																															
	SNMP 入力																SNMP 出力															
	送信元 TOS								宛先 TOS								送信元マスク								宛先マスク							

次の表は、接続統計データ ブロック 5.3 のフィールドについての説明です。

表 B-32 接続統計データ ブロック 5.3+のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
接続統計データ ブ ロック タイプ	uint32	接続統計データ ブロック 5.3 を開始します。値は常に 152 です。
接続統計データ ブ ロック 長	uint32	接続統計データ ブロックのバイト数(接続統計ブロック タイ プと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続 データのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	接続イベントを検出したデバイス。
入力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの入力セキュリティ ゾーン。
出力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの出力セキュリティ ゾーン。
入力インターフェ イス	uint8[16]	着信トラフィックのインターフェイス。

表 B-32 接続統計データブロック 5.3+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
出力インターフェイス	uint8[16]	発信トラフィックのインターフェイス。
イニシエータ IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、接続イベントを記述するセッションを開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、開始ホストに応答したホストの IP アドレス。
ポリシー リビジョン	uint8[16]	トリガーされた関連イベントに関連付けられているルールのリビジョン番号(該当する場合)。
ルール ID	uint32	イベントをトリガーしたルールの内部 ID(該当する場合)。
ルール アクション	uint16	そのルールに対してユーザ インターフェイスで選択されたアクション(allow、block など)。
ルールの理由	uint16	イベントをトリガーしたルールの理由。
イニシエータ ポート	uint16	開始ホストにより使用されるポート。
レスポнда ポート	uint16	応答ホストにより使用されるポート。
TCP フラグ	uint16	接続イベントのすべての TCP フラグを示します。
プロトコル	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。
NetFlow ソース	uint8[16]	接続のデータをエクスポートした NetFlow 対応デバイスの IP アドレス。
インスタンス ID	uint16	イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
最初のパケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最初のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
最終パケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最後のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
イニシエータ送信パケット数	uint64	開始ホストからの送信パケット数。
レスポнда送信パケット数	uint64	応答ホストが送信したパケット数。
イニシエータ送信バイト数	uint64	開始ホストからの送信バイト数。
レスポнда送信バイト数	uint64	応答ホストから送信バイト数。
ユーザ ID	uint32	トラフィックを生成したホストの最終ログイン ユーザの内部 ID 番号。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルのアプリケーション ID。
URL カテゴリ	uint32	URL カテゴリの内部 ID 番号。

表 B-32 接続統計データ ブロック 5.3+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
URLレピュテーション	uint32	URL レピュテーションの内部 ID 番号。
クライアントアプリケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびクライアントアプリケーション URL 文字列のバイト数を含む)。
クライアントアプリケーション URL	string	クライアントアプリケーションがアクセスする URL (該当する場合) (/files/index.html など)。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
クライアントアプリケーションバージョン	string	クライアントアプリケーションバージョン。
モニタールール 1	uint32	接続イベントに関連付けられている 1 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 2	uint32	接続イベントに関連付けられている 2 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 3	uint32	接続イベントに関連付けられている 3 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 4	uint32	接続イベントに関連付けられている 4 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 5	uint32	接続イベントに関連付けられている 5 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 6	uint32	接続イベントに関連付けられている 6 番目のモニタールールの ID。

表 B-32 接続統計データブロック 5.3+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
モニタ ルール 7	uint32	接続イベントに関連付けられている 7 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 8	uint32	接続イベントに関連付けられている 8 番目のモニタ ルールの ID。
セキュリティ インテリジェンス送信元/宛先	uint8	送信元または宛先の IP アドレスを IP ブラックリストに突き合わせるかどうか。
セキュリティ インテリジェンス層	uint8	IP ブラックリストに一致した IP 層。
ファイル イベント カウント	uint16	同じ秒で発生するファイル イベントを区別するために使用される値。
侵入 イベント カウント	uint16	同じ秒で発生する侵入 イベントを区別するために使用される値。
イニシエータの国	uint16	開始ホストの国のコード。
レスポндаの国	uint 16	応答ホストの国のコード。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。
送信元自律システム	uint32	送信元の自律システム番号、起点またはピア。
宛先自律システム	uint32	宛先の自律システム番号、起点またはピア。
SNMP 入力	uint16	入力インターフェイスの SNMP インデックス。
SNMP 出力	uint16	出力インターフェイスの SNMP インデックス
送信元 TOS	uint8	着信インターフェイス用のタイプ オブ サービス バイト設定。
宛先 TOS	uint8	発信インターフェイス用のタイプ オブ サービス バイト設定。
送信元マスク	uint8	送信元アドレス プレフィックス マスク。
宛先マスク	uint8	宛先アドレス プレフィックス マスク。

接続統計データ ブロック 5.3.1

接続統計データ ブロックは、接続データ メッセージで使用されます。バージョン 5.3 と 5.3.1 との間で加えられた接続データ ブロックの唯一の変更は、セキュリティ コンテキスト フィールドの追加です。バージョン 5.3.1 の接続統計データ ブロックは、シリーズ 1 グループのブロックの、ブロック タイプ 154 です。これにより、ブロック タイプ 152(接続統計データ ブロック 5.3(B-154 ページ))は廃止されます。

接続イベント レコードを要求するには、イベント バージョン 11 およびイベント コード 71 の要求メッセージ内に、拡張イベント フラグ(要求フラグ フィールドのビット 30)を設定します。要求フラグ(2-12 ページ)を参照してください。ビット 23 を有効にすると、拡張イベント ヘッダーがレコードに含まれます。接続統計データ メッセージの詳細については、接続統計データ メッセージ(4-54 ページ)を参照してください。

次の図は、接続統計データブロック 5.3.1 の形式を示しています。

::

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
接続データブロックタイプ (154)																																
接続データブロック長																																
デバイスID																																
入力ゾーン																																
入力ゾーン(続き)																																
入力ゾーン(続き)																																
入力ゾーン(続き)																																
出力ゾーン																																
出力ゾーン(続き)																																
出力ゾーン(続き)																																
出力ゾーン(続き)																																
入力インターフェイス																																
入力インターフェイス(続き)																																
入力インターフェイス(続き)																																
入力インターフェイス(続き)																																
出力インターフェイス																																
出力インターフェイス(続き)																																
出力インターフェイス(続き)																																
出力インターフェイス(続き)																																
イニシエータ IP アドレス																																
イニシエータ IP アドレス(続き)																																
イニシエータ IP アドレス(続き)																																
イニシエータ IP アドレス(続き)																																
レスポнда IP アドレス																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	ポリシー リビジョン																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ルール ID																															
	ルール アクション																ルールの理由															
	イニシエータ ポート																レスポнда ポート															
	TCP フラグ																プロトコル								NetFlow ソース							
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																								インスタンス ID							
	インスタンス ID (続き)								接続数カウンタ																最初のパケットの時刻							
	最初のパケットのタイムスタンプ(続き)																								最終パケットの時刻							
	最終パケットのタイムスタンプ(続き)																								イニシエータ送信パケット数							
	イニシエータ送信パケット数(続き)																															
	イニシエータ送信パケット数(続き)																								レスポнда Tx パケット							
	レスポнда送信パケット数(続き)																															
	レスポнда送信パケット数(続き)																								イニシエータ送信バイト数							
	イニシエータ送信バイト数(続き)																															

バイト	0								1							2							3									
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	イニシエータ送信バイト数(続き)															レスポнда Tx バイト																
	レスポнда送信バイト数(続き)																															
	レスポнда送信バイト数(続き)															ユーザ ID																
	ユーザ ID(続き)															アプリケーション プロトコルID																
	アプリケーションプロトコル ID(続き)															URL カテゴリ																
	URL カテゴリ(続き)															URLレピュテー ション																
	URL レピュテーション(続き)															クライアントア プリケーショ ン ID																
	クライアント アプリケーション ID(続き)															Web アプリケー ション ID																
クライアント URL	Web アプリケーション ID(続き)															文字列ブロック タイプ(0)																
	文字列ブロック タイプ(続き)															文字列ブロッ ク長																
	文字列ブロック長(続き)															クライアントア プリケーショ ン URL...																
NetBIOS 名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名...																															
クライアント アプリケー ションバー ジョン	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	クライアント アプリケーションバージョン...																															
	モニタ ルール 1																															
	モニタ ルール 2																															
	モニタ ルール 3																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	モニタ ルール 4																															
	モニタ ルール 5																															
	モニタ ルール 6																															
	モニタ ルール 7																															
	モニタ ルール 8																															
	秒開始送信元/ 宛先								秒イニシエー タ層								ファイルイベント カウント															
	侵入イベント カウント																イニシエータの国															
	レスポндаの国																IOC 番号															
	送信元自律システム																															
	宛先自律システム																															
	SNMP 入力																SNMP 出力															
	送信元 TOS								宛先 TOS								送信元マスク								宛先マスク							
	セキュリティ コンテキスト																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															

次の表は、接続統計データ ブロック 5.3.1 のフィールドについての説明です。

表 B-33 接続統計データ ブロック 5.3.1 のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
接続統計データ ブ ロック タイプ	uint32	接続統計データ ブロック 5.3.1+ を開始します。値は常に 154 です。
接続統計データ ブ ロック 長	uint32	接続統計データ ブロックのバイト数(接続統計ブロック タイ プと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続 データのバイト数を含む)。
デバイスID	uint32	接続イベントを検出したデバイス。
入力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの入力セキュリティ ゾーン。

表 B-33 接続統計データ ブロック 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
出力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの出力セキュリティゾーン。
入力インターフェイス	uint8[16]	着信トラフィックのインターフェイス。
出力インターフェイス	uint8[16]	発信トラフィックのインターフェイス。
イニシエータ IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、接続イベントを記述するセッションを開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、開始ホストに応答したホストの IP アドレス。
ポリシー リビジョン	uint8[16]	トリガーされた相関イベントに関連付けられているルールのリビジョン番号(該当する場合)。
ルール ID	uint32	イベントをトリガーしたルールの内部 ID(該当する場合)。
ルール アクション	uint16	そのルールに対してユーザ インターフェイスで選択されたアクション(allow、block など)。
ルールの理由	uint16	イベントをトリガーしたルールの理由。
イニシエータ ポート	uint16	開始ホストにより使用されるポート。
レスポнда ポート	uint16	応答ホストにより使用されるポート。
TCP フラグ	uint16	接続イベントのすべての TCP フラグを示します。
プロトコル	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。
NetFlow ソース	uint8[16]	接続のデータをエクスポートした NetFlow 対応デバイスの IP アドレス。
インスタンス ID	uint16	イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
最初のパケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最初のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
最終パケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最後のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
イニシエータ送信パケット数	uint64	開始ホストからの送信パケット数。
レスポнда送信パケット数	uint64	応答ホストが送信したパケット数。
イニシエータ送信バイト数	uint64	開始ホストからの送信バイト数。
レスポнда送信バイト数	uint64	応答ホストから送信バイト数。
ユーザ ID	uint32	トラフィックを生成したホストの最終ログイン ユーザの内部 ID 番号。

表 B-33 接続統計データブロック 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルのアプリケーション ID。
URL カテゴリ	uint32	URL カテゴリの内部 ID 番号。
URLレピュテーション	uint32	URL レピュテーションの内部 ID 番号。
クライアントアプリケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびクライアントアプリケーション URL 文字列のバイト数を含む)。
クライアントアプリケーション URL	string	クライアントアプリケーションがアクセスする URL(該当する場合) (/files/index.html など)。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
クライアントアプリケーションバージョン	string	クライアントアプリケーションバージョン。
モニターール 1	uint32	接続イベントに関連付けられている 1 番目のモニターールの ID。
モニターール 2	uint32	接続イベントに関連付けられている 2 番目のモニターールの ID。
モニターール 3	uint32	接続イベントに関連付けられている 3 番目のモニターールの ID。
モニターール 4	uint32	接続イベントに関連付けられている 4 番目のモニターールの ID。
モニターール 5	uint32	接続イベントに関連付けられている 5 番目のモニターールの ID。

表 B-33 接続統計データ ブロック 5.3.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
モニタ ルール 6	uint32	接続イベントに関連付けられている 6 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 7	uint32	接続イベントに関連付けられている 7 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 8	uint32	接続イベントに関連付けられている 8 番目のモニタ ルールの ID。
セキュリティ インテリジェンス送信元/宛先	uint8	送信元または宛先の IP アドレスを IP ブラックリストに突き合わせるかどうか。
セキュリティ インテリジェンス層	uint8	IP ブラックリストに一致した IP 層。
ファイル イベント カウント	uint16	同じ秒で発生するファイル イベントを区別するために使用される値。
侵入イベント カウント	uint16	同じ秒で発生する侵入イベントを区別するために使用される値。
イニシエータの国	uint16	開始ホストの国のコード。
レスポндаの国	uint 16	応答ホストの国のコード。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。
送信元自律システム	uint32	送信元の自律システム番号、起点またはピア。
宛先自律システム	uint32	宛先の自律システム番号、起点またはピア。
SNMP 入力	uint16	入力インターフェイスの SNMP インデックス。
SNMP 出力	uint16	出力インターフェイスの SNMP インデックス
送信元 TOS	uint8	着信インターフェイス用のタイプ オブ サービス バイト設定。
宛先 TOS	uint8	発信インターフェイス用のタイプ オブ サービス バイト設定。
送信元マスク	uint8	送信元アドレス プレフィックス マスク。
宛先マスク	uint8	宛先アドレス プレフィックス マスク。
セキュリティ コンテキスト	uint8(16)	トラフィックが通過したセキュリティ コンテキスト (仮想ファイアウォール) の ID 番号。マルチコンテキストモードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。

接続統計データ ブロック 5.4

接続統計データ ブロックは、接続データ メッセージで使用されます。接続統計データ ブロック 5.4 には、いくつかの新しいフィールドが追加されました。SSL 接続、HTTP リダイレクション、およびネットワーク分析ポリシーをサポートするためのフィールドが追加されています。バージョン 5.4 の接続統計データ ブロックは、シリーズ 1 グループのブロックの、ブロック タイプ 155 です。これにより、ブロック タイプ 154 (接続統計データ ブロック 5.3.1 (B-161 ページ)) は廃止されます。

接続イベントレコードを要求するには、イベントバージョン 12 およびイベントコード 71 の要求メッセージ内に、拡張イベントフラグ(要求フラグフィールドのビット 30)を設定します。[要求フラグ\(2-12 ページ\)](#)を参照してください。ビット 23 を有効にすると、拡張イベントヘッダーがレコードに含まれます。

接続統計データメッセージの詳細については、[接続統計データメッセージ\(4-54 ページ\)](#)を参照してください。

次の図は、接続統計データブロック 5.4 の形式を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
接続データブロックタイプ(155)																																
接続データブロック長																																
デバイスID																																
入力ゾーン																																
入力ゾーン(続き)																																
入力ゾーン(続き)																																
入力ゾーン(続き)																																
出力ゾーン																																
出力ゾーン(続き)																																
出力ゾーン(続き)																																
出力ゾーン(続き)																																
入力インターフェイス																																
入力インターフェイス(続き)																																
入力インターフェイス(続き)																																
入力インターフェイス(続き)																																
出力インターフェイス																																
出力インターフェイス(続き)																																
出力インターフェイス(続き)																																
出力インターフェイス(続き)																																
イニシエータ IP アドレス																																
イニシエータ IP アドレス(続き)																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
イニシエータ IP アドレス (続き)																																
イニシエータ IP アドレス (続き)																																
レスポнда IP アドレス																																
レスポнда IP アドレス (続き)																																
レスポнда IP アドレス (続き)																																
レスポнда IP アドレス (続き)																																
ポリシー リビジョン																																
ポリシー リビジョン (続き)																																
ポリシー リビジョン (続き)																																
ポリシー リビジョン (続き)																																
ルール ID																																
ルール アクション																ルールの理由																
イニシエータ ポート																レスポнда ポート																
TCP フラグ																プロトコル								NetFlow ソース								
NetFlow ソース (続き)																																
NetFlow ソース (続き)																																
NetFlow ソース (続き)																																
NetFlow ソース (続き)																								インスタンス ID								
インスタンス ID (続き)								接続数カウンタ																最初のパケットの時刻								
最初のパケットのタイムスタンプ (続き)																																
最終パケットの時刻																																
最終パケットのタイムスタンプ (続き)																																
イニシエータ送信パケット数																																
イニシエータ送信パケット数 (続き)																																
イニシエータ送信パケット数 (続き)																								レスポнда Tx パケット								

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	レスポнда送信パケット数(続き)																															
	レスポнда送信パケット数(続き)																								イニシエータ送信バイト数							
	イニシエータ送信バイト数(続き)																															
	イニシエータ送信バイト数(続き)																								レスポнда Tx バイト							
	レスポнда送信バイト数(続き)																															
	レスポнда送信バイト数(続き)																								ユーザ ID							
	ユーザ ID(続き)																															
	ユーザ ID(続き)																								アプリケーション プロトコルID							
	アプリケーションプロトコル ID(続き)																															
	アプリケーションプロトコル ID(続き)																								URL カテゴリ							
	URL カテゴリ(続き)																															
	URL カテゴリ(続き)																								URLレピュテー ション							
	URL レピュテーション(続き)																															
	URL レピュテーション(続き)																								クライアントア プリケーション ID							
	クライアントアプリケーション ID(続き)																															
	クライアントアプリケーション ID(続き)																								Web アプリケー ション ID							
クライアント URL	Web アプリケーション ID(続き)																															
	Web アプリケーション ID(続き)																								文字列ブロック タイプ(0)							
	文字列ブロック タイプ(続き)																															
	文字列ブロック タイプ(続き)																								文字列ブロッ ク長							
	文字列ブロック長(続き)																															
	文字列ブロック長(続き)																								クライアントア プリケーション URL...							
NetBIOS 名	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名...																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
クライアントアプリケーションバージョン	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	クライアント アプリケーションバージョン...																															
	モニタ ルール 1																															
	モニタ ルール 2																															
	モニタ ルール 3																															
	モニタ ルール 4																															
	モニタ ルール 5																															
	モニタ ルール 6																															
	モニタ ルール 7																															
モニタ ルール 8																																
秒開始送信元/ 宛先								秒イニシエー タ層								ファイル イベント カウント																
侵入イベント カウント																イニシエータの国																
レスポндаの国																IOC 番号																
送信元自律システム																																
宛先自律システム																																
SNMP 入力																SNMP 出力																
送信元 TOS								宛先 TOS								送信元マスク								宛先マスク								
セキュリティ コンテキスト																																
セキュリティ コンテキスト(続き)																																
セキュリティ コンテキスト(続き)																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
参照ホスト	VLAN ID																文字列ブロック タイプ(0)															
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																参照ホスト...															
ユーザーエージェント	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ エージェント...																															
HTTP リファラ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	HTTP リファラ...																															
	SSL 証明書フィンガープリント SSL 証明書フィンガープリント(続き) SSL 証明書フィンガープリント(続き) SSL 証明書フィンガープリント(続き) SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL ポリシー ID SSL ポリシー ID(続き) SSL ポリシー ID(続き) SSL ポリシー ID(続き)																															
	SSL ルール ID																															
	SSL 暗号スイート																SSL バージョン								SSL キー証明書統計							
	SSL キー証明書統計(続き)								実際の SSL アクション																予期された SSL アクション							

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
SSLサーバ名	予期された SSL アクション(続き)								SSL フロー ステータス																SSL フロー エラー							
	SSL フロー エラー(続き)																SSL フロー メッセージ															
	SSL フロー メッセージ(続き)																SSL フロー フラグ															
	SSL フロー フラグ(続き)																SSL フロー フラグ(続き)								文字列ブロック タイプ(0)							
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)																文字列ブロック 長															
	文字列ブロック長(続き)																SSL サーバ名...															
	SSL URL カテゴリ																															
	SSL セッション ID																															
	SSL セッション ID(続き)																															
	SSL セッション ID(続き)																															
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID の長さ								SSL チケット ID																								
SSL チケット ID(続き)																																
SSL チケット ID(続き)																																
SSL チケット ID(続き)																																
SSL チケット ID(続き)																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	SSL チケット ID (続き)								SSL チケット ID の長さ								ネットワーク分析ポリシー リビジョン															
	ネットワーク分析ポリシー リビジョン (続き)																															
	ネットワーク分析ポリシー リビジョン (続き)																															
	ネットワーク分析ポリシー リビジョン (続き)																															
	ネットワーク分析ポリシー リビジョ																ン(続き)															

次の表は、接続統計データ ブロック 5.4+のフィールドについての説明です。

表 B-34 接続統計データ ブロック 5.4+のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
接続統計データ ブロックタイプ	uint32	接続統計データ ブロック 5.4+を開始します。値は常に 155 です。
接続統計データ ブロック長	uint32	接続統計データ ブロックのバイト数(接続統計ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続データのバイト数を含む)。
デバイスID	uint32	接続イベントを検出したデバイス。
入力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの入力セキュリティゾーン。
出力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの出力セキュリティゾーン。
入力インターフェイス	uint8[16]	着信トラフィックのインターフェイス。
出力インターフェイス	uint8[16]	発信トラフィックのインターフェイス。
イニシエータ IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、接続イベントを記述するセッションを開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、開始ホストに応答したホストの IP アドレス。
ポリシー リビジョン	uint8[16]	トリガーされた関連イベントに関連付けられているルールのリビジョン番号(該当する場合)。
ルール ID	uint32	イベントをトリガーしたルールの内部 ID(該当する場合)。
ルール アクション	uint16	そのルールに対してユーザ インターフェイスで選択されたアクション(allow、block など)。
ルールの理由	uint16	イベントをトリガーしたルールの理由。

表 B-34 接続統計データ ブロック 5.4+ のフィールド (続き)

フィールド	データタイプ	説明
イニシエータポート	uint16	開始ホストにより使用されるポート。
レスポндаポート	uint16	応答ホストにより使用されるポート。
TCP フラグ	uint16	接続イベントのすべての TCP フラグを示します。
プロトコル	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。
NetFlow ソース	uint8[16]	接続のデータをエクスポートした NetFlow 対応デバイスの IP アドレス。
インスタンス ID	uint16	イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
最初のパケットタイムスタンプ	uint32	セッションで最初のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
最終パケットタイムスタンプ	uint32	セッションで最後のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
イニシエータ送信パケット数	uint64	開始ホストからの送信パケット数。
レスポнда送信パケット数	uint64	応答ホストが送信したパケット数。
イニシエータ送信バイト数	uint64	開始ホストからの送信バイト数。
レスポнда送信バイト数	uint64	応答ホストから送信バイト数。
ユーザ ID	uint32	トラフィックを生成したホストの最終ログインユーザの内部 ID 番号。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルのアプリケーション ID。
URL カテゴリ	uint32	URL カテゴリの内部 ID 番号。
URL レピュテーション	uint32	URL レピュテーションの内部 ID 番号。
クライアントアプリケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびクライアントアプリケーション URL 文字列のバイト数を含む)。

表 B-34 接続統計データブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
クライアントアプリケーション URL	string	クライアントアプリケーションがアクセスする URL(該当する場合) (/files/index.html など)。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
クライアントアプリケーションバージョン	string	クライアントアプリケーションバージョン。
モニタールール 1	uint32	接続イベントに関連付けられている 1 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 2	uint32	接続イベントに関連付けられている 2 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 3	uint32	接続イベントに関連付けられている 3 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 4	uint32	接続イベントに関連付けられている 4 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 5	uint32	接続イベントに関連付けられている 5 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 6	uint32	接続イベントに関連付けられている 6 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 7	uint32	接続イベントに関連付けられている 7 番目のモニタールールの ID。
モニタールール 8	uint32	接続イベントに関連付けられている 8 番目のモニタールールの ID。
セキュリティインテリジェンス送信元/宛先	uint8	送信元または宛先の IP アドレスを IP ブラックリストに突き合わせるかどうか。
セキュリティインテリジェンス層	uint8	IP ブラックリストに一致した IP 層。
ファイルイベントカウント	uint16	同じ秒で発生するファイルイベントを区別するために使用される値。
侵入イベントカウント	uint16	同じ秒で発生する侵入イベントを区別するために使用される値。

表 B-34 接続統計データ ブロック 5.4+ のフィールド (続き)

フィールド	データタイプ	説明
イニシエータの国	uint16	開始ホストの国のコード。
レスポンドの国	uint 16	応答ホストの国のコード。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。
送信元自律システム	uint32	送信元の自律システム番号、起点またはピア。
宛先自律システム	uint32	宛先の自律システム番号、起点またはピア。
SNMP 入力	uint16	入力インターフェイスの SNMP インデックス。
SNMP 出力	uint16	出力インターフェイスの SNMP インデックス
送信元 TOS	uint8	着信インターフェイス用のタイプオブサービスバイト設定。
宛先 TOS	uint8	発信インターフェイス用のタイプオブサービスバイト設定。
送信元マスク	uint8	送信元アドレスプレフィックスマスク。
宛先マスク	uint8	宛先アドレスプレフィックスマスク。
セキュリティコンテキスト	uint8(16)	トラフィックが通過したセキュリティコンテキスト(仮想ファイアウォール)の ID 番号。マルチコンテキストモードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。
VLAN ID	uint16	ホストがメンバーである VLAN を示す VLAN ID 番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	参照ホストを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	参照ホスト文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および参照ホストフィールドのバイト数を含む)。
参照ホスト	string	HTTP または DNS で提供されるホスト名情報。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザエージェントを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザエージェント文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびユーザエージェントフィールドのバイト数を含む)。
ユーザエージェント	string	セッションのユーザエージェントヘッダーフィールドからの情報。
文字列ブロックタイプ	uint32	HTTP リファラを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	HTTP リファラ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および HTTP リファラフィールドのバイト数を含む)。
HTTP リファラ	string	ページの発生元のサイト。これは HTTP トラフィック内の参照ヘッダー情報にあります。
SSL 証明書フィンガープリント	uint8[20]	SSL サーバ証明書の SHA1 ハッシュ。
SSL ポリシー ID	uint8[16]	接続を処理した SSL ポリシーの ID 番号。

表 B-34 接続統計データブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL ルール ID	uint32	接続を処理した SSL ルールまたはデフォルトアクションの ID 番号。
SSL 暗号スイート	uint16	SSL 接続で使用される暗号スイート。値は 10 進形式で保存されます。値により指定されている暗号スイートの詳細については、 www.iana.org/assignments/tls-parameters/tls-parameters.xhtml を参照してください。
SSL バージョン	uint8	接続の暗号化に使用された SSL または TLS プロトコルバージョン。
SSL サーバ証明書ステータス	uint16	SSL 証明書のステータス。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 0(チェックなし):サーバ証明書のステータスは評価されませんでした。 1(不明):サーバ証明書のステータスは判別できませんでした。 2(有効):サーバ証明書は有効です。 4(自己署名済み):サーバ証明書は自己署名です。 16(無効な発行者):サーバ証明書に無効な発行者があります。 32(無効な署名):サーバ証明書に無効な署名があります。 64(期限切れ):サーバ証明書は期限切れです。 128(まだ有効でない):サーバ証明書はまだ有効ではありません。 256(取り消し):サーバ証明書は取り消されました。
実際の SSL アクション	uint16	SSL ルールに基づいて接続に対して実行されたアクション。ルールに指定されているアクションが不可能なことがあるため、これは予期していたアクションとは異なることがあります。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 0:「不明」 1:「復号しない」 2:「ブロックする」 3:「リセットでブロック」 4:「復号(既知のキー)」 5:「復号(置換キー)」 6:「復号(Resign)」

表 B-34 接続統計データ ブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
予期された SSL アクション	uint16	<p>SSL ルールに基づいて接続に対して実行する必要があるアクション。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0:「不明」 • 1:「復号しない」 • 2:「ブロックする」 • 3:「リセットでブロック」 • 4:「復号(既知のキー)」 • 5:「復号(置換キー)」 • 6:「復号(Resign)」

表 B-34 接続統計データブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL フロー ステータス	uint16	<p>SSL フローのステータス。アクションが実行された理由、またはエラーメッセージが出された理由を示す値です。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0:「不明」 • 1:「一致しない」 • 2:「成功」 • 3:「キャッシュされていないセッション」 • 4:「不明の暗号化スイート」 • 5:「サポートされていない暗号スイート」 • 6:「サポートされていない SSL バージョン」 • 7:「使用される SSL 圧縮」 • 8:「パッシブ モードで復号不可のセッション」 • 9:「ハンドシェイク エラー」 • 10:「復号エラー」 • 11:「保留中のサーバ名カテゴリ ルックアップ」 • 12:「保留中の共通名カテゴリ ルックアップ」 • 13:「内部エラー」 • 14:「使用できないネットワーク パラメータ」 • 15:「無効なサーバの証明書の処理」 • 16:「サーバ証明書フィンガープリントが使用不可」 • 17:「サブジェクト DN をキャッシュできません」 • 18:「発行者 DN をキャッシュできません」 • 19:「不明な SSL バージョン」 • 20:「外部証明書のリストが使用できません」 • 21:「外部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 22:「内部証明書リストが無効」 • 23:「内部証明書のリストが使用できません」 • 24:「内部証明書が使用できません」 • 25:「内部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 26:「サーバ証明書の検証が使用できません」 • 27:「サーバ証明書の検証エラー」 • 28:「無効な操作」
SSL フロー エラー	uint32	<p>詳細な SSL エラー コード。これらの値はサポート目的で必要とされる場合があります。</p>

表 B-34 接続統計データ ブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL フローメッセージ	uint32	<p>SSL ハンドシェイク時にクライアントとサーバとの間で交換されたメッセージ。詳細については、http://tools.ietf.org/html/rfc5246 を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x00000001:NSE_MT__HELLO_REQUEST 0x00000002:NSE_MT__CLIENT_ALERT 0x00000004:NSE_MT__SERVER_ALERT 0x00000008:NSE_MT__CLIENT_HELLO 0x00000010:NSE_MT__SERVER_HELLO 0x00000020:NSE_MT__SERVER_CERTIFICATE 0x00000040:NSE_MT__SERVER_KEY_EXCHANGE 0x00000080:NSE_MT__CERTIFICATE_REQUEST 0x00000100:NSE_MT__SERVER_HELLO_DONE 0x00000200:NSE_MT__CLIENT_CERTIFICATE 0x00000400:NSE_MT__CLIENT_KEY_EXCHANGE 0x00000800:NSE_MT__CERTIFICATE_VERIFY 0x00001000: NSE_MT__CLIENT_CHANGE_CIPHER_SPEC 0x00002000:NSE_MT__CLIENT_FINISHED 0x00004000: NSE_MT__SERVER_CHANGE_CIPHER_SPEC 0x00008000:NSE_MT__SERVER_FINISHED 0x00010000:NSE_MT__NEW_SESSION_TICKET 0x00020000:NSE_MT__HANDSHAKE_OTHER 0x00040000:NSE_MT__APP_DATA_FROM_CLIENT 0x00080000:NSE_MT__APP_DATA_FROM_SERVER
SSL フロー フラグ	uint64	<p>暗号化接続のデバッグ レベル フラグ。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x00000001 (NSE_FLOW__VALID):他のフィールドを有効にするために設定する必要があります 0x00000002 (NSE_FLOW__INITIALIZED):内部構造が処理可能です 0x00000004 (NSE_FLOW__INTERCEPT):SSL セッションが代行受信されました
文字列ブロックタイプ	uint32	<p>SSL サーバ名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。</p>

表 B-34 接続統計データブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	SSL サーバ名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および SSL サーバ名フィールドのバイト数を含む)。
SSL サーバ名	string	SSL Client Hello でサーバ名に指定された名前。
SSL URL カテゴリ	uint32	サーバ名と証明書の共通名から識別されるフローのカテゴリ。
SSL セッション ID	uint8[32]	クライアントとサーバがセッションの再利用に同意する場合に、SSL ハンドシェイク時に使用されるセッション ID の値
SSL セッション ID の長さ	uint8	SSL セッション ID の長さ。セッション ID は 32 バイトより長くすることはできませんが、32 バイト未満にすることはできません。
SSL チケット ID	uint8[20]	クライアントとサーバがセッション チケットの使用に同意する場合に使用されるセッション チケットのハッシュ。
SSL チケット ID の長さ	uint8	SSL チケット ID の長さ。チケット ID は 20 バイトより長くすることはできませんが、20 バイト未満であってもかまいません。
ネットワーク分析ポリシー リビジョン	uint8[16]	接続イベントに関連付けられているネットワーク分析ポリシーのリビジョン。

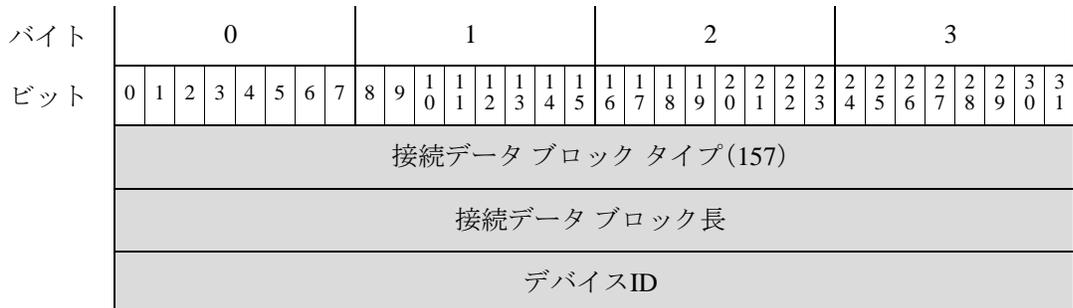
接続統計データブロック 5.4.1

接続統計データブロックは、接続データメッセージで使用されます。接続統計データブロック 5.4 には、いくつかの新しいフィールドが追加されました。SSL 接続、HTTP リダイレクション、およびネットワーク分析ポリシーをサポートするためのフィールドが追加されています。バージョン 5.4+ の接続統計データブロックは、シリーズ 1 グループのブロックの、ブロックタイプ 157 です。これにより、ブロックタイプ 155(接続統計データブロック 5.3.1(B-161 ページ))は廃止されます。

接続イベントレコードを要求するには、イベントバージョン 12 およびイベントコード 71 の要求メッセージ内に、拡張イベントフラグ(要求フラグフィールドのビット 30)を設定します。要求フラグ(2-12 ページ)を参照してください。ビット 23 を有効にすると、拡張イベントヘッダーがレコードに含まれます。

接続統計データメッセージの詳細については、接続統計データメッセージ(4-54 ページ)を参照してください。

次の図は、接続統計データブロック 5.4+の形式を示しています。



バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
入力ゾーン																																
入力ゾーン(続き)																																
入力ゾーン(続き)																																
入力ゾーン(続き)																																
出力ゾーン																																
出力ゾーン(続き)																																
出力ゾーン(続き)																																
出力ゾーン(続き)																																
入力インターフェイス																																
入力インターフェイス(続き)																																
入力インターフェイス(続き)																																
入力インターフェイス(続き)																																
出力インターフェイス																																
出力インターフェイス(続き)																																
出力インターフェイス(続き)																																
出力インターフェイス(続き)																																
イニシエータ IP アドレス																																
イニシエータ IP アドレス(続き)																																
イニシエータ IP アドレス(続き)																																
イニシエータ IP アドレス(続き)																																
レスポнда IP アドレス																																
レスポнда IP アドレス(続き)																																
レスポнда IP アドレス(続き)																																
レスポнда IP アドレス(続き)																																
ポリシー リビジョン																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ルール ID																															
	ルール アクション																ルールの理由															
	イニシエータ ポート																レスポнда ポート															
	TCP フラグ																プロトコル								NetFlow ソース							
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																															
	NetFlow ソース(続き)																								インスタンス ID							
	インスタンス ID (続き)								接続数カウンタ																最初のパケットの時刻							
	最初のパケットのタイムスタンプ(続き)																								最終パケットの時刻							
	最終パケットのタイムスタンプ(続き)																								イニシエータ送信パケット数							
	イニシエータ送信パケット数(続き)																															
	イニシエータ送信パケット数(続き)																								レスポнда Tx パケット							
	レスポнда送信パケット数(続き)																															
	レスポнда送信パケット数(続き)																								イニシエータ送信バイト数							
	イニシエータ送信バイト数(続き)																															
	イニシエータ送信バイト数(続き)																								レスポнда Tx バイト							
	レスポнда送信バイト数(続き)																															
	レスポнда送信バイト数(続き)																								ユーザ ID							

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ユーザ ID (続き)																アプリケーションプロトコル ID															
	アプリケーションプロトコル ID (続き)																URL カテゴリ															
	URL カテゴリ (続き)																URLレピュテーション															
	URLレピュテーション (続き)																クライアントアプリケーション ID															
	クライアントアプリケーション ID (続き)																Web アプリケーション ID															
クライアント URL	Web アプリケーション ID (続き)																文字列ブロックタイプ (0)															
	文字列ブロックタイプ (続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長 (続き)																クライアントアプリケーション URL...															
NetBIOS 名	文字列ブロックタイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名...																															
クライアントアプリケーションバージョン	文字列ブロックタイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	クライアントアプリケーションバージョン...																															
	モニタ ルール 1																															
	モニタ ルール 2																															
	モニタ ルール 3																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット																																
	モニタ ルール 4																															
	モニタ ルール 5																															
	モニタ ルール 6																															
	モニタ ルール 7																															
	モニタ ルール 8																															
	秒開始送信元/ 宛先								秒イニシエー タ層								ファイルイベント カウント															
	侵入イベント カウント																イニシエータの国															
	レスポндаの国																IOC 番号															
	送信元自律システム																															
	宛先自律システム																															
	SNMP 入力																SNMP 出力															
	送信元 TOS								宛先 TOS								送信元マスク								宛先マスク							
	セキュリティ コンテキスト																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
参照ホスト	VLAN ID																文字列ブロック タイプ(0)															
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																参照ホスト...															
ト ン ジェ ー ユ ー ザ コ ー ド	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ エージェント...																															

バイト	0							1							2							3										
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
HTTP リファラ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	HTTP リファラ...																															
	SSL 証明書フィンガープリント																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL ポリシー ID																															
	SSL ポリシー ID(続き)																															
	SSL ポリシー ID(続き)																															
	SSL ポリシー ID(続き)																															
	SSL ルール ID																															
	SSL 暗号スイート															SSL バージョン							SSL キー証明書 統計									
	SSL キー証明書 統計(続き)							実際の SSL アクション														予期された SSL アクション										
予期された SSL アクシ ョン(続き)							SSL フロー ステータス														SSL フロー エ ラー											
SSL フロー エラー(続き)															SSL フロー メッ セージ																	
SSL フロー メッセージ(続き)															SSL フロー フラ グ																	
SSL フロー フラグ(続き)																																

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
SSL サーバ名	SSL フローフラグ (続き)																								文字列ブロック タイプ(0)							
	文字列ブロック タイプ(0) (続き)																								文字列ブロッ ク長							
	文字列ブロック長 (続き)																								SSL サーバ名...							
SSL URL カテゴリ																																
SSL セッション ID																																
SSL セッション ID (続き)																																
SSL セッション ID (続き)																																
SSL セッション ID (続き)																																
SSL セッション ID (続き)																																
SSL セッション ID (続き)																																
SSL セッション ID (続き)																																
SSL セッション ID (続き)																																
SSL セッション ID (続き)																																
SSL セッション ID の長さ								SSL チケット ID																								
SSL チケット ID (続き)																																
SSL チケット ID (続き)																																
SSL チケット ID (続き)																																
SSL チケット ID (続き)																																
SSL チケット ID (続き)								SSL チケット ID の長さ								ネットワーク分析ポリシー リビジョン																
ネットワーク分析ポリシー リビジョン (続き)																																
ネットワーク分析ポリシー リビジョン (続き)																																
ネットワーク分析ポリシー リビジョン (続き)																																
ネットワーク分析ポリシー リビジョ ン (続き)																																

次の表は、接続統計データ ブロック 5.4+のフィールドについての説明です。

表 B-35 接続統計データ ブロック 5.4+のフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
接続統計データ ブロック タイプ	uint32	接続統計データ ブロック 5.4+を開始します。値は常に 157 です。
接続統計データ ブロック 長	uint32	接続統計データ ブロックのバイト数(接続統計ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続データのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	接続イベントを検出したデバイス。
入力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの入力セキュリティゾーン。
出力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの出力セキュリティゾーン。
入力インターフェイス	uint8[16]	着信トラフィックのインターフェイス。
出力インターフェイス	uint8[16]	発信トラフィックのインターフェイス。
イニシエータ IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、接続イベントを記述するセッションを開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、開始ホストに回答したホストの IP アドレス。
ポリシー リビジョン	uint8[16]	トリガーされた関連イベントに関連付けられているルールのリビジョン番号(該当する場合)。
ルール ID	uint32	イベントをトリガーしたルールの内部 ID(該当する場合)。
ルール アクション	uint16	そのルールに対してユーザ インターフェイスで選択されたアクション(allow、block など)。
ルールの理由	uint16	イベントをトリガーしたルールの理由。
イニシエータ ポート	uint16	開始ホストにより使用されるポート。
レスポнда ポート	uint16	応答ホストにより使用されるポート。
TCP フラグ	uint16	接続イベントのすべての TCP フラグを示します。
プロトコル	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。
NetFlow ソース	uint8[16]	接続のデータをエクスポートした NetFlow 対応デバイスの IP アドレス。
インスタンス ID	uint16	イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
最初のパケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最初のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
最終パケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最後のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。

表 B-35 接続統計データブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
イニシエータ送信パケット数	uint64	開始ホストからの送信パケット数。
レスポнда送信パケット数	uint64	応答ホストが送信したパケット数。
イニシエータ送信バイト数	uint64	開始ホストからの送信バイト数。
レスポнда送信バイト数	uint64	応答ホストから送信バイト数。
ユーザ ID	uint32	トラフィックを生成したホストの最終ログイン ユーザの内部 ID 番号。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルのアプリケーション ID。
URL カテゴリ	uint32	URL カテゴリの内部 ID 番号。
URLレピュテーション	uint32	URL レピュテーションの内部 ID 番号。
クライアントアプリケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびクライアントアプリケーション URL 文字列のバイト数を含む)。
クライアントアプリケーション URL	string	クライアントアプリケーションがアクセスする URL (該当する場合) (/files/index.html など)。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
クライアントアプリケーションバージョン	string	クライアントアプリケーションバージョン。

表 B-35 接続統計データ ブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
モニタ ルール 1	uint32	接続イベントに関連付けられている 1 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 2	uint32	接続イベントに関連付けられている 2 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 3	uint32	接続イベントに関連付けられている 3 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 4	uint32	接続イベントに関連付けられている 4 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 5	uint32	接続イベントに関連付けられている 5 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 6	uint32	接続イベントに関連付けられている 6 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 7	uint32	接続イベントに関連付けられている 7 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 8	uint32	接続イベントに関連付けられている 8 番目のモニタ ルールの ID。
セキュリティ インテリジェンス送信元/宛先	uint8	送信元または宛先の IP アドレスを IP ブラックリストに突き合わせるかどうか。
セキュリティ インテリジェンス層	uint8	IP ブラックリストに一致した IP 層。
ファイル イベント カウント	uint16	同じ秒で発生するファイル イベントを区別するために使用される値。
侵入イベント カウント	uint16	同じ秒で発生する侵入イベントを区別するために使用される値。
イニシエータの国	uint16	開始ホストの国のコード。
レスポндаの国	uint16	応答ホストの国のコード。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。
送信元自律システム	uint32	送信元の自律システム番号、起点またはピア。
宛先自律システム	uint32	宛先の自律システム番号、起点またはピア。
SNMP 入力	uint16	入力インターフェイスの SNMP インデックス。
SNMP 出力	uint16	出力インターフェイスの SNMP インデックス
送信元 TOS	uint8	着信インターフェイス用のタイプ オブ サービス バイト設定。
宛先 TOS	uint8	発信インターフェイス用のタイプ オブ サービス バイト設定。
送信元マスク	uint8	送信元アドレス プレフィックス マスク。
宛先マスク	uint8	宛先アドレス プレフィックス マスク。
セキュリティ コンテキスト	uint8(16)	トラフィックが通過したセキュリティ コンテキスト(仮想ファイアウォール)の ID 番号。マルチコンテキスト モードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。

表 B-35 接続統計データブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
VLAN ID	uint16	ホストがメンバーである VLAN を示す VLAN ID 番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	参照ホストを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	参照ホスト文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および参照ホストフィールドのバイト数を含む)。
参照ホスト	string	HTTP または DNS で提供されるホスト名情報。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザエージェントを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザエージェント文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびユーザエージェントフィールドのバイト数を含む)。
ユーザエージェント	string	セッションのユーザエージェントヘッダーフィールドからの情報。
文字列ブロックタイプ	uint32	HTTP リファラを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	HTTP リファラ文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および HTTP リファラフィールドのバイト数を含む)。
HTTP リファラ	string	ページの発生元のサイト。これは HTTP トラフィック内の参照ヘッダー情報にあります。
SSL 証明書フィンガープリント	uint8[20]	SSL サーバ証明書の SHA1 ハッシュ。
SSL ポリシー ID	uint8[16]	接続を処理した SSL ポリシーの ID 番号。
SSL ルール ID	uint32	接続を処理した SSL ルールまたはデフォルトアクションの ID 番号。
SSL 暗号スイート	uint16	SSL 接続で使用される暗号スイート。値は 10 進形式で保存されます。値により指定されている暗号スイートの詳細については、 www.iana.org/assignments/tls-parameters/tls-parameters.xhtml を参照してください。
SSL バージョン	uint8	接続の暗号化に使用された SSL または TLS プロトコルバージョン。

表 B-35 接続統計データ ブロック 5.4+ のフィールド (続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL サーバ証明書ステータス	uint16	<p>SSL 証明書のステータス。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 (チェックなし): サーバ証明書のステータスは評価されませんでした。 1 (不明): サーバ証明書のステータスは判別できませんでした。 2 (有効): サーバ証明書は有効です。 4 (自己署名済み): サーバ証明書は自己署名です。 16 (無効な発行者): サーバ証明書に無効な発行者があります。 32 (無効な署名): サーバ証明書に無効な署名があります。 64 (期限切れ): サーバ証明書は期限切れです。 128 (まだ有効でない): サーバ証明書はまだ有効ではありません。 256 (取り消し): サーバ証明書は取り消されました。
実際の SSL アクション	uint16	<p>SSL ルールに基づいて接続に対して実行されたアクション。ルールに指定されているアクションが不可能なことがあるため、これは予期していたアクションとは異なることがあります。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0: 「不明」 1: 「復号しない」 2: 「ブロックする」 3: 「リセットでブロック」 4: 「復号(既知のキー)」 5: 「復号(置換キー)」 6: 「復号(Resign)」
予期された SSL アクション	uint16	<p>SSL ルールに基づいて接続に対して実行する必要があるアクション。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0: 「不明」 1: 「復号しない」 2: 「ブロックする」 3: 「リセットでブロック」 4: 「復号(既知のキー)」 5: 「復号(置換キー)」 6: 「復号(Resign)」

表 B-35 接続統計データブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL フロー ステータス	uint16	<p>SSL フローのステータス。アクションが実行された理由、またはエラー メッセージが出された理由を示す値です。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0:「不明」 • 1:「一致しない」 • 2:「成功」 • 3:「キャッシュされていないセッション」 • 4:「不明の暗号化スイート」 • 5:「サポートされていない暗号スイート」 • 6:「サポートされていない SSL バージョン」 • 7:「使用される SSL 圧縮」 • 8:「パッシブ モードで復号不可のセッション」 • 9:「ハンドシェイク エラー」 • 10:「復号エラー」 • 11:「保留中のサーバ名カテゴリ ルックアップ」 • 12:「保留中の共通名カテゴリ ルックアップ」 • 13:「内部エラー」 • 14:「使用できないネットワーク パラメータ」 • 15:「無効なサーバの証明書の処理」 • 16:「サーバ証明書フィンガープリントが使用不可」 • 17:「サブジェクト DN をキャッシュできません」 • 18:「発行者 DN をキャッシュできません」 • 19:「不明な SSL バージョン」 • 20:「外部証明書のリストが使用できません」 • 21:「外部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 22:「内部証明書リストが無効」 • 23:「内部証明書のリストが使用できません」 • 24:「内部証明書が使用できません」 • 25:「内部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 26:「サーバ証明書の検証が使用できません」 • 27:「サーバ証明書の検証エラー」 • 28:「無効な操作」
SSL フロー エラー	uint32	<p>詳細な SSL エラー コード。これらの値はサポート目的で必要とされる場合があります。</p>

表 B-35 接続統計データブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL フロー メッセージ	uint32	<p>SSL ハンドシェイク時にクライアントとサーバとの間で交換されたメッセージ。詳細については、http://tools.ietf.org/html/rfc5246 を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x00000001:NSE_MT__HELLO_REQUEST 0x00000002:NSE_MT__CLIENT_ALERT 0x00000004:NSE_MT__SERVER_ALERT 0x00000008:NSE_MT__CLIENT_HELLO 0x00000010:NSE_MT__SERVER_HELLO 0x00000020:NSE_MT__SERVER_CERTIFICATE 0x00000040:NSE_MT__SERVER_KEY_EXCHANGE 0x00000080:NSE_MT__CERTIFICATE_REQUEST 0x00000100:NSE_MT__SERVER_HELLO_DONE 0x00000200:NSE_MT__CLIENT_CERTIFICATE 0x00000400:NSE_MT__CLIENT_KEY_EXCHANGE 0x00000800:NSE_MT__CERTIFICATE_VERIFY 0x00001000: NSE_MT__CLIENT_CHANGE_CIPHER_SPEC 0x00002000:NSE_MT__CLIENT_FINISHED 0x00004000: NSE_MT__SERVER_CHANGE_CIPHER_SPEC 0x00008000:NSE_MT__SERVER_FINISHED 0x00010000:NSE_MT__NEW_SESSION_TICKET 0x00020000:NSE_MT__HANDSHAKE_OTHER 0x00040000:NSE_MT__APP_DATA_FROM_CLIENT 0x00080000:NSE_MT__APP_DATA_FROM_SERVER
SSL フロー フラグ	uint64	<p>暗号化接続のデバッグ レベル フラグ。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x00000001 (NSE_FLOW__VALID):他のフィールドを有効にするために設定する必要があります 0x00000002 (NSE_FLOW__INITIALIZED):内部構造が処理可能です 0x00000004 (NSE_FLOW__INTERCEPT):SSL セッションが代行受信されました
文字列ブロック タイプ	uint32	<p>SSL サーバ名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。</p>

表 B-35 接続統計データブロック 5.4+のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	SSL サーバ名文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロック タイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、および SSL サーバ名フィールドのバイト数を含む)。
SSL サーバ名	string	SSL Client Hello でサーバ名に指定された名前。
SSL URL カテゴリ	uint32	サーバ名と証明書の共通名から識別されるフローのカテゴリ。
SSL セッション ID	uint8[32]	クライアントとサーバがセッションの再利用に同意する場合に、SSL ハンドシェイク時に使用されるセッション ID の値
SSL セッション ID の長さ	uint8	SSL セッション ID の長さ。セッション ID は 32 バイトより長くすることはできませんが、32 バイト未満にすることはできません。
SSL チケット ID	uint8[20]	クライアントとサーバがセッション チケットの使用に同意する場合に使用されるセッション チケットのハッシュ。
SSL チケット ID の長さ	uint8	SSL チケット ID の長さ。チケット ID は 20 バイトより長くすることはできませんが、20 バイト未満であってもかまいません。
ネットワーク分析ポリシー リビジョン	uint8[16]	接続イベントに関連付けられているネットワーク分析ポリシーのリビジョン。

接続統計データブロック 6.0.x

接続統計データブロックは、接続データ メッセージで使用されます。接続統計データブロック 6.0 には、いくつかの新しいフィールドが追加されました。ISE 統合および複数ネットワーク マップをサポートするために、フィールドが追加されました。バージョン 6.0.x の接続統計データブロックは、シリーズ 1 グループのブロックの、ブロック タイプ 160 です。これはブロック タイプ 157(接続統計データブロック 5.4.1 (B-183 ページ)) に取って代わります。DNS ルックアップとセキュリティ インテリジェンスをサポートするため新しいフィールドを追加しました。

接続イベント レコードは、要求メッセージにイベント バージョン 14 とイベント コード 71 とともに拡張イベント フラグを設定して要求します。要求フラグ(2-12 ページ)を参照してください。ビット 23 を有効にすると、拡張イベント ヘッダーがレコードに含まれます。

次の図は、接続統計データ ブロック 6.0.x の形式を示しています。

7



バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	入力ゾーン(続き)																															
	入力ゾーン(続き)																															
	出力ゾーン																															
	出力ゾーン(続き)																															
	出力ゾーン(続き)																															
	出力ゾーン(続き)																															
	入力インターフェイス																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	入力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	出力インターフェイス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	イニシエータ IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	レスポнда IP アドレス(続き)																															
	ポリシー リビジョン																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															
	ポリシー リビジョン(続き)																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ポリシー リビジョン(続き)																																
ルール ID																																
ルールアクション																ルールの理由																
ルールの理由(続き)																イニシエータ ポート																
レスポнда ポート																TCP フラグ																
プロトコル								NetFlow ソース																								
								NetFlow ソース(続き)																								
								NetFlow ソース(続き)																								
								NetFlow ソース(続き)																								
NetFlow ソース(続き)								インスタンス ID																接続数カウンタ								
接続数カウンタ(続き)								最初のパケット タイムスタンプ																								
最初のパケット タイムスタンプ(続き)								最終パケット タイムスタンプ																								
最終パケット タイムスタンプ(続き)								イニシエータ送信パケット数																								
								イニシエータ送信パケット数(続き)																								
イニシエータ送信パケット数(続き)								レスポнда送信パケット数																								
								レスポнда送信パケット数(続き)																								
レスポнда送信パケット数(続き)								イニシエータ送信バイト数																								
								イニシエータ送信バイト数(続き)																								
イニシエータ送信バイト数(続き)								レスポнда送信バイト数																								
								レスポнда送信バイト数(続き)																								

バイト	0							1							2							3																
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
	レスポンス送信 バイト数(続き)							ユーザ ID																														
	ユーザ ID(続き)							アプリケーションプロトコル ID																														
	アプリケーションプロトコル ID (続き)							URL カテゴリ																														
	URL カテゴリ (続き)							URLレピュテーション																														
	URL レピュテー ション(続き)							クライアントアプリケーション ID																														
	クライアントア プリケーション ID(続き)							Web アプリケーション ID																														
クライアント URL	Web アプリケー ション ID(続き)							Stringブロック タイプ(0)																														
	文字列ブロック タイプ(続き)							文字列ブロック長																														
	文字列ブロック 長(続き)							クライアントアプリケーションURL...																														
NetBIOS 名	文字列ブロック タイプ(0)																																					
	文字列ブロック長																																					
	NetBIOS 名...																																					
クライアント アプリケーションバージョン	文字列ブロック タイプ(0)																																					
	文字列ブロック長																																					
	クライアントアプリケーションバージョン...																																					
	モニタ ルール 1																																					
	モニタ ルール 2																																					

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	モニタールール 3																															
	モニタールール 4																															
	モニタールール 5																															
	モニタールール 6																															
	モニタールール 7																															
	モニタールール 8																															
	秒開始送信元/宛先								秒イニシエータ層								ファイル イベント カウント															
	侵入イベント カウント																イニシエータの国															
	レスポндаの国																IOC 番号															
	送信元自律システム																															
	宛先自律システム																															
	SNMP 入力																SNMP 出力															
	送信元 TOS								宛先 TOS								送信元マスク								宛先マスク							
	セキュリティ コンテキスト																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
参照ホスト	VLAN ID																文字列ブロック タイプ(0)															
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																参照ホスト...															
ト ン ジェ ー エ コ ユ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	ユーザ エージェント...																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
HTTP リファラ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	HTTP リファラ...																															
	SSL 証明書フィンガープリント																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL 証明書フィンガープリント(続き)																															
	SSL ポリシー ID																															
	SSL ポリシー ID(続き)																															
	SSL ポリシー ID(続き)																															
	SSL ポリシー ID(続き)																															
	SSL ルール ID																															
SSL 暗号スイート																SSL バージョン								SSL キー証明書 統計								
SSL キー証明書 統計(続き)								実際の SSL アクション																予期された SSL アクション								
予期された SSL アクショ ン(続き)								SSL フロー ステータス																SSL フロー エ ラー								
SSL フロー エラー(続き)																SSL フロー メッ セージ																
SSL フロー メッセージ(続き)																SSL フロー フラ グ																
SSL フロー フラグ(続き)																																

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
SSL サーバ名	SSL フロー フラグ(続き)																								文字列ブロック タイプ(0)							
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)																								文字列ブロッ ク長							
	文字列ブロック長(続き)																								SSL サーバ名...							
SSL URL カテゴリ																																
SSL セッション ID																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID(続き)																																
SSL セッション ID の長さ								SSL チケット ID																								
SSL チケット ID(続き)																																
SSL チケット ID(続き)																																
SSL チケット ID(続き)																																
SSL チケット ID(続き)																																
SSL チケット ID (続き)								SSL チケット ID の長さ								ネットワーク分析ポリシー リビジョン																
ネットワーク分析ポリシー リビジョン(続き)																																
ネットワーク分析ポリシー リビジョン(続き)																																
ネットワーク分析ポリシー リビジョン(続き)																																
ネットワーク分析ポリシー リビジョ ン(続き)																								エンドポイント プロファイル ID								

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	エンドポイントプロファイル ID (続き)																セキュリティグループ ID															
	セキュリティグループ ID (続き)																ロケーション IPv6															
	ロケーション IPv6 (続き)																ロケーション IPv6 (続き)															
	ロケーション IPv6 (続き)																ロケーション IPv6 (続き)															
	ロケーション IPv6 (続き)																ロケーション IPv6 (続き)															
	ロケーション IPv6 (続き)																HTTP レスポンス															
	HTTP レスポンス (続き)																文字列ブロック タイプ (0)															
	文字列ブロック タイプ (0) (続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長 (続き)																DNS クエリ...															
	DNS レコード タイプ																DNS レスポンス タイプ															
	DNS TTL																															
	シンクホール UUID																															
	シンクホール UUID (続き)																															
	シンクホール UUID (続き)																															
	シンクホール UUID (続き)																															
	セキュリティインテリジェンス リスト 1																															
	セキュリティインテリジェンス リスト 2																															

次の表は、接続統計データブロック 6.0.x のフィールドについての説明です。

表 B-36 接続統計データブロック 6.0.x のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
接続統計データブロックタイプ	uint32	接続統計データブロック 6.0+を開始します。値は常に 160 です。
接続統計データブロック長	uint32	接続統計データブロックのバイト数(接続統計ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く接続データのバイト数を含む)。

表 B-36 接続統計データブロック 6.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
デバイスID	uint32	接続イベントを検出したデバイス。
入力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの入力セキュリティゾーン。
出力ゾーン	uint8[16]	ポリシー違反をトリガーしたイベントの出力セキュリティゾーン。
入力インターフェイス	uint8[16]	着信トラフィックのインターフェイス。
出力インターフェイス	uint8[16]	発信トラフィックのインターフェイス。
イニシエータ IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、接続イベントを記述するセッションを開始したホストの IP アドレス。
レスポнда IP アドレス	uint8[16]	IP アドレス オクテットの、開始ホストに応答したホストの IP アドレス。
ポリシー リビジョン	uint8[16]	トリガーされた関連イベントに関連付けられているルールのリビジョン番号(該当する場合)。
ルール ID	uint32	イベントをトリガーしたルールの内部 ID(該当する場合)。
ルール アクション	uint16	そのルールに対してユーザ インターフェイスで選択されたアクション(allow、block など)。
ルールの理由	uint32	イベントをトリガーしたルールの理由。
イニシエータ ポート	uint16	開始ホストにより使用されるポート。
レスポнда ポート	uint16	応答ホストにより使用されるポート。
TCP フラグ	uint16	接続イベントのすべての TCP フラグを示します。
プロトコル	uint8	IANA 指定のプロトコル番号。
NetFlow ソース	uint8[16]	接続のデータをエクスポートした NetFlow 対応デバイスの IP アドレス。
インスタンス ID	uint16	イベントを生成した管理対象デバイスの Snort インスタンスの数値 ID。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
最初のパケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最初のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
最終パケット タイムスタンプ	uint32	セッションで最後のパケットが交換された日時の UNIX タイムスタンプ。
イニシエータ送信パケット数	uint64	開始ホストからの送信パケット数。
レスポнда送信パケット数	uint64	応答ホストが送信したパケット数。
イニシエータ送信バイト数	uint64	開始ホストからの送信バイト数。

表 B-36 接続統計データ ブロック 6.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
レスポнда送信バイト数	uint64	応答ホストから送信バイト数。
ユーザ ID	uint32	トラフィックを生成したホストの最終ログインユーザの内部 ID 番号。
アプリケーションプロトコル ID	uint32	アプリケーションプロトコルのアプリケーション ID。
URL カテゴリ	uint32	URL カテゴリの内部 ID 番号。
URLレピュテーション	uint32	URL レピュテーションの内部 ID 番号。
クライアントアプリケーション ID	uint32	専用クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
Web アプリケーション ID	uint32	専用 Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーション URL の文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびクライアントアプリケーション URL 文字列のバイト数を含む)。
クライアントアプリケーション URL	string	クライアントアプリケーションがアクセスする URL (該当する場合) (/files/index.html など)。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	クライアントアプリケーションバージョンの文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、およびバージョンのバイト数を含む)。
クライアントアプリケーションバージョン	string	クライアントアプリケーションバージョン。
モニタ ルール 1	uint32	接続イベントに関連付けられている 1 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 2	uint32	接続イベントに関連付けられている 2 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 3	uint32	接続イベントに関連付けられている 3 番目のモニタ ルールの ID。

表 B-36 接続統計データブロック 6.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
モニタ ルール 4	uint32	接続イベントに関連付けられている 4 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 5	uint32	接続イベントに関連付けられている 5 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 6	uint32	接続イベントに関連付けられている 6 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 7	uint32	接続イベントに関連付けられている 7 番目のモニタ ルールの ID。
モニタ ルール 8	uint32	接続イベントに関連付けられている 8 番目のモニタ ルールの ID。
セキュリティ インテリジェンス送信元/宛先	uint8	送信元または宛先の IP アドレスを IP ブラックリストに突き合わせるかどうか。
セキュリティ インテリジェンス層	uint8	IP ブラックリストに一致した IP 層。
ファイル イベント カウント	uint16	同じ秒で発生するファイル イベントを区別するために使用される値。
侵入イベント カウント	uint16	同じ秒で発生する侵入イベントを区別するために使用される値。
イニシエータの国	uint16	開始ホストの国のコード。
レスポンドの国	uint 16	応答ホストの国のコード。
IOC 番号	uint16	このイベントに関連付けられている侵害 ID 番号。
送信元自律システム	uint32	送信元の自律システム番号、起点またはピア。
宛先自律システム	uint32	宛先の自律システム番号、起点またはピア。
SNMP 入力	uint16	入力インターフェイスの SNMP インデックス。
SNMP 出力	uint16	出力インターフェイスの SNMP インデックス
送信元 TOS	uint8	着信インターフェイス用のタイプ オブ サービス バイト設定。
宛先 TOS	uint8	発信インターフェイス用のタイプ オブ サービス バイト設定。
送信元マスク	uint8	送信元アドレス プレフィックス マスク。
宛先マスク	uint8	宛先アドレス プレフィックス マスク。
セキュリティ コンテキスト	uint8(16)	トラフィックが通過したセキュリティ コンテキスト(仮想ファイアウォール)の ID 番号。マルチコンテキストモードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。
VLAN ID	uint16	ホストがメンバーである VLAN を示す VLAN ID 番号。
文字列ブロック タイプ	uint32	参照ホストを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	参照ホスト文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダー フィールド用の 8 バイト、および参照ホスト フィールドのバイト数を含む)。

表 B-36 接続統計データブロック 6.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
参照ホスト	string	HTTP または DNS で提供されるホスト名情報。
文字列ブロックタイプ	uint32	ユーザ エージェントを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	ユーザ エージェント文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびユーザ エージェント フィールドのバイト数を含む)。
ユーザ エージェント	string	セッションのユーザ エージェント ヘッダー フィールドからの情報。
文字列ブロックタイプ	uint32	HTTP リファラを含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	HTTP リファラ文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および HTTP リファラ フィールドのバイト数を含む)。
HTTP リファラ	string	ページの発生元のサイト。これは HTTP トラフィック内の参照ヘッダー情報にあります。
SSL 証明書フィンガープリント	uint8[20]	SSL サーバ証明書の SHA1 ハッシュ。
SSL ポリシー ID	uint8[16]	接続を処理した SSL ポリシーの ID 番号。
SSL ルール ID	uint32	接続を処理した SSL ルールまたはデフォルトアクションの ID 番号。
SSL 暗号スイート	uint16	SSL 接続で使用される暗号スイート。値は 10 進形式で保存されます。値により指定されている暗号スイートの詳細については、 www.iana.org/assignments/tls-parameters/tls-parameters.xhtml を参照してください。
SSL バージョン	uint8	接続の暗号化に使用された SSL または TLS プロトコルバージョン。

表 B-36 接続統計データブロック 6.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL サーバ証明書ステータス	uint16	<p>SSL 証明書のステータス。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0(チェックなし):サーバ証明書のステータスは評価されませんでした。 1(不明):サーバ証明書のステータスは判別できませんでした。 2(有効):サーバ証明書は有効です。 4(自己署名済み):サーバ証明書は自己署名です。 16(無効な発行者):サーバ証明書に無効な発行者があります。 32(無効な署名):サーバ証明書に無効な署名があります。 64(期限切れ):サーバ証明書は期限切れです。 128(まだ有効でない):サーバ証明書はまだ有効ではありません。 256(取り消し):サーバ証明書は取り消されました。
実際の SSL アクション	uint16	<p>SSL ルールに基づいて接続に対して実行されたアクション。ルールに指定されているアクションが不可能なことがあるため、これは予期していたアクションとは異なることがあります。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0:「不明」 1:「復号しない」 2:「ブロックする」 3:「リセットでブロック」 4:「復号(既知のキー)」 5:「復号(置換キー)」 6:「復号(Resign)」
予期された SSL アクション	uint16	<p>SSL ルールに基づいて接続に対して実行する必要があるアクション。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0:「不明」 1:「復号しない」 2:「ブロックする」 3:「リセットでブロック」 4:「復号(既知のキー)」 5:「復号(置換キー)」 6:「復号(Resign)」

表 B-36 接続統計データ ブロック 6.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL フロー ステータス	uint16	<p>SSL フローのステータス。アクションが実行された理由、またはエラーメッセージが出された理由を示す値です。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0:「不明」 • 1:「一致しない」 • 2:「成功」 • 3:「キャッシュされていないセッション」 • 4:「不明の暗号化スイート」 • 5:「サポートされていない暗号スイート」 • 6:「サポートされていない SSL バージョン」 • 7:「使用される SSL 圧縮」 • 8:「パッシブ モードで復号不可のセッション」 • 9:「ハンドシェイク エラー」 • 10:「復号エラー」 • 11:「保留中のサーバ名カテゴリ ルックアップ」 • 12:「保留中の共通名カテゴリ ルックアップ」 • 13:「内部エラー」 • 14:「使用できないネットワーク パラメータ」 • 15:「無効なサーバの証明書の処理」 • 16:「サーバ証明書フィンガープリントが使用不可」 • 17:「サブジェクト DN をキャッシュできません」 • 18:「発行者 DN をキャッシュできません」 • 19:「不明な SSL バージョン」 • 20:「外部証明書のリストが使用できません」 • 21:「外部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 22:「内部証明書リストが無効」 • 23:「内部証明書のリストが使用できません」 • 24:「内部証明書が使用できません」 • 25:「内部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 26:「サーバ証明書の検証が使用できません」 • 27:「サーバ証明書の検証エラー」 • 28:「無効な操作」
SSL フロー エラー	uint32	<p>詳細な SSL エラー コード。これらの値はサポート目的で必要とされる場合があります。</p>

表 B-36 接続統計データブロック 6.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL フロー メッセージ	uint32	<p>SSL ハンドシェイク時にクライアントとサーバとの間で交換されたメッセージ。詳細については、http://tools.ietf.org/html/rfc5246 を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x00000001:NSE_MT__HELLO_REQUEST 0x00000002:NSE_MT__CLIENT_ALERT 0x00000004:NSE_MT__SERVER_ALERT 0x00000008:NSE_MT__CLIENT_HELLO 0x00000010:NSE_MT__SERVER_HELLO 0x00000020:NSE_MT__SERVER_CERTIFICATE 0x00000040:NSE_MT__SERVER_KEY_EXCHANGE 0x00000080:NSE_MT__CERTIFICATE_REQUEST 0x00000100:NSE_MT__SERVER_HELLO_DONE 0x00000200:NSE_MT__CLIENT_CERTIFICATE 0x00000400:NSE_MT__CLIENT_KEY_EXCHANGE 0x00000800:NSE_MT__CERTIFICATE_VERIFY 0x00001000: NSE_MT__CLIENT_CHANGE_CIPHER_SPEC 0x00002000:NSE_MT__CLIENT_FINISHED 0x00004000: NSE_MT__SERVER_CHANGE_CIPHER_SPEC 0x00008000:NSE_MT__SERVER_FINISHED 0x00010000:NSE_MT__NEW_SESSION_TICKET 0x00020000:NSE_MT__HANDSHAKE_OTHER 0x00040000:NSE_MT__APP_DATA_FROM_CLIENT 0x00080000:NSE_MT__APP_DATA_FROM_SERVER
SSL フロー フラグ	uint64	<p>暗号化接続のデバッグ レベル フラグ。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x00000001 (NSE_FLOW__VALID):他のフィールドを有効にするために設定する必要があります 0x00000002 (NSE_FLOW__INITIALIZED):内部構造が処理可能です 0x00000004 (NSE_FLOW__INTERCEPT):SSL セッションが代行受信されました
文字列ブロック タイプ	uint32	<p>SSL サーバ名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。</p>

表 B-36 接続統計データ ブロック 6.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	SSL サーバ名文字列データ ブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および SSL サーバ名フィールドのバイト数を含む)。
SSL サーバ名	string	SSL Client Hello でサーバ名に指定された名前。
SSL URL カテゴリ	uint32	サーバ名と証明書の共通名から識別されるフローのカテゴリ。
SSL セッション ID	uint8[32]	クライアントとサーバがセッションの再利用に同意する場合に、SSL ハンドシェイク時に使用されるセッション ID の値
SSL セッション ID の長さ	uint8	SSL セッション ID の長さ。セッション ID は 32 バイトより長くすることはできませんが、32 バイト未満にすることはできません。
SSL チケット ID	uint8[20]	クライアントとサーバがセッションチケットの使用に同意する場合に使用されるセッションチケットのハッシュ。
SSL チケット ID の長さ	uint8	SSL チケット ID の長さ。チケット ID は 20 バイトより長くすることはできませんが、20 バイト未満であってもかまいません。
ネットワーク分析ポリシー リビジョン	uint8[16]	接続イベントに関連付けられているネットワーク分析ポリシーのリビジョン。
エンドポイントプロファイル ID	uint32	ISE により識別される、接続エンドポイントで使用されるデバイスのタイプの ID 番号。この番号は DC ごとに固有であり、メタデータで解決します。
セキュリティグループ ID	uint32	ポリシーに基づいて ISE によりユーザに割り当てられた ID 番号。
ロケーション IPv6	uint8[16]	ISE と通信するインターフェイスの IP アドレス。IPv4 または IPv6 のアドレスを使用できます。
HTTP レスポンス	uint32	HTTP 要求の応答コード。
文字列ブロックタイプ	uint32	DNS クエリを含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、および DNS クエリ文字列のバイト数を含む)。
DNS クエリ	string	DNS サーバに送信されたクエリの内容。
DNS レコードタイプ	uint16	DNS レコードタイプの数値。

表 B-36 接続統計データブロック 6.0.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
DNS レスポンス タイプ	uint16	0(NoError):エラーなし 1(FormErr):フォーマット エラー 2(ServFail):サーバ障害 3(NXDomain):存在していないドメイン 4(NotImp):未実装 5(Refused):クエリ拒否 6(YXDomain):名前が存在してはならない状況で存在している 7(YXRRSet):RR セットが存在してはならない状況で存在している 8(NXRRSet):存在しているべき RR セットが存在していない 9(NotAuth):未承認 10(NotZone):名前がゾーンに含まれていない 16(BADSIG):TSIG 署名失敗 17(BADKEY):キーが認識されない 18(BADTIME):時間範囲外の署名 19(BADMODE):不適切な TKEY モード 20(BADNAME):重複するキー名 21(BADALG):サポートされていないアルゴリズム 22(BADTRUNC):不適切な切り捨て 3841(NXDOMAIN):ファイアウォールからの NXDOMAIN 応答 3842(SINKHOLE):ファイアウォールからのシンクホール応答
DNS TTL	uint32	DNS レスポンスの存続期間(秒単位)。
シンクホール UUID	uin8[16]	このシンクホール オブジェクトに関連付けられているリビジョン UUID。
セキュリティ インテリジェンス リスト 1	uint32	イベントに関連付けられているセキュリティ インテリジェンス リスト。これは、関連メタデータのセキュリティ インテリジェンス リストにマップされます。接続には、2つのセキュリティ インテリジェンス リストが関連付けられている場合があります。
セキュリティ インテリジェンス リスト 2	uint32	イベントに関連付けられているセキュリティ インテリジェンス リスト。これは、関連メタデータのセキュリティ インテリジェンス リストにマップされます。接続には、2つのセキュリティ インテリジェンス リストが関連付けられている場合があります。

レガシーファイルイベントのデータ構造

続くいくつかのトピックでは、他のレガシーファイルイベントデータの構造について説明します。

- [ファイルイベント 5.1.1.x \(B-214 ページ\)](#)
- [ファイルイベント 5.2.x \(B-218 ページ\)](#)
- [ファイルイベント 5.3 \(B-222 ページ\)](#)
- [ファイルイベント 5.3.1 \(B-229 ページ\)](#)
- [ファイルイベント 5.4.x \(B-235 ページ\)](#)
- [ファイルイベント SHA ハッシュ 5.1.1 ~ 5.2.x \(B-246 ページ\)](#)

ファイルイベント 5.1.1.x

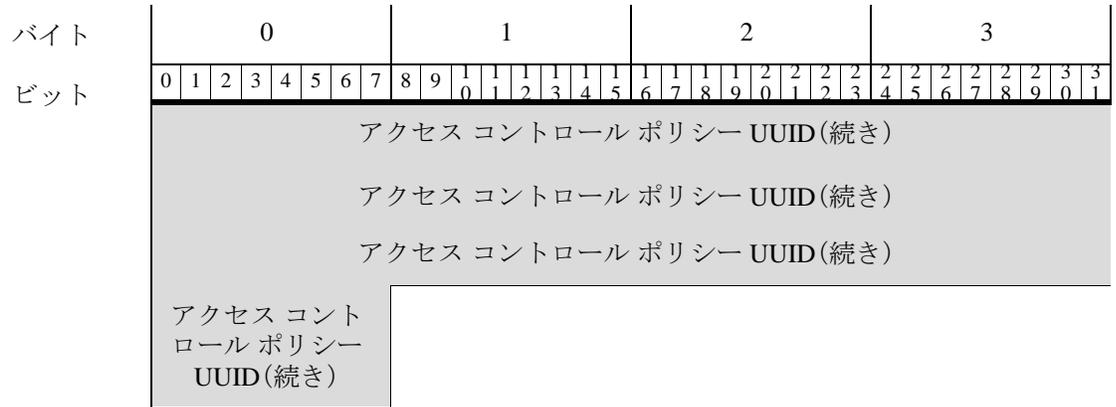
ファイルイベントには、ネットワークを介して送信されるファイルに関する情報が含まれています。これには、接続情報、ファイルがマルウェアであるかどうかの情報、およびファイルを識別するための固有情報が含まれています。ファイルイベントのブロックタイプは、シリーズ 2 グループのブロックの、ブロックタイプ 23 です。

次の図は、ファイルイベントデータブロックの構造を示しています。

バイト	0								1								2								3													
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7
	ファイルイベントブロックタイプ (23)																																					
	ファイルイベントブロック長																																					
	デバイス ID																																					
	接続インスタンス																接続数カウンタ																					
	接続タイムスタンプ																																					
	ファイルイベントタイムスタンプ																																					
	送信元 IP アドレス																																					
	送信元 IP アドレス (続き)																																					
	送信元 IP アドレス (続き)																																					
	送信元 IP アドレス (続き)																																					
	宛先 IP アドレス																																					
	宛先 IP アドレス (続き)																																					
	宛先 IP アドレス (続き)																																					
	宛先 IP アドレス (続き)																																					

バイト	0							1					2				3														
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
ビット	傾向							操作					SHA ハッシュ																		
								SHA ハッシュ (続き)																							
								SHA ハッシュ (続き)																							
								SHA ハッシュ (続き)																							
								SHA ハッシュ (続き)																							
								SHA ハッシュ (続き)																							
								SHA ハッシュ (続き)																							
								SHA ハッシュ (続き)																							
	SHA ハッシュ (続き)							ファイルタイプ ID																							
ファイル名	ファイルタイプ ID (続き)							文字列ブロック タイプ (0)																							
	文字列ブロック タイプ (0) (続き)							文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長 (続き)							ファイル名...																							
	ファイルサイズ																														
	ファイルサイズ (続き)																														
	方向							アプリケーション ID																							
	アプリケーション ID (続き)							ユーザ ID																							
URI	ユーザ ID (続き)							文字列ブロック タイプ (0)																							
	文字列ブロック タイプ (0) (続き)							文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長 (続き)							URI...																							
シグネチャ	文字列ブロック タイプ (0)																														
	文字列ブロック長																														
	署名...																														
	送信元ポート							接続先ポート																							
	プロトコル							アクセスコントロール ポリシー UUID																							

レガシーファイルイベントのデータ構造



次の表は、ファイルイベントデータブロックのフィールドについての説明です。

表 B-37 ファイルイベントデータブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ファイルイベントブロックタイプ	uint32	ファイルイベントデータブロックを開始します。この値は常に 23 です。
ファイルイベントブロック長	uint32	ファイルイベントブロックのバイトの合計数(ファイルイベントブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	イベントを生成したデバイスの ID。
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスの Snort インスタンス。接続または侵入イベントとイベントをリンクするために使用されます。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
接続タイムスタンプ	uint32	関連する接続イベントの UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの秒数)。
ファイルイベントタイムスタンプ	uint32	ファイルタイプが識別されてファイルイベントが生成されたときの UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの秒数)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。

表 B-37 ファイルイベントデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
傾向	uint8	<p>ファイルのマルウェア ステータス。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1(CLEAN): ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 2(UNKNOWN): ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 3(MALWARE): ファイルにはマルウェアが含まれています。 4(CACHE_MISS): ソフトウェアは Cisco クラウドに特性を確認する要求を送信できませんでした。 5(NO_CLOUD_RESP): Cisco クラウド サービスが要求に応答しませんでした。
操作	uint8	<p>ファイルタイプに基づいてファイルに対して実行されたアクション。次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: 検出 2: ブロック 3: マルウェア クラウド ルックアップ 4: マルウェア ブロック 5: マルウェア ホホワイトリスト
SHA ハッシュ	uint8[32]	バイナリ形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
ファイルタイプ ID	uint32	ファイルタイプにマップされている ID 番号。
ファイル名	string	ファイルの名前。
ファイルサイズ	uint64	ファイルのサイズ(バイト単位)。
方向	uint8	<p>ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示す値。次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: ダウンロード 2: アップロード <p>現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。</p>
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
URI	string	接続の Uniform Resource Identifier (URI)。
シグネチャ	string	文字列形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
送信元ポート	uint16	接続の送信元のポート番号。
接続先ポート	uint16	接続の宛先のポート番号。

表 B-37 ファイルイベントデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
プロトコル	uint8	ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 1:ICMP 4:IP 6:TCP 17:UDP これは現時点では TCP のみです。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーするアクセスコントロールポリシーの固有識別子。

ファイルイベント 5.2.x

ファイルイベントには、ネットワークを介して送信されるファイルに関する情報が含まれています。これには、接続情報、ファイルがマルウェアであるかどうかの情報、およびファイルを識別するための固有情報が含まれています。ファイルイベントのブロックタイプは、シリーズ 2 グループのブロックの、ブロックタイプ 32 です。これはブロックタイプ 23 に取って代わります。送信元と宛先の国、およびクライアントと Web アプリケーションインスタンスを追跡するために、新しいフィールドが追加されました。

次の図は、ファイルイベントデータブロックの構造を示しています。



バイト	0								1								2								3												
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6
ビット	宛先IPアドレス																																				
	宛先 IP アドレス(続き)																																				
	宛先 IP アドレス(続き)																																				
	宛先 IP アドレス(続き)																																				
	傾向								操作								SHA ハッシュ																				
	SHA ハッシュ(続き)																																				
	SHA ハッシュ(続き)																																				
	SHA ハッシュ(続き)																																				
	SHA ハッシュ(続き)																																				
	SHA ハッシュ(続き)																																				
	SHA ハッシュ(続き)																																				
	SHA ハッシュ(続き)																ファイルタイプ ID																				
ファイル名	ファイルタイプ ID(続き)																文字列ブロック タイプ(0)																				
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)																文字列ブロック長																				
	文字列ブロック長(続き)																ファイル名...																				
	ファイルサイズ																																				
	ファイルサイズ(続き)																																				
	方向								アプリケーション ID																												
	アプリケーション ID(続き)								ユーザ ID																												
URI	ユーザ ID(続き)								文字列ブロック タイプ(0)																												
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)								文字列ブロック長																												
	文字列ブロック長(続き)								URI...																												
シグネチャ	文字列ブロック タイプ(0)																																				
	文字列ブロック長																																				
	署名...																																				

レガシーファイルイベントのデータ構造

バイト	0								1								2								3													
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7
	送信元ポート																接続先ポート																					
	プロトコル								アクセスコントロールポリシー UUID																													
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																																					
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																																					
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)																																					
	アクセスコントロールポリシー UUID(続き)								送信元の国								宛先の国																					
	宛先の国(続き)								Web アプリケーション ID																													
	Web アプリケーション ID(続き)								クライアントアプリケーション ID																													
	クライアントアプリケーション ID(続き)																																					

次の表は、ファイルイベントデータブロックのフィールドについての説明です。

表 B-38 ファイルイベントデータブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ファイルイベントブロックタイプ	uint32	ファイルイベントデータブロックを開始します。この値は常に 23 です。
ファイルイベントブロック長	uint32	ファイルイベントブロックのバイトの合計数(ファイルイベントブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	イベントを生成したデバイスの ID。
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスの Snort インスタンス。接続または侵入イベントとイベントをリンクするために使用されます。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
接続タイムスタンプ	uint32	関連する接続イベントの UNIX タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
ファイルイベントタイムスタンプ	uint32	ファイルタイプが識別されてファイルイベントが生成されたときの UNIX タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。

表 B-38 ファイルイベントデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
傾向	uint8	<p>ファイルのマルウェアステータス。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1(CLEAN): ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 2(NEUTRAL): ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 3(MALWARE): ファイルにはマルウェアが含まれています。 4(CACHE_MISS): ソフトウェアから Cisco クラウドに対して、特性を確認する要求を送信できなかったか、または Cisco クラウドサービスが要求に応答しませんでした。
操作	uint8	<p>ファイルタイプに基づいてファイルに対して実行されたアクション。次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: 検出 2: ブロック 3: マルウェアクラウドルックアップ 4: マルウェアブロック 5: マルウェアホワイトリスト
SHA ハッシュ	uint8[32]	バイナリ形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
ファイルタイプ ID	uint32	ファイルタイプにマップされている ID 番号。
ファイル名	string	ファイルの名前。
ファイルサイズ	uint64	ファイルのサイズ(バイト単位)。
方向	uint8	<p>ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示す値。次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1: ダウンロード 2: アップロード <p>現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。</p>
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
URI	string	接続の Uniform Resource Identifier (URI)。
シグネチャ	string	文字列形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
送信元ポート	uint16	接続の送信元のポート番号。
接続先ポート	uint16	接続の宛先のポート番号。

表 B-38 ファイルイベント データ ブロックのフィールド(続き)

フィールド	データ タイプ	説明
プロトコル	uint8	ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 1:ICMP 4:IP 6:TCP 17:UDP これは現時点では TCP のみです。
アクセス コントロール ポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーするアクセス コントロール ポリシーの固有識別子。
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。
宛先の国	uint16	宛先ホストの国のコード。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアント アプリケーション ID	uint32	クライアント アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。

ファイルイベント 5.3

ファイル イベントには、ネットワークを介して送信されるファイルに関する情報が含まれています。これには、接続情報、ファイルがマルウェアであるかどうかの情報、およびファイルを識別するための固有情報が含まれています。ファイル イベントのブロック タイプは、シリーズ 2 グループのブロックの、ブロック タイプ 38 です。これはブロック タイプ 32 に取って代わります。新しいフィールドは、ダイナミック ファイル分析とファイル ストレージを追跡するために追加されました。

ファイル イベント レコードを要求するには、イベント バージョン 3 およびイベント コード 111 の要求メッセージ内に、ファイル イベント フラグ(要求フラグフィールドのビット 30)を設定します。[要求フラグ\(2-12 ページ\)](#)を参照してください。ビット 23 を有効にすると、拡張イベント ヘッダーがレコードに含まれます。

次の図は、ファイル イベント データ ブロックの構造を示しています。



バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	接続タイムスタンプ																															
	ファイルイベントタイムスタンプ																															
	送信元 IP アドレス 送信元 IP アドレス(続き) 送信元 IP アドレス(続き) 送信元 IP アドレス(続き)																															
	宛先 IP アドレス 宛先 IP アドレス(続き) 宛先 IP アドレス(続き) 宛先 IP アドレス(続き)																															
	傾向	SPERO 解析結果								ファイルスト レージステー タス								ファイル分析ス テータス														
	アーカイブ ファ イルステータス	脅威スコア								操作								SHA ハッシュ														
	SHA ハッシュ(続き) SHA ハッシュ(続き) SHA ハッシュ(続き) SHA ハッシュ(続き) SHA ハッシュ(続き) SHA ハッシュ(続き) SHA ハッシュ(続き)																															
	SHA ハッシュ(続き)																								ファイルタイプ ID							
ファイル名	ファイルタイプ ID(続き)																								文字列ブロック タイプ(0)							
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)																								文字列ブロッ ク長							
	文字列ブロック長(続き)																								ファイル名...							

レガシーファイルイベントのデータ構造

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ファイルサイズ																															
	ファイルサイズ(続き)																															
	方向								アプリケーション ID																							
	アプリケーション ID(続き)								ユーザ ID																							
URI	ユーザ ID(続き)								文字列ブロック タイプ(0)																							
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)								文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長(続き)								URI...																							
シグネチャ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	署名...																															
	送信元ポート																接続先ポート															
	プロトコル								アクセス コントロール ポリシー UUID																							
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)								送信元の国																宛先の国							
	宛先の国(続き)								Web アプリケーション ID																							
	Web アプリケーション ID(続き)								クライアント アプリケーション ID																							
	クライアント アプリケーション ID(続き)																															

次の表は、ファイル イベント データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-39 ファイルイベントデータブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ファイル イベント ブロックタイプ	uint32	ファイル イベント データ ブロックを開始します。この値は常に 23 です。
ファイル イベント ブロック長	uint32	ファイル イベント ブロックのバイトの合計数(ファイル イベント ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	イベントを生成したデバイスの ID。
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスの Snort インスタンス。接続または侵入イベントとイベントをリンクするために使用されます。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
接続タイムスタンプ	uint32	関連する接続イベントの UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの秒数)。
ファイル イベント タイムスタンプ	uint32	ファイルタイプが識別されてファイルイベントが生成されたときの UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの秒数)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先IPアドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。
傾向	uint8	ファイルのマルウェア ステータス。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 1(CLEAN): ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 2(UNKNOWN): ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 3(MALWARE): ファイルにはマルウェアが含まれています。 4(UNAVAILABLE): ソフトウェアから Cisco クラウドに対して、特性を確認する要求を送信できなかったか、または Cisco クラウド サービスが要求に応答しませんでした。 5(CUSTOM SIGNATURE): ファイルがユーザ定義のハッシュと一致するため、ユーザが指定した方法で処理されました。
SPERO 解析結果	uint8	SPERO 署名がファイル分析で使用されたかどうかを示します。値が 1、2、または 3 であれば、SPERO 分析は使用されました。それ以外の値であれば、SPERO 分析は使用されませんでした。

表 B-39 ファイルイベントデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ファイルストレージステータス	uint8	<p>ファイルの保存ステータス。値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1:ファイルが保存されました • 2:ファイルが保存されました • 3:ファイルを保存できません • 4:ファイルを保存できません • 5:ファイルを保存できません • 6:ファイルを保存できません • 7:ファイルを保存できません • 8:ファイルサイズが大きすぎます • 9:ファイルサイズが小さすぎます • 10:ファイルを保存できません • 11:ファイルは保存されておらず、解析結果を入手できません

表 B-39 ファイルイベント データ ブロックのフィールド(続き)

フィールド	データ タイプ	説明
ファイル分析ステータス	uint8	<p>ファイルが動的分析のために送信されているかどうかを示します。値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0: ファイルが分析のために送信されていません • 1: 分析のために送信されました • 2: 分析のために送信されました • 4: 分析のために送信されました • 5: 送信に失敗しました • 6: 送信に失敗しました • 7: 送信に失敗しました • 8: 送信に失敗しました • 9: ファイル サイズが小さすぎます • 10: ファイル サイズが大きすぎます • 11: 分析のために送信されました • 12: 分析が完了しました • 13: 失敗(ネットワークの問題) • 14: 失敗(レート制限) • 15: 失敗(ファイルが大きすぎます) • 16: 失敗(ファイルの読み取りエラー) • 17: 失敗(内部ライブラリ エラー) • 19: ファイルは送信されておらず、解析結果を入手できません • 20: 失敗(ファイルを実行できません) • 21: 失敗(分析タイムアウト) • 22: 分析のために送信されました • 23: サポートされていないファイル
アーカイブ ファイルステータス	uint8	この値は常に 0 です。
脅威スコア	uint8	動的分析中に観測された、悪意のある可能性がある振る舞いに基づく数値(0 ~ 100)。
操作	uint8	<p>ファイル タイプに基づいてファイルに対して実行されたアクション。次のいずれかの値になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1: 検出 • 2: ブロック • 3: マルウェア クラウドルックアップ • 4: マルウェア ブロック • 5: マルウェア ホワイトリスト
SHA ハッシュ	uint8[32]	バイナリ形式の SHA-256 ハッシュのファイル。

表 B-39 ファイルイベントデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ファイルタイプ ID	uint32	ファイルタイプにマップされている ID 番号。このフィールドの意味は、このイベントと一緒にメタデータで送信されます。詳細については、 AMP for Endpoints ファイルタイプのメタデータ (3-44 ページ) を参照してください。
ファイル名	string	ファイルの名前。
ファイルサイズ	uint64	ファイルのサイズ(バイト単位)。
方向	uint8	ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示す値。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> 1: ダウンロード 2: アップロード 現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
URI	string	接続の Uniform Resource Identifier (URI)。
シグネチャ	string	文字列形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
送信元ポート	uint16	接続の送信元のポート番号。
接続先ポート	uint16	接続の宛先のポート番号。
プロトコル	uint8	ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 1: ICMP 4: IP 6: TCP 17: UDP これは現時点では TCP のみです。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーするアクセスコントロールポリシーの固有識別子。
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。
宛先の国	uint16	宛先ホストの国のコード。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。

ファイルイベント 5.3.1

ファイル イベントには、ネットワークを介して送信されるファイルに関する情報が含まれています。これには、接続情報、ファイルがマルウェアであるかどうかの情報、およびファイルを識別するための固有情報が含まれています。ファイル イベントのブロック タイプは、シリーズ 2 グループのブロックの、ブロック タイプ 43 です。これはブロック タイプ 38 に取って代わります。セキュリティ コンテキスト フィールドが追加されました。

ファイル イベント レコードを要求するには、イベント バージョン 4 および イベント コード 111 の要求メッセージ内に、ファイル イベント フラグ (要求フラグ フィールドのビット 30) を設定します。[要求フラグ \(2-12 ページ\)](#) を参照してください。ビット 23 を有効にすると、拡張 イベント ヘッダーがレコードに含まれます。

次の図は、ファイル イベント データ ブロックの構造を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1
ファイル イベント ブロック タイプ (43)																																
ファイル イベント ブロック 長																																
デバイス ID																																
接続 インスタンス																接続 数 カウンタ																
接続 タイム スタンプ																																
ファイル イベント タイム スタンプ																																
送信元 IP アドレス																																
送信元 IP アドレス (続き)																																
送信元 IP アドレス (続き)																																
送信元 IP アドレス (続き)																																
宛先 IP アドレス																																
宛先 IP アドレス (続き)																																
宛先 IP アドレス (続き)																																
宛先 IP アドレス (続き)																																
傾向	SPERO 解析結果								ファイル スト レージ ステ ータス								ファイル 分析 ス テータス															
アーカイブ ファ イル ステータス	脅威スコア								操作								SHA ハッシュ															

レガシーファイルイベントのデータ構造

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット	SHA ハッシュ (続き)																															
	SHA ハッシュ (続き)																															
	SHA ハッシュ (続き)																															
	SHA ハッシュ (続き)																															
	SHA ハッシュ (続き)																															
	SHA ハッシュ (続き)																															
	SHA ハッシュ (続き)																															
	SHA ハッシュ (続き)																								ファイルタイプ ID							
ファイル名	ファイルタイプ ID (続き)																								文字列ブロックタイプ (0)							
	文字列ブロックタイプ (0) (続き)																								文字列ブロック長							
	文字列ブロック長 (続き)																								ファイル名...							
	ファイルサイズ																															
	ファイルサイズ (続き)																															
	方向								アプリケーション ID																							
	アプリケーション ID (続き)								ユーザ ID																							
URI	ユーザ ID (続き)								文字列ブロックタイプ (0)																							
	文字列ブロックタイプ (0) (続き)								文字列ブロック長																							
	文字列ブロック長 (続き)								URI...																							
シグネチャ	文字列ブロックタイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	署名...																															
	送信元ポート																接続先ポート															
	プロトコル								アクセスコントロールポリシー UUID																							

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)	送信元の国																宛先の国															
宛先の国(続き)	Web アプリケーション ID																															
Web アプリケーション ID(続き)	クライアント アプリケーション ID																															
クライアント アプリケーション ID(続き)	セキュリティ コンテキスト																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
	セキュリティ コンテキスト(続き)																															
セキュリティ コンテキスト(続き)																																

次の表は、ファイル イベント データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-40 ファイル イベント データ ブロックのフィールド

フィールド	データ タイプ	説明
ファイル イベント ブロック タイプ	uint32	ファイル イベント データ ブロックを開始します。この値は常に 43 です。
ファイル イベント ブロック長	uint32	ファイル イベント ブロックのバイトの合計数(ファイル イベント ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイス ID	uint32	イベントを生成したデバイスの ID。
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスの Snort インスタンス。接続または侵入イベントとイベントをリンクするために使用されます。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。

表 B-40 ファイルイベントデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
接続タイムスタンプ	uint32	関連する接続イベントの UNIX タイムスタンプ (1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
ファイルイベントタイムスタンプ	uint32	ファイルタイプが識別されてファイルイベントが生成されたときの UNIX タイムスタンプ (1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先 IP アドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。
傾向	uint8	<p>ファイルのマルウェア ステータス。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 (CLEAN): ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 • 2 (UNKNOWN): ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 • 3 (MALWARE): ファイルにはマルウェアが含まれています。 • 4 (UNAVAILABLE): ソフトウェアから Cisco クラウドに対して、特性を確認する要求を送信できなかったか、または Cisco クラウドサービスが要求に応答しませんでした。 • 5 (CUSTOM SIGNATURE): ファイルがユーザ定義のハッシュと一致するため、ユーザが指定した方法で処理されました。
SPERO 解析結果	uint8	SPERO 署名がファイル分析で使用されたかどうかを示します。値が 1、2、または 3 であれば、SPERO 分析は使用されました。それ以外の値であれば、SPERO 分析は使用されませんでした。
ファイルストレージステータス	uint8	<p>ファイルの保存ステータス。値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1: ファイルが保存されました • 2: ファイルが保存されました • 3: ファイルを保存できません • 4: ファイルを保存できません • 5: ファイルを保存できません • 6: ファイルを保存できません • 7: ファイルを保存できません • 8: ファイルサイズが大きすぎます • 9: ファイルサイズが小さすぎます • 10: ファイルを保存できません • 11: ファイルは保存されておらず、解析結果を入手できません

表 B-40 ファイルイベント データ ブロックのフィールド(続き)

フィールド	データ タイプ	説明
ファイル分析ステータス	uint8	<p>ファイルが動的分析のために送信されているかどうかを示します。値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0: ファイルが分析のために送信されていません • 1: 分析のために送信されました • 2: 分析のために送信されました • 4: 分析のために送信されました • 5: 送信に失敗しました • 6: 送信に失敗しました • 7: 送信に失敗しました • 8: 送信に失敗しました • 9: ファイル サイズが小さすぎます • 10: ファイル サイズが大きすぎます • 11: 分析のために送信されました • 12: 分析が完了しました • 13: 失敗(ネットワークの問題) • 14: 失敗(レート制限) • 15: 失敗(ファイルが大きすぎます) • 16: 失敗(ファイルの読み取りエラー) • 17: 失敗(内部ライブラリ エラー) • 19: ファイルは送信されておらず、解析結果を入力できません • 20: 失敗(ファイルを実行できません) • 21: 失敗(分析タイムアウト) • 22: 分析のために送信されました • 23: サポートされていないファイル • 23(ファイル送信によるファイル キャパシティの処理): 分析のためにファイルをサンドボックスに送信できなかったため、ファイル キャパシティが処理されました(センサーに保存) • 25(ファイル送信サーバ制限超過によるキャパシティの処理): サーバの速度制限が原因でファイル キャパシティが処理されました • 26(通信障害): クラウド接続失敗が原因でファイル キャパシティが処理されました • 27(未送信): 設定が原因でファイルは送信されていません。 • 28(事前分類の一致なし): 事前分類でファイル内に埋め込みオブジェクトまたは疑わしいオブジェクトが検出されなかったため、ファイルはダイナミック分析用に送信されませんでした • 29(Transmit Sent Sandbox Private Cloud): ダイナミック分析のためにファイルがプライベートクラウドに送信されました。 • 30(送信ボックスはプライベートクラウドに未送信): ファイルは分析のためにプライベートクラウドに送信されませんでした

表 B-40 ファイルイベントデータブロックのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
アーカイブファイルステータス	uint8	この値は常に 0 です。
脅威スコア	uint8	動的分析中に観測された、悪意のある可能性がある振る舞いに基づく数値(0 ~ 100)。
操作	uint8	ファイルタイプに基づいてファイルに対して実行されたアクション。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:検出 • 2:ブロック • 3:マルウェアクラウドルックアップ • 4:マルウェアブロック • 5:マルウェアホワイトリスト
SHA ハッシュ	uint8[32]	バイナリ形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
ファイルタイプ ID	uint32	ファイルタイプにマップされている ID 番号。このフィールドの意味は、このイベントと一緒にメタデータで送信されます。詳細については、 AMP for Endpoints ファイルタイプのメタデータ (3-44 ページ) を参照してください。
ファイル名	string	ファイルの名前。
ファイルサイズ	uint64	ファイルのサイズ(バイト単位)。
方向	uint8	ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示す値。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:ダウンロード • 2:アップロード 現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
URI	string	接続の Uniform Resource Identifier (URI)。
シグネチャ	string	文字列形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
送信元ポート	uint16	接続の送信元のポート番号。
接続先ポート	uint16	接続の宛先のポート番号。

表 B-40 ファイルイベントデータブロックのフィールド(続き)

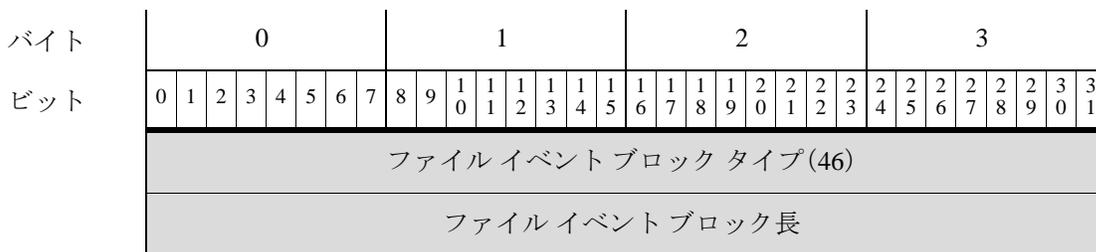
フィールド	データタイプ	説明
プロトコル	uint8	ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:ICMP • 4:IP • 6:TCP • 17:UDP これは現時点では TCP のみです。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーするアクセスコントロールポリシーの固有識別子。
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。
宛先の国	uint16	宛先ホストの国のコード。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
セキュリティコンテキスト	uint8(16)	トラフィックが通過したセキュリティコンテキスト(仮想ファイアウォール)の ID 番号。マルチコンテキストモードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。

ファイルイベント 5.4.x

ファイルイベントには、ネットワークを介して送信されるファイルに関する情報が含まれています。これには、接続情報、ファイルがマルウェアであるかどうかの情報、およびファイルを識別するための固有情報が含まれています。ファイルイベントのブロックタイプは、シリーズ 2 グループのブロックの、ブロックタイプ 46 です。これはブロックタイプ 43 に取って代わります。SSL とファイルアーカイブサポート用のフィールドが追加されました。

ファイルイベントレコードを要求するには、イベントバージョン 5 およびイベントコード 111 の要求メッセージ内に、ファイルイベントフラグ(要求フラグフィールドのビット 30)を設定します。[要求フラグ\(2-12 ページ\)](#)を参照してください。ビット 23 を有効にすると、拡張イベントヘッダーがレコードに含まれます。

次の図は、ファイルイベントデータブロックの構造を示しています。



レガシーファイルイベントのデータ構造

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
デバイスID																																
接続インスタンス																接続数カウンタ																
接続タイムスタンプ																																
ファイルイベントタイムスタンプ																																
送信元 IP アドレス																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
送信元 IP アドレス(続き)																																
宛先IPアドレス																																
宛先 IP アドレス(続き)																																
宛先 IP アドレス(続き)																																
宛先 IP アドレス(続き)																																
傾向	SPERO 解析結果								ファイルスト レージステー タス								ファイル分析ス テータス															
アーカイブ ファ イルステータス	脅威スコア								操作								SHA ハッシュ															
SHA ハッシュ(続き)																																
SHA ハッシュ(続き)																																
SHA ハッシュ(続き)																																
SHA ハッシュ(続き)																																
SHA ハッシュ(続き)																																
SHA ハッシュ(続き)																																
SHA ハッシュ(続き)																																
SHA ハッシュ(続き)																								ファイルタイプ ID								

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ファイル名	ファイルタイプ ID(続き)																								文字列ブロック タイプ(0)							
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)																								文字列ブロッ ク長							
	文字列ブロック長(続き)																								ファイル名...							
	ファイル サイズ ファイル サイズ(続き)																															
	方向								アプリケーション ID																							
	アプリケーション ID(続き)								ユーザ ID																							
URI	ユーザ ID(続き)								文字列ブロック タイプ(0)																							
	文字列ブロック タイプ(0)(続き)								文字列ブロック長																							
	文字列ブロック 長(続き)								URI...																							
シグネチャ	文字列ブロック タイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	署名...																															
	送信元ポート												接続先ポート																			
	プロトコル								アクセス コントロール ポリシー UUID																							
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コントロール ポリシー UUID(続き)																															
	アクセス コント ロール ポリシー UUID(続き)								送信元の国								宛先の国															
宛先の国(続き)								Web アプリケーション ID																								
Web アプリケー ションID(続き)								クライアント アプリケーション ID																								

レガシーファイルイベントのデータ構造

バイト	0								1								2								3														
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							
ビット	クライアントアプリケーション ID(続き)								セキュリティ コンテキスト																														
									セキュリティ コンテキスト(続き)																														
									セキュリティ コンテキスト(続き)																														
									セキュリティ コンテキスト(続き)																														
	セキュリティ コンテキスト (続き)								SSL 証明書フィンガープリント																														
									SSL 証明書フィンガープリント(続き)																														
									SSL 証明書フィンガープリント(続き)																														
									SSL 証明書フィンガープリント(続き)																														
									SSL 証明書フィンガープリント(続き)																														
	SSL 証明書フィンガープリント (続き)								実際の SSL アクション																SSL フローステータス														
アーカイブ SHA	SSL フローステータス(続き)								文字列ブロック タイプ(0)																														
	文字列ブロック タイプ(続き)								文字列の長さ																														
	文字列長さ (続き)								アーカイブ SHA...																														
アーカイブ名	文字列ブロック タイプ(0)																																						
	文字列ブロック長																																						
	アーカイブ名...																																						
	アーカイブ深度																																						

次の表は、ファイル イベント データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-41 ファイルイベントデータブロック 5.4.x のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ファイル イベント ブロックタイプ	uint32	ファイル イベント データ ブロックを開始します。この値は常に 46 です。
ファイル イベント ブロック長	uint32	ファイル イベント ブロックのバイトの合計数(ファイル イベント ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
デバイスID	uint32	イベントを生成したデバイスの ID。
接続インスタンス	uint16	イベントを生成したデバイスの Snort インスタンス。接続または侵入イベントとイベントをリンクするために使用されます。
接続数カウンタ	uint16	同じ秒の間に発生する接続イベントを区別するために使用される値。
接続タイムスタンプ	uint32	関連する接続イベントの UNIX タイムスタンプ (1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
ファイル イベント タイムスタンプ	uint32	ファイルタイプが識別されてファイルイベントが生成されたときの UNIX タイムスタンプ (1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
送信元 IP アドレス	uint8[16]	接続の送信元の IPv4 または IPv6 アドレス。
宛先IPアドレス	uint8[16]	接続の宛先の IPv4 または IPv6 アドレス。
傾向	uint8	ファイルのマルウェア ステータス。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 1 (CLEAN): ファイルはクリーンであり、マルウェアは含まれていません。 • 2 (UNKNOWN): ファイルにマルウェアが含まれているかどうかは不明です。 • 3 (MALWARE): ファイルにはマルウェアが含まれています。 • 4 (UNAVAILABLE): ソフトウェアから Cisco クラウドに対して、特性を確認する要求を送信できなかったか、または Cisco クラウド サービスが要求に応答しませんでした。 • 5 (CUSTOM SIGNATURE): ファイルがユーザ定義のハッシュと一致するため、ユーザが指定した方法で処理されました。
SPERO 解析結果	uint8	SPERO 署名がファイル分析で使用されたかどうかを示します。値が 1、2、または 3 であれば、SPERO 分析は使用されました。それ以外の値であれば、SPERO 分析は使用されませんでした。

表 B-41 ファイルイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ファイルストレージステータス	uint8	<p>ファイルの保存ステータス。値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1:ファイルが保存されました • 2:ファイルが保存されました • 3:ファイルを保存できません • 4:ファイルを保存できません • 5:ファイルを保存できません • 6:ファイルを保存できません • 7:ファイルを保存できません • 8:ファイルサイズが大きすぎます • 9:ファイルサイズが小さすぎます • 10:ファイルを保存できません • 11:ファイルは保存されておらず、解析結果を入力できません

表 B-41 ファイルイベント データ ブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データ タイプ	説明
ファイル分析ステータス	uint8	<p>ファイルが動的分析のために送信されているかどうかを示します。値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0: ファイルが分析のために送信されていません • 1: 分析のために送信されました • 2: 分析のために送信されました • 4: 分析のために送信されました • 5: 送信に失敗しました • 6: 送信に失敗しました • 7: 送信に失敗しました • 8: 送信に失敗しました • 9: ファイル サイズが小さすぎます • 10: ファイル サイズが大きすぎます • 11: 分析のために送信されました • 12: 分析が完了しました • 13: 失敗(ネットワークの問題) • 14: 失敗(レート制限) • 15: 失敗(ファイルが大きすぎます) • 16: 失敗(ファイルの読み取りエラー) • 17: 失敗(内部ライブラリ エラー) • 19: ファイルは送信されておらず、解析結果を入力できません • 20: 失敗(ファイルを実行できません) • 21: 失敗(分析タイムアウト) • 22: 分析のために送信されました • 23: サポートされていないファイル

表 B-41 ファイルイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
アーカイブファイルステータス	uint8	調査中のアーカイブのステータス。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> 0(N/A):ファイルがアーカイブとして検査されていません。 1:保留中。アーカイブは調査中です 2:取得済み。調査が問題なく正常に実行されました 3:失敗。システムのリソース不足のため調査に失敗しました。 4:深度の超過。調査は正常に実行されましたが、アーカイブがネストされた調査の深度を超過しました 5:暗号化。部分的に正常に実行されましたが、アーカイブが暗号化されているか、暗号化されたアーカイブが含まれています 6:調査できませんでした。部分的に正常に実行されましたが、ファイル形式が不正であるか破損しています
脅威スコア	uint8	動的分析中に観測された、悪意のある可能性がある振る舞いに基づく数値(0 ~ 100)。
操作	uint8	ファイルタイプに基づいてファイルに対して実行されたアクション。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> 1:検出 2:ブロック 3:マルウェアクラウドルックアップ 4:マルウェアブロック 5:マルウェアホワイトリスト 6:クラウドルックアップのタイムアウト 7:カスタム検出 8:カスタム検出ブロック 9:アーカイブブロック(深度超過) 10:アーカイブブロック(暗号化されている) 11:アーカイブブロック(調査エラー)
SHA ハッシュ	uint8[32]	バイナリ形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
ファイルタイプ ID	uint32	ファイルタイプにマップされている ID 番号。このフィールドの意味は、このイベントと一緒にメタデータで送信されます。詳細については、 AMP for Endpoints ファイルタイプのメタデータ(3-44 ページ) を参照してください。
ファイル名	string	ファイルの名前。

表 B-41 ファイルイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ファイルサイズ	uint64	ファイルのサイズ(バイト単位)。
方向	uint8	ファイルのアップロードとダウンロードのどちらが行われたかを示す値。次のいずれかの値になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:ダウンロード • 2:アップロード 現時点では、この値はプロトコルに依存しています(たとえば接続が HTTP の場合はダウンロード)。
アプリケーション ID	uint32	ファイル転送を使用するアプリケーションにマップされている ID 番号。
ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
URI	string	接続の Uniform Resource Identifier (URI)。
シグネチャ	string	文字列形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
送信元ポート	uint16	接続の送信元のポート番号。
接続先ポート	uint16	接続の宛先のポート番号。
プロトコル	uint8	ユーザが指定した IANA プロトコル数。次に例を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 1:ICMP • 4:IP • 6:TCP • 17:UDP これは現時点では TCP のみです。
アクセスコントロールポリシー UUID	uint8[16]	イベントをトリガーするアクセスコントロールポリシーの固有識別子。
送信元の国	uint16	送信元ホストの国のコード。
宛先の国	uint16	宛先ホストの国のコード。
Web アプリケーション ID	uint32	Web アプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
クライアントアプリケーション ID	uint32	クライアントアプリケーションの内部 ID 番号(該当する場合)。
セキュリティコンテキスト	uint8(16)	トラフィックが通過したセキュリティコンテキスト(仮想ファイアウォール)の ID 番号。マルチコンテキストモードの ASA FirePOWER デバイスでは、システムはこのフィールドにのみ入力することに注意してください。
SSL 証明書フィンガープリント	uint8[20]	SSL サーバ証明書の SHA1 ハッシュ。

表 B-41 ファイルイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
実際の SSL アクション	uint16	<p>SSL ルールに基づいて接続に対して実行されたアクション。ルールに指定されているアクションが不可能なことがあるため、これは予期していたアクションとは異なることがあります。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0:「不明」 • 1:「復号しない」 • 2:「ブロックする」 • 3:「リセットでブロック」 • 4:「復号(既知のキー)」 • 5:「復号(置換キー)」 • 6:「復号(Resign)」

表 B-41 ファイルイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
SSL フロー ステータス	uint16	<p>SSL フローのステータス。アクションが実行された理由、またはエラーメッセージが出された理由を示す値です。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0:「不明」 • 1:「一致しない」 • 2:「成功」 • 3:「キャッシュされていないセッション」 • 4:「不明の暗号化スイート」 • 5:「サポートされていない暗号スイート」 • 6:「サポートされていない SSL バージョン」 • 7:「使用される SSL 圧縮」 • 8:「パッシブ モードで復号不可のセッション」 • 9:「ハンドシェイク エラー」 • 10:「復号エラー」 • 11:「保留中のサーバ名カテゴリ ルックアップ」 • 12:「保留中の共通名カテゴリ ルックアップ」 • 13:「内部エラー」 • 14:「使用できないネットワーク パラメータ」 • 15:「無効なサーバの証明書の処理」 • 16:「サーバ証明書フィンガープリントが使用不可」 • 17:「サブジェクト DN をキャッシュできません」 • 18:「発行者 DN をキャッシュできません」 • 19:「不明な SSL バージョン」 • 20:「外部証明書のリストが使用できません」 • 21:「外部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 22:「内部証明書リストが無効」 • 23:「内部証明書のリストが使用できません」 • 24:「内部証明書が使用できません」 • 25:「内部証明書のフィンガープリントが使用できません」 • 26:「サーバ証明書の検証が使用できません」 • 27:「サーバ証明書の検証エラー」 • 28:「無効な操作」
文字列ブロックタイプ	uint32	<p>アーカイブ SHA を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。</p>

表 B-41 ファイルイベントデータブロック 5.4.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	アーカイブ SHA 文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、および侵入ポリシー名のバイト数を含む)。
アーカイブ SHA	string	ファイルが含まれる親アーカイブの SHA1 ハッシュ。
文字列ブロックタイプ	uint32	アーカイブ名を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	アーカイブ名文字列データブロックに含まれるバイト数(ブロックタイプとヘッダーフィールド用の 8 バイト、およびアーカイブ名のバイト数を含む)。
アーカイブ名	string	親アーカイブの名前。
アーカイブ深度	uint8	ファイルがネストされている層の数。たとえば、テキストファイルが zip アーカイブ内にある場合、この値は 1 になります。

ファイルイベント SHA ハッシュ 5.1.1 ~ 5.2.x

eStreamer サービスは、ファイルの SHA ハッシュとそのファイル名とのマッピングのメタデータを含む、ファイルイベント SHA ハッシュデータブロックを使用します。ブロックタイプは、シリーズ 2 リストのデータブロックの 26 です。これは、ファイルログイベントが拡張要求(イベントコード 111)で要求されており、ビット 20 が設定されているかまたはメタデータがイベントバージョン 4 およびイベントコード 21 で要求されているか、要求することができます。

次の図は、ファイルイベントハッシュデータブロックの構造を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ファイルイベント SHA ハッシュブロックタイプ (26)																															
	ファイルイベント SHA ハッシュブロック長																															
	SHA ハッシュ																															
	SHA ハッシュ(続き)																															
	SHA ハッシュ(続き)																															
	SHA ハッシュ(続き)																															
	SHA ハッシュ(続き)																															
	SHA ハッシュ(続き)																															
	SHA ハッシュ(続き)																															
	SHA ハッシュ(続き)																															

ファイル名	文字列ブロック タイプ (0)
	文字列ブロック長
	ファイル名または解析結果...

次の表は、ファイル イベント SHA ハッシュ データ ブロックのフィールドについての説明です。

表 B-42 ファイルイベント SHA ハッシュ データ ブロック 5.1.1 ~ 5.2.x のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ファイル イベント SHA ハッシュ ブロック タイプ	uint32	ファイル イベント SHA ハッシュ ブロックを開始します。この値は常に 26 です。
ファイル イベント SHA ハッシュ ブロック長	uint32	ファイル イベント SHA ハッシュ ブロックのバイトの合計数 (ファイル イベント SHA ハッシュ ブロック タイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
SHA ハッシュ	uint8[32]	バイナリ形式の SHA-256 ハッシュのファイル。
文字列ブロック タイプ	uint32	ファイルに関連付けられている記述名を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	名前の文字列データ ブロックのバイト数です。ブロック タイプとヘッダー フィールドの 8 バイトと名前フィールドのバイト数が含まれます。
ファイル名または解析結果	string	ファイルの記述名または解析結果。ファイルがクリーンである場合、この値は clean です。ファイルの解析結果が不明の場合、この値は Neutral です。ファイルにマルウェアが含まれている場合、ファイル名が示されます。

レガシー関連イベントのデータ構造

続くいくつかのトピックでは、他のレガシー関連(コンプライアンス)データの構造について説明します。

- [関連イベント 5.0 ~ 5.0.2 \(B-247 ページ\)](#)
- [関連イベント 5.1 ~ 5.3.x \(B-256 ページ\)](#)

関連イベント 5.0 ~ 5.0.2

関連イベント (5.0 よりも前のバージョンではコンプライアンス イベントと呼ばれていた) には、関連ポリシー違反に関する情報が含まれます。このメッセージは、標準 eStreamer メッセージヘッダーを使用し、レコードタイプ 112 を指定し、それに関連データブロックタイプ 116 が続きます。データブロックタイプ 116 は、関連するセキュリティゾーンとインターフェイスに関する追加情報が含まれるという点で、その先行するもの(ブロックタイプ 107)とは異なります。

レガシー関連イベントのデータ構造

eStreamer からの 5.0 関連イベントは、拡張要求によってのみ要求できます。これに対してはストリーム要求メッセージでイベントタイプコード 31 およびバージョン 7 を要求します(拡張要求の送信の詳細については、[拡張要求の送信 \(2-4 ページ\)](#) を参照してください)。オプションで、最初のイベントストリーム要求メッセージのフラグフィールドでビット 23 を有効にして、拡張イベントヘッダーを含めることができます。また、フラグフィールドでビット 20 を有効にして、ユーザメタデータを含めることもできます。

レコード構造には、シリーズ 1 のブロックである、文字列ブロックタイプが含まれることに注目してください。シリーズ 1 ブロックの詳細については、[ディスカバリ\(シリーズ1\)ブロック \(4-63 ページ\)](#) を参照してください。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)															
	メッセージ長																															
	Netmap ID																レコードタイプ(112)															
	レコード長																															
	eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	関連ブロックタイプ(116)																															
	関連ブロック長																															
	デバイス ID																															
	(関連)イベント秒																															
	イベント ID																															
	ポリシー ID																															
	ルール ID																															
	プライオリティ																															
	文字列ブロックタイプ(0)																イベント説明															
	文字列ブロック長																															
	説明...																イベントタイプ															
	イベントデバイス ID																															
	シグネチャ ID																															

バイト	0								1								2								3														
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							
シグネチャ ジェネレータ ID																																							
(トリガー)イベント秒																																							
(トリガー)イベントマイクロ秒																																							
イベント ID																																							
イベントで定義されたマスク																																							
イベント影響フラグ								IPプロトコル								ネットワーク プロトコル																							
ソース IP																																							
送信元ホストタイプ								送信元 VLAN ID																送信元 OS フィンガープリント UUID								送信元 OS フィンガープリント UUID							
送信元 OS フィンガープリント UUID (続き)																																							
送信元 OS フィンガープリント UUID (続き)																																							
送信元 OS フィンガープリント UUID (続き)																																							
送信元 OS フィンガープリント UUID (続き)																								送信元重要度															
送信元重要度 (続き)								送信元ユーザ ID																															
送信元ユーザ ID (続き)								送信元ポート																送信元サーバ ID															
送信元サーバ ID (続き)																								宛先 IP															
宛先 IP (続き)																								着信ホストタイプ															
着信VLAN ID																宛先 OS フィンガープリント UUID																				宛先 OS フィンガープリント UUID			
宛先 OS フィンガープリント UUID (続き)																																							
宛先 OS フィンガープリント UUID (続き)																																							
宛先 OS フィンガープリント UUID (続き)																																							
宛先 OS フィンガープリント UUID (続き)																宛先重要度																							
着信ユーザ ID																																							

レガシー関連イベントのデータ構造

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	接続先ポート																宛先サーバ ID															
	宛先サーバ ID (続き)																ブロック								入力インターフェイス UUID							
	入力インターフェイス UUID (続き)																															
	入力インターフェイス UUID (続き)																															
	入力インターフェイス UUID (続き)																															
	入力インターフェイス UUID (続き)																出力インターフェイス UUID															
	出力インターフェイス UUID (続き)																															
	出力インターフェイス UUID (続き)																															
	出力インターフェイス UUID (続き)																															
	出力インターフェイス UUID (続き)																入力ゾーン UUID															
	入力ゾーン UUID																															
	入力ゾーン UUID (続き)																															
	入力ゾーン UUID (続き)																															
	入力ゾーン UUID (続き)																出力ゾーン UUID															
	出力ゾーン UUID																															
	出力ゾーン UUID (続き)																															
	出力ゾーン UUID (続き)																															
	出力ゾーン UUID (続き)																															

表 B-43 関連イベント データ 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
関連ブロックタイプ	uint32	関連イベント データ ブロックが続くことを示します。このフィールドの値は、常に 107 です。 ディスカバリ (シリーズ1) ブロック (4-63 ページ) を参照してください。
関連ブロック長	uint32	関連データ ブロック長 (関連ブロック タイプと長さの 8 バイト、およびそれに続く関連データを含む)。
デバイス ID	uint32	関連イベントを生成した管理対象デバイスまたは Defense Center の内部 ID 番号。値 0 は Defense Center を示します。バージョン 3 メタデータを要求すると管理対象デバイス名を入手できます。詳細については、 管理対象 デバイス レコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
(関連) イベント秒	uint32	関連イベントが生成された時刻を示す UNIX タイムスタンプ (1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
イベント ID	uint32	関連イベント ID 番号。
ポリシー ID	uint32	違反された関連ポリシーの ID 番号。データベースからのポリシー ID 番号を入手する方法の詳細については、 サーバ レコード (4-16 ページ) を参照してください。
ルール ID	uint32	トリガーしてポリシー違反となった関連ルールの ID 番号。データベースからポリシー ID 番号を取得する方法の詳細については、 サーバ レコード (4-16 ページ) を参照してください。
プライオリティ	uint32	イベントに割り当てられた優先順位。これは、0 ~ 5 の整数値です。
文字列ブロックタイプ	uint32	関連違反イベントの説明を含む文字列データ ブロックを開始します。この値は常に 0 に設定されます。文字列ブロックの詳細については、 文字列データ ブロック (4-74 ページ) を参照してください。
文字列ブロック長	uint32	イベント説明文字列ブロックのバイト数 (文字列のブロック タイプのための 4 バイト、文字列ブロック長のための 4 バイト、説明のバイト数を含む)。
説明	string	関連イベントについての説明。
イベントタイプ	uint8	<p>関連イベントが、侵入、ホスト検出、またはユーザ イベントによってトリガーされたかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1: 侵入 • 2: ホストのディスカバリ • 3: ユーザ
イベント デバイス ID	uint32	関連イベントをトリガーしたイベントを生成したデバイスの ID 番号。バージョン 3 メタデータを要求するとデバイス名を入手できます。詳細については、 管理対象 デバイス レコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
シグネチャ ID	uint32	イベントが侵入イベントであった場合、イベントに対応するルール ID 番号を示します。そうでない場合、この値は 0 になります。

表 B-43 関連イベント データ 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
シグネチャジェネレータ ID	uint32	イベントが侵入イベントであった場合、イベントを生成した Firepower システム プリプロセッサまたはルール エンジンの ID 番号を示します。
(トリガー) イベント秒	uint32	関連ポリシー ルールをトリガーしたイベントの時刻を示す UNIX タイムスタンプ(1970年1月1日からの秒数)。
(トリガー) イベントマイクロ秒	uint32	イベントが検出されたタイムスタンプの、マイクロ秒(100万分の1秒)の増分。
イベント ID	uint32	デバイスによって生成されたイベントの ID 番号。
イベントで定義されたマスク	bits[32]	このフィールドに設定されたビットは、メッセージ内の続くどのフィールドが有効であるかを示します。各ビット値のリストの詳細については、表 B-44(B-255 ページ)を参照してください。

表 B-43 関連イベント データ 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
イベント影響フラグ	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x01(ビット 0):送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 0x02(ビット 1):送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 0x04(ビット 2):送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか(TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 0x08(ビット 3):イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 0x10(ビット 4):イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 0x20(ビット 5):イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました(デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 0x40:このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます(ビット 6)。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 0x80(ビット 7):イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。 <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (0、不明):00x00000 赤(1、脆弱):xxxx1xxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx オレンジ(2、潜在的に脆弱):00x00111 黄(3、現在は脆弱でない):00x00011 青(4、不明なターゲット):00x00001
IPプロトコル	uint8	イベントに関連付けられている IP プロトコルの ID(該当する場合)。
ネットワークプロトコル	uint16	イベントに関連付けられているネットワーク プロトコル(該当する場合)。
ソース IP	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、イベントの送信元ホストの IP アドレス。
送信元ホストタイプ	uint8	<p>送信元ホストのタイプ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 0:ホスト 1:ルータ 2:ブリッジ

表 B-43 関連イベント データ 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
送信元 VLAN ID	uint16	送信元ホストの VLAN ID 番号(該当する場合)。
送信元 OS フィンガープリント UUID	uint8[16]	送信元ホストのオペレーティング システムの固有識別子として機能するフィンガープリント ID。 フィンガープリント ID にマップする値の取得の詳細については、 サーバレコード(4-16 ページ) を参照してください。
送信元重要度	uint16	送信元ホストの、ユーザ定義の重要度値: <ul style="list-style-type: none"> • 0:なし • 1:低 • 2:中 • 3:高
送信元ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、送信元ホストにログインしたユーザの ID 番号。
送信元ポート	uint16	イベントの送信元ポート。
送信元サーバ ID	uint32	送信元ホスト上で実行するサーバの ID 番号。
宛先 IP アドレス	uint8[4]	ポリシー違反に関連付けられた宛先ホストの IP アドレス(該当する場合)。宛先 IP アドレスがない場合、この値は 0 になります。
宛先ホストタイプ	uint8	宛先ホストのタイプ: <ul style="list-style-type: none"> • 0:ホスト • 1:ルータ • 2:ブリッジ
宛先 VLAN ID	uint16	宛先ホストの VLAN ID 番号(該当する場合)。
宛先 OS フィンガープリント UUID	uint8[16]	宛先ホストのオペレーティング システムの固有識別子として機能するフィンガープリント ID 番号。 フィンガープリント ID にマップする値の取得の詳細については、 サーバレコード(4-16 ページ) を参照してください。
宛先重要度	uint16	宛先ホストの、ユーザ定義の重要度値: <ul style="list-style-type: none"> • 0:なし • 1:低 • 2:中 • 3:高
宛先ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
接続先ポート	uint16	イベントの宛先ポート。
宛先サービス ID	uint32	送信元ホスト上で実行するサーバの ID 番号。

表 B-43 関連イベント データ 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ブロック	uint8	侵入イベントをトリガーしたパケットの処理を示す値。 <ul style="list-style-type: none"> 0: 侵入イベントがドロップされていない 1: 侵入イベントがドロップされている(展開がインライン型、スイッチ型、またはルーティング型である場合はドロップ) 2: 侵入ポリシーが、インライン型、スイッチ型、またはルーティング型展開のデバイスに適用されている場合は、イベントをトリガーしたパケットがドロップされている可能性がある。
入力インターフェイス UUID	uint8[16]	関連イベントに関連付けられている入力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID。
出力インターフェイス UUID	uint8[16]	関連イベントに関連付けられている出力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID。
入力ゾーン UUID	uint8[16]	関連イベントに関連付けられている入力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID。
出力ゾーン UUID	uint8[16]	関連イベントに関連付けられている出力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID。

次の表は、各イベント定義マスク値についての説明です。

表 B-44 イベントで定義された値

説明	マスク値
イベント影響フラグ	0x00000001
IPプロトコル	0x00000002
ネットワークプロトコル	0x00000004
ソース IP	0x00000008
送信元ホストタイプ	0x00000010
送信元 VLAN ID	0x00000020
送信元フィンガープリント ID	0x00000040
送信元重要度	0x00000080
送信元ポート	0x00000100
送信元サーバ	0x00000200
宛先 IP	0x00000400
宛先ホストタイプ	0x00000800
宛先 VLAN ID	0x00001000
宛先フィンガープリント ID	0x00002000
宛先重要度	0x00004000
接続先ポート	0x00008000

表 B-44 イベントで定義された値(続き)

説明	マスク値
宛先サーバ	0x00010000
送信元ユーザ	0x00020000
宛先ユーザ	0x00040000

関連イベント 5.1 ~ 5.3.x

関連イベント(5.0 よりも前のバージョンではコンプライアンス イベントと呼ばれていた)には、関連ポリシー違反に関する情報が含まれます。このメッセージは、標準 eStreamer メッセージヘッダーを使用し、レコードタイプ 112 を指定し、それにシリーズ 1 セットのデータブロックの関連データブロックタイプ 128 が続きます。データブロックタイプ 128 は、IPv6 サポートが含まれるという点で、その先行するもの(ブロックタイプ 116)とは異なります。

eStreamer からの 5.1 ~ 5.3.x の関連イベントは、拡張要求によってのみ要求できます。これに対してはストリーム要求メッセージでイベントタイプコード 31 およびバージョン 8 を要求します(拡張要求の送信の詳細については、[拡張要求の送信\(2-4 ページ\)](#)を参照してください)。オプションで、最初のイベントストリーム要求メッセージのフラグフィールドでビット 23 を有効にして、拡張イベントヘッダーを含めることができます。また、フラグフィールドでビット 20 を有効にして、ユーザ メタデータを含めることもできます。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	ヘッダーバージョン(1)																メッセージタイプ(4)															
	メッセージ長																															
	Netmap ID																レコードタイプ(112)															
	レコード長																															
	eStreamer サーバタイムスタンプ(イベント用、ビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	将来の使用に備えて予約済み(イベントでビット 23 が設定されている場合のみ)																															
	関連ブロックタイプ(128)																															
	関連ブロック長																															
	デバイスID																															
	(関連)イベント秒																															
	イベントID																															
	ポリシーID																															

バイト	0								1								2								3								
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	ルール ID																																
	プライオリティ																																
	文字列ブロック タイプ(0)																																イベント 説明
	文字列ブロック長																																
	説明...																								イベント タイプ								
	イベントデバイス ID																																
	シグネチャ ID																																
	シグネチャ ジェネレータ ID																																
	(トリガー)イベント秒																																
	(トリガー)イベント マイクロ秒																																
	イベント ID																																
	イベントで定義されたマスク																																
	イベント影響度 フラグ								IPプロトコル								ネットワーク プロトコル																
	ソース IP																																
	送信元ホスト タイプ								送信元 VLAN ID								送信元 OS フィンガープリント UUID								送信元 OS フィンガー プリント UUID								
	送信元 OS フィンガープリント UUID(続き)																																
	送信元 OS フィンガープリント UUID(続き)																																
	送信元 OS フィンガープリント UUID(続き)																									送信元重要度							
	送信元重要度 (続き)								送信元ユーザ ID																								
	送信元ユーザ ID (続き)								送信元ポート								送信元サーバ ID																
	送信元サーバ ID(続き)																								宛先 IP								

レガシー関連イベントのデータ構造

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	宛先 IP(続き)																着信ホストタイプ															
	着信VLAN ID								宛先 OS フィンガープリント UUID																							
	宛先 OS フィンガープリント UUID(続き)																宛先 OS フィンガープリント UUID															
	宛先 OS フィンガープリント UUID(続き)																															
	宛先 OS フィンガープリント UUID(続き)																															
	宛先 OS フィンガープリント UUID(続き)								宛先重要度																							
	着信ユーザ ID																															
	接続先ポート																宛先サーバ ID															
	宛先サーバ ID(続き)																ブロック								入力インターフェイス UUID							
	入力インターフェイス UUID(続き)																出力インターフェイス UUID															
	入力インターフェイス UUID(続き)																															
	入力インターフェイス UUID(続き)																															
	入力インターフェイス UUID(続き)																															
	出力インターフェイス UUID(続き)																入力ゾーン UUID															
	出力インターフェイス UUID(続き)																															
	出力インターフェイス UUID(続き)																															
	出力インターフェイス UUID(続き)																															
	入力ゾーン UUID																出力ゾーン UUID															
	入力ゾーン UUID(続き)																															
	入力ゾーン UUID(続き)																															
	入力ゾーン UUID(続き)																出力ゾーン UUID															
	出力ゾーン UUID																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	出力ゾーン UUID(続き)																															
	出力ゾーン UUID(続き)																															
	出力ゾーン UUID(続き)																				送信元 IPv6 アドレス											
	送信元 IPv6 アドレス																															
	送信元 IPv6 アドレス(続き)																															
	送信元 IPv6 アドレス(続き)																															
	送信元 IPv6 アドレス(続き)																				宛先 IPv6 アドレス											
	宛先 IPv6 アドレス																															
	宛先 IPv6 アドレス(続き)																															
	宛先 IPv6 アドレス(続き)																															
	宛先 IPv6 アドレス(続き)																															

レコード構造には、シリーズ 1 のブロックである、文字列ブロック タイプが含まれることに注目してください。シリーズ 1 ブロックの詳細については、[ディスカバリ\(シリーズ1\)ブロック \(4-63 ページ\)](#)を参照してください。

表 B-45 関連イベント データ 5.1 ~ 5.3.x のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
関連ブロックタイプ	uint32	関連イベント データ ブロックが続くことを示します。このフィールドの値は、常に 128 です。 ディスカバリ(シリーズ1)ブロック (4-63 ページ) を参照してください。
関連ブロック長	uint32	関連データ ブロック長(関連ブロック タイプと長さの 8 バイト、およびそれに続く関連データを含む)。
デバイスID	uint32	関連イベントを生成した管理対象デバイスまたは Defense Center の内部 ID 番号。値 0 は Defense Center を示します。バージョン 3 メタデータを要求すると管理対象デバイス名を入手できます。詳細については、 管理対象 デバイス レコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
(関連)イベント秒	uint32	関連イベントが生成された時刻を示す UNIX タイムスタンプ (1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
イベント ID	uint32	関連イベント ID 番号。

表 B-45 関連イベント データ 5.1 ~ 5.3.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
ポリシー ID	uint32	違反された関連ポリシーの ID 番号。データベースからのポリシー ID 番号を入手する方法の詳細については、 サーバレコード (4-16 ページ) を参照してください。
ルール ID	uint32	トリガーしてポリシー違反となった関連ルールの ID 番号。データベースからのポリシー ID 番号を入手する方法の詳細については、 サーバレコード (4-16 ページ) を参照してください。
プライオリティ	uint32	イベントに割り当てられた優先順位。これは、0 ~ 5 の整数値です。
文字列ブロックタイプ	uint32	関連違反イベントの説明を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 に設定されます。文字列ブロックの詳細については、 文字列データブロック (4-74 ページ) を参照してください。
文字列ブロック長	uint32	イベント説明文字列ブロックのバイト数(文字列のブロックタイプのための 4 バイト、文字列ブロック長のための 4 バイト、説明のバイト数を含む)。
説明	string	関連イベントについての説明。
イベントタイプ	uint8	<p>関連イベントが、侵入、ホスト検出、またはユーザイベントによってトリガーされたかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1: 侵入 • 2: ホストのディスカバリ • 3: ユーザ
イベントデバイス ID	uint32	関連イベントをトリガーしたイベントを生成したデバイスの ID 番号。バージョン 3 メタデータを要求するとデバイス名を入手できます。詳細については、 管理対象デバイスレコードのメタデータ (3-38 ページ) を参照してください。
シグネチャ ID	uint32	イベントが侵入イベントであった場合、イベントに対応するルール ID 番号を示します。そうでない場合、この値は 0 になります。
シグネチャジェネレータ ID	uint32	イベントが侵入イベントであった場合、イベントを生成した Firepower システム プリプロセッサまたはルールエンジンの ID 番号を示します。
(トリガー) イベント秒	uint32	関連ポリシー ルールをトリガーしたイベントの時刻を示す UNIX タイムスタンプ(1970 年 1 月 1 日からの秒数)。
(トリガー) イベントマイクロ秒	uint32	イベントが検出されたタイムスタンプの、マイクロ秒(100 万分の 1 秒)の増分。
イベント ID	uint32	Cisco デバイスによって生成されたイベントの ID 番号。
イベントで定義されたマスク	bits[32]	このフィールドに設定されたビットは、メッセージ内の続くどのフィールドが有効であるかを示します。各ビット値のリストの詳細については、 表 B-44 (B-255 ページ) を参照してください。

表 B-45 関連イベント データ 5.1 ~ 5.3.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
イベント影響フラグ	bits[8]	<p>イベントの影響フラグ値。下位 8 ビットは影響レベルを示します。値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0x01 (ビット 0): 送信元または宛先ホストはシステムによってモニタされるネットワーク内にあります。 0x02 (ビット 1): 送信元または宛先ホストはネットワークマップ内に存在します。 0x04 (ビット 2): 送信元または宛先ホストはイベントのポート上のサーバを実行しているか(TCP または UDP の場合)、IP プロトコルを使用します。 0x08 (ビット 3): イベントの送信元または宛先ホストのオペレーティングシステムにマップされた脆弱性があります。 0x10 (ビット 4): イベントで検出されたサーバにマップされた脆弱性があります。 0x20 (ビット 5): イベントが原因で、管理対象デバイスがセッションをドロップしました(デバイスがインライン、スイッチド、またはルーテッド展開で実行している場合にのみ使用されます)。Firepower システム Web インターフェイスのブロックされた状態に対応します。 0x40 (ビット 6): このイベントを生成するルールに、影響フラグを赤色に設定するルールのメタデータが含まれます。送信元ホストまたは宛先ホストは、ウイルス、トロイの木馬、または他の悪意のあるソフトウェアによって侵入される可能性があります。 0x80 (ビット 7): イベントで検出されたクライアントにマップされた脆弱性があります。(バージョン 5.0+ のみ) <p>次の影響レベル値は、Defense Center の特定の優先順位にマップされます。x は、値が 0 または 1 になることを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (0、不明): 00x00000 赤(1、脆弱): xxxx1xxx, xxx1xxxx, x1xxxxxx, 1xxxxxxx (バージョン 5.0+ のみ) オレンジ(2、潜在的に脆弱): 00x0011x 黄(3、現在は脆弱でない): 00x0001x 青(4、不明なターゲット): 00x00001
IPプロトコル	uint8	イベントに関連付けられている IP プロトコルの ID(該当する場合)。
ネットワークプロトコル	uint16	イベントに関連付けられているネットワーク プロトコル(該当する場合)。
送信元 IP アドレス	uint8[4]	このフィールドは予約済みですが、設定されておられません。送信元 IPv4 アドレスは、送信元 IPv6 アドレス フィールドに保存されます。詳細については、 IP アドレス(1-6 ページ) を参照してください。

表 B-45 関連イベントデータ 5.1 ~ 5.3.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
送信元ホストタイプ	uint8	送信元ホストのタイプ: <ul style="list-style-type: none"> 0:ホスト 1:ルータ 2:ブリッジ
送信元 VLAN ID	uint16	送信元ホストの VLAN ID 番号(該当する場合)。
送信元 OS フィンガープリント UUID	uint8[16]	送信元ホストのオペレーティングシステムの固有識別子として機能するフィンガープリント ID。 フィンガープリント ID にマップする値の取得の詳細については、 サーバレコード(4-16 ページ) を参照してください。
送信元重要度	uint16	送信元ホストの、ユーザ定義の重要度値: <ul style="list-style-type: none"> 0:なし 1:低 2:中 3:高
送信元ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、送信元ホストにログインしたユーザの ID 番号。
送信元ポート	uint16	イベントの送信元ポート。
送信元サーバ ID	uint32	送信元ホスト上で実行するサーバの ID 番号。
宛先 IP アドレス	uint8[4]	このフィールドは予約済みですが、設定されていません。宛先 IPv4 アドレスは、宛先 IPv6 アドレス フィールドに保存されます。詳細については、 IP アドレス(1-6 ページ) を参照してください。
宛先ホストタイプ	uint8	宛先ホストのタイプ: <ul style="list-style-type: none"> 0:ホスト 1:ルータ 2:ブリッジ
宛先 VLAN ID	uint16	宛先ホストの VLAN ID 番号(該当する場合)。
宛先 OS フィンガープリント UUID	uint8[16]	宛先ホストのオペレーティングシステムの固有識別子として機能するフィンガープリント ID 番号。 フィンガープリント ID にマップする値の取得の詳細については、 サーバレコード(4-16 ページ) を参照してください。
宛先重要度	uint16	宛先ホストの、ユーザ定義の重要度値: <ul style="list-style-type: none"> 0:なし 1:低 2:中 3:高

表 B-45 関連イベントデータ 5.1 ~ 5.3.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
宛先ユーザ ID	uint32	システムにより識別される、宛先ホストにログインしたユーザの ID 番号。
接続先ポート	uint16	イベントの宛先ポート。
宛先サービス ID	uint32	送信元ホスト上で実行するサーバの ID 番号。
ブロック	uint8	侵入イベントをトリガーしたパケットの処理を示す値。 <ul style="list-style-type: none"> 0: 侵入イベントがドロップされていない 1: 侵入イベントがドロップされている(展開がインライン型、スイッチ型、またはルーティング型である場合はドロップ) 2: 侵入ポリシーが、インライン型、スイッチ型、またはルーティング型展開のデバイスに適用されている場合は、イベントをトリガーしたパケットがドロップされている可能性がある。
入力インターフェイス UUID	uint8[16]	関連イベントに関連付けられている入力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID。
出力インターフェイス UUID	uint8[16]	関連イベントに関連付けられている出力インターフェイスの固有識別子として機能するインターフェイス ID。
入力ゾーン UUID	uint8[16]	関連イベントに関連付けられている入力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID。
出力ゾーン UUID	uint8[16]	関連イベントに関連付けられている出力セキュリティゾーンの固有識別子として機能するゾーン ID。
送信元 IPv6 アドレス	uint8[16]	IPv6 アドレス オクテットの、イベントの送信元ホストの IP アドレス。
宛先 IPv6 アドレス	uint8[16]	IPv6 アドレス オクテットの、イベントの宛先ホストの IP アドレス。

レガシーホストデータ構造

これらの構造を要求するには、ホスト要求メッセージを使用する必要があります。レガシー構造を要求するには、古い形式のホスト要求メッセージを使用する必要があります。詳細については、[ホスト要求メッセージの形式\(2-27 ページ\)](#)を参照してください。

続くいくつかのトピックでは、ホストプロファイルとフルホストプロファイルの両方の構造を含む、レガシーホストデータ構造について説明します。

- [フルホストプロファイルデータブロック 5.0 ~ 5.0.2\(B-264 ページ\)](#)
- [フルホストプロファイルデータブロック 5.1.1\(B-275 ページ\)](#)
- [フルホストプロファイルデータブロック 5.2.x\(B-285 ページ\)](#)
- [ホストプロファイルデータブロック 5.1.x\(B-299 ページ\)](#)
- [IP 範囲仕様データブロック 5.0 ~ 5.1.1.x\(B-305 ページ\)](#)
- [アクセスコントロールポリシールール理由データブロック\(B-306 ページ\)](#)

フルホストプロファイルデータブロック 5.0～5.0.2

フルホストプロファイルデータブロックバージョン 5.0～5.0.2 には、1つのホストを記述するフルセットのデータが含まれています。このデータセットの形式を次の図に示し、次表で説明します。図には、リストデータブロックを除き、カプセル化データブロックフィールドを提示していない点にご注意ください。これらのカプセル化データブロックは、[検出と接続データ構造の概要\(4-1 ページ\)](#)で別途説明します。フルホストプロファイルデータブロックのブロックタイプ値は、111 です。



(注)

次の図において、ブロック名の横にあるアスタリスク(*)は、データブロックのインスタンスが複数発生する可能性を示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	フルホストプロファイルデータブロック (111)																															
	データブロック長																															
	[IPアドレス]																															
	ホップ								汎用リストブロックタイプ(31)																							
	汎用リストブロックタイプ(続き)								汎用リストブロック長																							
OS 派生フィンガープリント	汎用リストブロック長(続き)								オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																							
	OSフィンガープリントブロックタイプ(130)*(続き)								オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																							
	OSフィンガープリントブロック長(続き)								オペレーティングシステム派生のフィンガープリントデータ...																							
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
サーバフィンガープリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムサーバのフィンガープリントデータ...																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
クライアント フィンガー プリント	オペレーティング システム フィンガープリントブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム クライアントのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
VDB ネイ ティブ フィンガー プリント 1	オペレーティング システム フィンガープリントブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム VDB のフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
VDB ネイ ティブ フィンガー プリント 2	オペレーティング システム フィンガープリントブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム VDB のフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
ユーザ フィ ンガー プ リント	オペレーティング システム フィンガープリントブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム ユーザのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
スキャン フィンガー プリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムスキャンのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
アプリケー ションフィン ガープリ ント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムアプリケーションのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
競合 フィンガー プリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステム競合のフィンガープリントデータ...																															
(TCP)フル サーバ データ	リストブロックタイプ(11)...																															
	リストブロック長...																															
	(TCP)フルサーバデータブロック(104)*																															
(UDP)フル サーバ データ	リストブロックタイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	(UDP)フルサーバデータブロック(104)*																															
ネットワー クプロトコ ルデータ	リストブロックタイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	(ネットワーク)プロトコルデータブロック(4)*																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
トランスポート プロトコル データ	リストブロックタイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	(トランスポート)プロトコルデータブロック(4)*																															
MAC アドレス データ	リストブロックタイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	ホストMACアドレスデータブロック(95)*																															
	最後の確認日時																															
	ホストタイプ																															
	ビジネス上の重要度																VLAN ID															
	VLAN タイプ								VLAN 優先順位								汎用リストブロックタイプ(31)															
ホストクラ イアント データ	汎用リストブロックタイプ(続き)																汎用リストブロック長															
	汎用リストブロック長(続き)																フルホストクライアントアプリケーションデータブロック(112)*															
NetBIOS 名	文字列ブロックタイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名前文字列...																															
注記 データ	文字列ブロックタイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	注記文字列...																															
(VDB)ホス トVuln	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	(VDB)ホスト脆弱性データブロック(85)*																															
(サードパー ティ/VDB)ホ ストVuln	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	(サードパーティ/VDB)ホスト脆弱性データブロック(85)*																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
サードパーティ スキャン ホスト Vuln	汎用リストブロック タイプ (31)																															
	汎用リストブロック長																															
	元の Vuln ID を持つ(サードパーティスキャン)ホスト脆弱性データブロック (85)*																															
属性値 データ	リストブロック タイプ (11)																															
	リストブロック長																															
	属性値データ ブロック*																															

次の表は、フルホストプロファイル 5.0 ~ 5.0.2 レコードのコンポーネントについての説明です。

表 B-46 フルホストプロファイルレコード 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
IPアドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、ホストの IP アドレス。
ホップ	uint8	ホストからのデバイスまでのネットワーク ホップ数。
汎用リストブロック タイプ	uint32	ホストの既存のフィンガープリントから派生したフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステム派生のフィンガープリントデータブロック*	変数	ホストの既存のフィンガープリントから派生したホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロック タイプ	uint32	サーバフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-46 フルホストプロファイルレコード5.0～5.0.2のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(サーバフィンガープリント)データブロック*	変数	サーバフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(クライアントフィンガープリント)データブロック*	変数	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	Cisco VDB フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(VDB)ネイティブフィンガープリント(1)データブロック*	変数	Cisco 脆弱性データベース(VDB)のフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	Cisco VDB フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-46 フルホストプロファイルレコード 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(VDB)ネイティブフィンガープリント(2)データブロック*	変数	Cisco 脆弱性データベース(VDB)のフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	ユーザによって追加されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(ユーザフィンガープリント)データブロック*	変数	ユーザによって追加されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	脆弱性スキャナによって追加されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(スキャンフィンガープリント)データブロック*	変数	脆弱性スキャナによって追加されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	アプリケーションによって追加されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-46 フルホストプロファイルレコード 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(アプリケーションフィンガープリント)データブロック*	変数	アプリケーションによって追加されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	フィンガープリント競合解決により選択されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(競合フィンガープリント)データブロック*	変数	フィンガープリント競合解決により選択されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	TCP サービスデータを伝えるフルサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのフルサーバデータブロック長が含まれています。
(TCP)フルサーバデータブロック*	変数	ホスト上の TCP サービスに関するデータを伝えるフルサーバデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 フルホストサーバデータブロック 4.10.0+(4-146 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	UDP サービスデータを伝えるフルサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのフルサーバデータブロック長が含まれています。
(UDP)フルサーバデータブロック*	変数	ホスト上の UDP サブサーバに関するデータを伝えるフルサーバデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 フルホストサーバデータブロック 4.10.0+(4-146 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	ネットワークプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。

表 B-46 フルホストプロファイルレコード 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロック長が含まれています。
(ネットワーク)プロトコルデータブロック*	変数	ホスト上のネットワークプロトコルに関するデータを伝えるプロトコルデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 プロトコルデータブロック (4-79 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	トランスポートプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロック長が含まれています。
(転送)プロトコルデータブロック*	変数	ホスト上のトランスポートプロトコルに関するデータを伝えるプロトコルデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 プロトコルデータブロック (4-79 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	ホスト MAC アドレスデータブロックを含むリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リストのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのホスト MAC アドレスデータブロックを含む)。
ホスト MAC アドレスデータブロック*	変数	ホスト MAC アドレスデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト MAC アドレス 4.9+ (4-120 ページ) を参照してください。
最後の確認日時	uint32	システムがホストのアクティビティを検出した最終時刻を表す UNIX タイムスタンプ。
ホストタイプ	uint32	ホストのタイプを示します。次の値を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:ホスト • 1:ルータ • 2:ブリッジ • 3:NAT(ネットワークアドレス変換デバイス) • 4:LB(ロードバランサ)
ビジネス上の重要度	uint16	ビジネスに対するホストの重要度を示します。
VLAN ID	uint16	ホストがメンバーである VLAN を示す VLAN ID 番号。
VLAN タイプ	uint8	VLAN タグにカプセル化されたパケットのタイプ。
VLAN 優先順位	uint8	VLAN タグに含まれる優先順位値。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションデータを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。

表 B-46 フルホストプロファイルレコード 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのクライアントアプリケーションデータブロックを含む)。
フルホストクライアントアプリケーションデータブロック*	変数	クライアントアプリケーションデータのブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 フルクライアントアプリケーションデータブロック 5.0+(4-160 ページ) を参照してください。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト注記の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	注記文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、および注記文字列のバイト数を含む)。
注記	string	ホストの注記ホスト属性の内容が含まれます。
汎用リストブロックタイプ	uint32	VDB 脆弱性データを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
(VDB)ホスト脆弱性データブロック*	変数	Cisco 脆弱性データベース(VDB)で識別される脆弱性の、ホスト脆弱性データブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト脆弱性データブロック 4.9.0+(4-117 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サードパーティスキャン脆弱性データを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
(サードパーティ/VDB)ホスト脆弱性データブロック*	変数	サードパーティスキャナから送信され、Cisco 脆弱性データベース(VDB)でカタログされているホスト脆弱性に関する情報が含まれている、ホスト脆弱性データブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト脆弱性データブロック 4.9.0+(4-117 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サードパーティスキャン脆弱性データを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。

表 B-46 フルホストプロファイルレコード 5.0 ~ 5.0.2 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
(サードパーティスキャン)ホスト脆弱性データブロック*	変数	サードパーティスキャナから送信されたホスト脆弱性データブロック。これらのデータブロックのホスト脆弱性 ID は、Cisco 検出の ID ではなく、サードパーティスキャナ ID であることに注意してください。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト脆弱性データブロック 4.9.0+(4-117 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	属性データを伝える属性値データブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
属性値データブロック*	変数	属性値データブロックのリスト。このリスト内のデータブロックの説明の詳細については、 属性値データブロック (4-85 ページ) を参照してください。

フルホストプロファイルデータブロック 5.1.1

フルホストプロファイルデータブロックバージョン 5.1.1 には、1つのホストを記述するフルセットのデータが含まれています。このデータセットの形式を次の図に示し、次表で説明します。図には、リストデータブロックを除き、カプセル化データブロックフィールドを提示していない点にご注意ください。これらのカプセル化データブロックは、[検出と接続データ構造の概要 \(4-1 ページ\)](#) で別途説明します。フルホストプロファイルデータブロックのブロックタイプ値は、135 です。これによりデータブロック 111 は廃止されます。



(注) 次の図において、ブロック名の横にあるアスタリスク(*)は、データブロックのインスタンスが複数発生する可能性があることを示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	フルホストプロファイルデータブロック (135)																															
	データブロック長																															
	IPアドレス																															
	ホップ																汎用リストブロックタイプ(31)															
	汎用リストブロックタイプ (続き)																汎用リストブロック長															
OS 派生フィンガープリント	汎用リストブロック長(続き)																オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*															
	OSフィンガープリントブロックタイプ(130)* (続き)																オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長															
	OSフィンガープリントブロック長(続き)																オペレーティングシステム派生のフィンガープリントデータ...															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
サーバフィンガープリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムサーバのフィンガープリントデータ...																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
クライアント フィンガー プリント	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム クライアントのフィンガープリント データ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
VDB ネイ ティブ フィンガー プリント 1	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム VDB のフィンガープリント データ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
VDB ネイ ティブ フィンガー プリント 2	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム VDB のフィンガープリント データ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
ユーザ フィ ンガー プ リント	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム ユーザのフィンガープリント データ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
スキャン フィンガー プリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムスキャンのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
アプリケー ションフィン ガープリン ト	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムアプリケーションのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
競合 フィンガー プリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステム競合のフィンガープリントデータ...																															
(TCP)フル サーバ データ	リストブロックタイプ(11)...																															
	リストブロック長...																															
	(TCP)フルサーバデータブロック(104)*																															
(UDP)フル サーバ データ	リストブロックタイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	(UDP)フルサーバデータブロック(104)*																															
ネットワーク プロトコル データ	リストブロックタイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	(ネットワーク)プロトコルデータブロック(4)*																															

レガシーホストデータ構造

バイト	0								1							2							3									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
トランスポート プロトコル データ	リストブロック タイプ (11)																															
	リストブロック長																															
	(トランスポート)プロトコルデータブロック (4)*																															
MAC アドレス データ	リストブロック タイプ (11)																															
	リストブロック長																															
	ホスト MAC アドレスデータブロック (95)*																															
最後の確認日時																																
ホストタイプ																																
ビジネス上の重要度																VLAN ID																
VLAN タイプ								VLAN 優先順位								汎用リストブロック タイプ (31)																
ホストクラ イアント データ	汎用リストブロック タイプ (続き)																汎用リストブロック長															
	汎用リストブロック長 (続き)																フルホストクライアントアプリケーションデータブロック (112)*															
NetBIOS 名	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名前文字列...																															
注記 データ	文字列ブロック タイプ (0)																															
	文字列ブロック長																															
	注記文字列...																															
(VDB)ホス ト Vuln	汎用リストブロック タイプ (31)																															
	汎用リストブロック長																															
	(VDB)ホスト脆弱性データブロック (85)*																															
(サードパー ティ/VDB) ホスト Vuln	汎用リストブロック タイプ (31)																															
	汎用リストブロック長																															
	(サードパーティ/VDB)ホスト脆弱性データブロック (85)*																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
サードパーティ スキャン ホスト Vuln	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	元の Vuln ID を持つ(サードパーティ スキャン)ホスト脆弱性データブロック(85)*																															
属性値 データ	リストブロックタイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	属性値データブロック*																															
モバイル								改造								VLANの有無																

次の表は、フルホストプロファイル 5.1.1 レコードのコンポーネントについての説明です。

表 B-47 フルホストプロファイルレコード 5.1.1 のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
IPアドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、ホストの IP アドレス。
ホップ	uint8	ホストからのデバイスまでのネットワーク ホップ数。
汎用リストブロックタイプ	uint32	ホストの既存のフィンガープリントから派生したフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステム派生のフィンガープリントデータブロック*	変数	ホストの既存のフィンガープリントから派生したホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サーバフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-47 フルホストプロファイルレコード5.1.1のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(サーバフィンガープリント)データブロック*	変数	サーバフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(クライアントフィンガープリント)データブロック*	変数	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	Cisco VDB フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(VDB)ネイティブフィンガープリント(1)データブロック*	変数	Cisco 脆弱性データベース(VDB)のフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	Cisco VDB フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-47 フルホストプロファイルレコード5.1.1のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(VDB)ネイティブフィンガープリント(2)データブロック*	変数	Cisco 脆弱性データベース(VDB)のフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	ユーザによって追加されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(ユーザフィンガープリント)データブロック*	変数	ユーザによって追加されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	脆弱性スキャナによって追加されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(スキャンフィンガープリント)データブロック*	変数	脆弱性スキャナによって追加されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	アプリケーションによって追加されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-47 フルホストプロファイルレコード 5.1.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(アプリケーションフィンガープリント)データブロック*	変数	アプリケーションによって追加されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	フィンガープリント競合解決により選択されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(競合フィンガープリント)データブロック*	変数	フィンガープリント競合解決により選択されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	TCP サービスデータを伝えるフルサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのフルサーバデータブロック長が含まれています。
(TCP)フルサーバデータブロック*	変数	ホスト上の TCP サービスに関するデータを伝えるフルサーバデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 フルホストサーバデータブロック 4.10.0+(4-146 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	UDP サービスデータを伝えるフルサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのフルサーバデータブロック長が含まれています。
(UDP)フルサーバデータブロック*	変数	ホスト上の UDP サブサーバに関するデータを伝えるフルサーバデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 フルホストサーバデータブロック 4.10.0+(4-146 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	ネットワークプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。

表 B-47 フルホストプロファイルレコード5.1.1のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の8バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロック長が含まれています。
(ネットワーク)プロトコルデータブロック*	変数	ホスト上のネットワークプロトコルに関するデータを伝えるプロトコルデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 プロトコルデータブロック(4-79ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	トランスポートプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に11です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の8バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロック長が含まれています。
(転送)プロトコルデータブロック*	変数	ホスト上のトランスポートプロトコルに関するデータを伝えるプロトコルデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 プロトコルデータブロック(4-79ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	ホストMACアドレスデータブロックを含むリストデータブロックを開始します。この値は常に11です。
リストブロック長	uint32	リストのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのホストMACアドレスデータブロックを含む)。
ホストMACアドレスデータブロック*	変数	ホストMACアドレスデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 ホストMACアドレス4.9+(4-120ページ) を参照してください。
最後の確認日時	uint32	システムがホストのアクティビティを検出した最終時刻を表すUNIXタイムスタンプ。
ホストタイプ	uint32	ホストのタイプを示します。次の値を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:ホスト • 1:ルータ • 2:ブリッジ • 3:NAT(ネットワークアドレス変換デバイス) • 4:LB(ロードバランサ)
ビジネス上の重要度	uint16	ビジネスに対するホストの重要度を示します。
VLAN ID	uint16	ホストがメンバーであるVLANを示すVLAN ID番号。
VLANタイプ	uint8	VLANタグにカプセル化されたパケットのタイプ。
VLAN優先順位	uint8	VLANタグに含まれる優先順位値。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションデータを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に31です。

表 B-47 フルホストプロファイルレコード 5.1.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのクライアントアプリケーションデータブロックを含む)。
フルホストクライアントアプリケーションデータブロック*	変数	クライアントアプリケーションデータのブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 フルクライアントアプリケーションデータブロック 5.0+(4-160 ページ) を参照してください。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト注記の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	注記文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、および注記文字列のバイト数を含む)。
注記	string	ホストの注記ホスト属性の内容が含まれます。
汎用リストブロックタイプ	uint32	VDB 脆弱性データを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
(VDB)ホスト脆弱性データブロック*	変数	Cisco 脆弱性データベース(VDB)で識別される脆弱性の、ホスト脆弱性データブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト脆弱性データブロック 4.9.0+(4-117 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サードパーティスキャン脆弱性データを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
(サードパーティ/VDB)ホスト脆弱性データブロック*	変数	サードパーティスキャナから送信され、Cisco 脆弱性データベース(VDB)でカタログされているホスト脆弱性に関する情報が含まれている、ホスト脆弱性データブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト脆弱性データブロック 4.9.0+(4-117 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サードパーティスキャン脆弱性データを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。

表 B-47 フルホストプロファイルレコード 5.1.1 のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
(サードパーティスキャン)ホスト脆弱性データブロック*	変数	サードパーティスキャナから送信されたホスト脆弱性データブロック。これらのデータブロックのホスト脆弱性 ID は、Cisco 検出の ID ではなく、サードパーティスキャナ ID であることに注意してください。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト脆弱性データブロック 4.9.0+(4-117 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	属性データを伝える属性値データブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
属性値データブロック*	変数	属性値データブロックのリスト。このリスト内のデータブロックの説明の詳細については、 属性値データブロック (4-85 ページ) を参照してください。
モバイル	uint8	オペレーティングシステムがモバイルデバイスで動作しているかどうかを示す true/false フラグ。
改造	uint8	モバイルデバイスのオペレーティングシステムがジェイルブレイクされているかどうかを示す true/false フラグ。
VLAN の有無	uint8	VLAN が存在するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 0:はい 1:いいえ

フルホストプロファイルデータブロック 5.2.x

フルホストプロファイルデータブロックバージョン 5.2.x には、1つのホストを記述するフルセットのデータが含まれています。このデータセットの形式を次の図に示し、次表で説明します。図には、リストデータブロックを除き、カプセル化データブロックフィールドを提示していない点にご注意ください。これらのカプセル化データブロックは、[検出と接続データ構造の概要 \(4-1 ページ\)](#)で別途説明します。フルホストプロファイルデータブロックのブロックタイプ値は、140 です。これは以前のバージョン(ブロックタイプが 135 である)に取って代わります。



(注) 次の図において、ブロック名の横にあるアスタリスク(*)は、データブロックのインスタンスが複数発生する可能性があることを示しています。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
フルホストプロファイルデータブロック (140)																																
データブロック長																																

レガシーホストデータ構造

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット	ホスト ID																															
	ホスト ID(続き)																															
	ホスト ID(続き)																															
	ホスト ID(続き)																															
IP アドレス	リストブロック タイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	IP アドレス データ ブロック(143)*																															
	ホップ								汎用リストブロック タイプ(31)																							
	汎用リストブ ロック タイプ (続き)								汎用リストブロック長																							
OS 派生 フィンガー プリント	汎用リストブ ロック長(続き)								オペレーティング システムフィンガープリントブロック タイプ(130)*																							
	OS フィンガー プリントブ ロック タイプ (130)*(続き)								オペレーティング システム フィンガープリントブロック長																							
	OS フィンガー プリントブロッ ク長(続き)								オペレーティング システム派生のフィンガープリント データ...																							
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
サーバ フィンガー プリント	オペレーティング システム フィンガープリントブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリントブロック長																															
	オペレーティング システム サーバのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
クライアント フィンガー プリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムクライアントのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
VDB ネイ ティブ フィンガー プリント 1	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステム VDB のフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
VDB ネイ ティブ フィンガー プリント 2	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステム VDB のフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
ユーザフィ ンガープリ ント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムユーザのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
スキャン フィンガー プリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムスキャンのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															

レガシーホストデータ構造

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット																																
	汎用リストブロック長																															
アプリケーションフィンガープリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムアプリケーションのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
競合フィンガープリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステム競合のフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
モバイルフィンガープリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムモバイルフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
IPv6サーバフィンガープリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムIPv6サーバのフィンガープリントデータ...																															
	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
IPv6クライアントフィンガープリント	オペレーティングシステムフィンガープリントブロックタイプ(130)*																															
	オペレーティングシステムフィンガープリントブロック長																															
	オペレーティングシステムIPv6クライアントのフィンガープリントデータ...																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
IPv6 DHCP フィンガー プリント	オペレーティング システム フィンガープリントブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム IPv6 DHCP のフィンガープリント データ...																															
	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
ユーザ エー ジェント フィンガー プリント	オペレーティング システム フィンガープリントブロック タイプ(130)*																															
	オペレーティング システム フィンガープリント ブロック長																															
	オペレーティング システム ユーザ エージェントのフィンガープリント データ...																															
(TCP)フル サーバ データ	リストブロック タイプ(11)...																															
	リストブロック長...																															
	(TCP)フルサーバデータ ブロック (104)*																															
(UDP)フル サーバ データ	リストブロック タイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	(UDP)フルサーバデータ ブロック (104)*																															
ネットワーク プロトコル データ	リストブロック タイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	(ネットワーク)プロトコルデータ ブロック (4)*																															
トランスポート プロトコ ルデータ	リストブロック タイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	(トランスポート)プロトコルデータ ブロック (4)*																															

バイト	0								1							2							3									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
MAC アドレス データ	リストブロックタイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	ホストMACアドレスデータブロック(95)*																															
	最後の確認日時																															
	ホストタイプ																															
	ビジネス上の重要度																VLAN ID															
	VLAN タイプ								VLAN 優先順位								汎用リストブロックタイプ(31)															
ホストクライアント データ	汎用リストブロックタイプ(続き)																汎用リストブロック長															
	汎用リストブロック長(続き)																フルホストクライアントアプリケーションデータブロック(112)*															
NetBIOS 名	文字列ブロックタイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	NetBIOS 名前文字列...																															
注記データ	文字列ブロックタイプ(0)																															
	文字列ブロック長																															
	注記文字列...																															
(VDB)ホスト Vuln	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	(VDB)ホスト脆弱性データブロック(85)*																															
(サードパーティ/VDB)ホ スト Vuln	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	(サードパーティ/VDB)ホスト脆弱性データブロック(85)*																															
サード パーティ スキャンホ スト Vuln	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	元の Vuln ID を持つ(サードパーティスキャン)ホスト脆弱性データブロック(85)*																															

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
属性値データ	リストブロックタイプ(11)																															
	リストブロック長																															
	属性値データブロック*																															
	モバイル																改造															

次の表は、フルホストプロファイル 5.2.x レコードのコンポーネントについての説明です。

表 B-48 フルホストプロファイルレコード 5.2.x のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ホスト ID	uint8[16]	ホストの固有 ID 番号。これは UUID です。
リストブロックタイプ	uint32	TCP サービスデータを伝える IP アドレスデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべての IP アドレスデータブロック長が含まれています。
IP アドレス	変数	ホストの IP アドレスおよび各 IP アドレスを最後に確認した日時。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト IP アドレスデータブロック (4-101 ページ) を参照してください。
ホップ	uint8	ホストからのデバイスまでのネットワークホップ数。
汎用リストブロックタイプ	uint32	ホストの既存のフィンガープリントから派生したフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステム派生のフィンガープリントデータブロック*	変数	ホストの既存のフィンガープリントから派生したホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サーバフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-48 フルホストプロファイルレコード5.2.xのフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(サーバフィンガープリント)データブロック*	変数	サーバフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(クライアントフィンガープリント)データブロック*	変数	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	Cisco VDB フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(VDB)ネイティブフィンガープリント(1)データブロック*	変数	Cisco 脆弱性データベース(VDB)のフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	Cisco VDB フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-48 フルホストプロファイルレコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(VDB)ネイティブフィンガープリント(2)データブロック*	変数	Cisco 脆弱性データベース(VDB)のフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	ユーザによって追加されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(ユーザフィンガープリント)データブロック*	変数	ユーザによって追加されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	脆弱性スキャナによって追加されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(スキャンフィンガープリント)データブロック*	変数	脆弱性スキャナによって追加されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	アプリケーションによって追加されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-48 フルホストプロファイルレコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(アプリケーションフィンガープリント)データブロック*	変数	アプリケーションによって追加されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	フィンガープリント競合解決により選択されたフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(競合フィンガープリント)データブロック*	変数	フィンガープリント競合解決により選択されたホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	モバイルデバイスフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(モバイル)データブロック*	変数	モバイルデバイスホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	IPv6 サーバフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-48 フルホストプロファイルレコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(IPv6サーバフィンガープリント)データブロック*	変数	IPv6 サーバフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	IPv6 クライアントフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(IPv6クライアントフィンガープリント)データブロック*	変数	IPv6 クライアントフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	IPv6 DHCP フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(IPv6 DHCP)データブロック*	変数	IPv6 DHCP フィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	エージェントフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-48 フルホストプロファイルレコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(ユーザエージェント)データブロック*	変数	ユーザエージェントフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	TCP サービスデータを伝えるフルサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのフルサーバデータブロック長が含まれています。
(TCP)フルサーバデータブロック*	変数	ホスト上の TCP サービスに関するデータを伝えるフルサーバデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 フルホストサーバデータブロック 4.10.0+(4-146 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	UDP サービスデータを伝えるフルサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのフルサーバデータブロック長が含まれています。
(UDP)フルサーバデータブロック*	変数	ホスト上の UDP サブサーバに関するデータを伝えるフルサーバデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 フルホストサーバデータブロック 4.10.0+(4-146 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	ネットワークプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロック長が含まれています。
(ネットワーク)プロトコルデータブロック*	変数	ホスト上のネットワークプロトコルに関するデータを伝えるプロトコルデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 プロトコルデータブロック (4-79 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	トランスポートプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロック長が含まれています。
(転送)プロトコルデータブロック*	変数	ホスト上のトランスポートプロトコルに関するデータを伝えるプロトコルデータブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 プロトコルデータブロック (4-79 ページ) を参照してください。

表 B-48 フルホストプロファイルレコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
リストブロックタイプ	uint32	ホスト MAC アドレス データ ブロックを含むリスト データ ブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リスト ブロック長	uint32	リストのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのホスト MAC アドレス データ ブロックを含む)。
ホスト MAC アドレス データ ブロック*	変数	ホスト MAC アドレス データ ブロックのリスト。このデータ ブロックの説明の詳細については、 ホスト MAC アドレス 4.9+ (4-120 ページ) を参照してください。
最後の確認日時	uint32	システムがホストのアクティビティを検出した最終時刻を表す UNIX タイムスタンプ。
ホスト タイプ	uint32	ホストのタイプを示します。次の値を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 0:ホスト 1:ルータ 2:ブリッジ 3:NAT(ネットワーク アドレス変換デバイス) 4:LB(ロード バランサ)
ビジネス上の重要度	uint16	ビジネスに対するホストの重要度を示します。
VLAN ID	uint16	ホストがメンバーである VLAN を示す VLAN ID 番号。
VLAN タイプ	uint8	VLAN タグにカプセル化されたパケットのタイプ。
VLAN 優先順位	uint8	VLAN タグに含まれる優先順位値。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションデータを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのクライアントアプリケーションデータブロックを含む)。
フルホストクライアントアプリケーションデータブロック*	変数	クライアントアプリケーションデータのブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 フルクライアントアプリケーションデータブロック 5.0+ (4-160 ページ) を参照してください。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名文字列のバイト数を含む)。
NetBIOS 名	string	ホスト NetBIOS 名の文字列。
文字列ブロックタイプ	uint32	ホスト注記の文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。

表 B-48 フルホストプロファイルレコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
文字列ブロック長	uint32	注記文字列データブロックのバイト数(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、および注記文字列のバイト数を含む)。
注記	string	ホストの注記ホスト属性の内容が含まれます。
汎用リストブロックタイプ	uint32	VDB 脆弱性データを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
(VDB)ホスト脆弱性データブロック*	変数	Cisco 脆弱性データベース(VDB)で識別される脆弱性の、ホスト脆弱性データブロックのリスト。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト脆弱性データブロック 4.9.0+(4-117 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サードパーティスキャン脆弱性データを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
(サードパーティ/VDB)ホスト脆弱性データブロック*	変数	サードパーティスキャナから送信され、Cisco 脆弱性データベース(VDB)でカタログされているホスト脆弱性に関する情報が含まれている、ホスト脆弱性データブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト脆弱性データブロック 4.9.0+(4-117 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サードパーティスキャン脆弱性データを伝えるホスト脆弱性データブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
(サードパーティスキャン)ホスト脆弱性データブロック*	変数	サードパーティスキャナから送信されたホスト脆弱性データブロック。これらのデータブロックのホスト脆弱性 ID は、Cisco 検出の ID ではなく、サードパーティスキャナ ID であることに注意してください。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト脆弱性データブロック 4.9.0+(4-117 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	属性データを伝える属性値データブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのデータブロックを含む)。
属性値データブロック*	変数	属性値データブロックのリスト。このリスト内のデータブロックの説明の詳細については、 属性値データブロック (4-85 ページ) を参照してください。

表 B-48 フルホストプロファイルレコード 5.2.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
モバイル	uint8	オペレーティングシステムがモバイルデバイスで動作しているかどうかを示す true/false フラグ。
改造	uint8	モバイルデバイスのオペレーティングシステムがジェイルブレイクされているかどうかを示す true/false フラグ。

ホストプロファイルデータブロック 5.1.x

次の図は、ホストプロファイルデータブロックの形式を示しています。さらに、このデータブロックには、ホスト重要度値が含まれていませんが、VLAN のプレゼンスインジケータは含まれています。さらに、このデータブロックは、ホストの NetBIOS 名を伝えることができます。ホストプロファイルデータブロックのブロックタイプは 132 です。



(注) 次の図のブロックタイプフィールドの横のアスタリスク(*)は、メッセージにシリーズ1データブロックのゼロ以上のインスタンスが含まれる可能性があることを示しています。

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ビット																																
	ホストプロファイルブロックタイプ(132)																															
	ホストプロファイルブロック長																															
	IPアドレス																															
サーバフィンガープリント	ホップ								プライマリ/セカンダリ								汎用リストブロックタイプ(31)															
	汎用リストブロックタイプ(続き)																汎用リストブロック長															
	汎用リストブロック長(続き)																サーバフィンガープリントデータブロック*															
クライアントフィンガープリント	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	クライアントフィンガープリントデータブロック*																															
SMBフィンガープリント	汎用リストブロックタイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	SMBフィンガープリントデータブロック*																															

レガシーホストデータ構造

バイト	0								1								2								3							
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
DHCP フィンガー プリント	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	DHCP フィンガープリントデータブロック*																															
モバイルデ バイス フィンガー プリント	汎用リストブロック タイプ(31)																															
	汎用リストブロック長																															
	モバイルデバイス フィンガープリントデータブロック*																															
TCP サーバ ブロック*	リストブロック タイプ(11)																TCP のリス ト サーバ															
	リストブロック長																															
	TCP サーバデータブロック																															
UDP サーバ ブロック*	リストブロック タイプ(11)																UDP のリス ト サーバ															
	リストブロック長																															
	UDP サーバデータブロック																															
ネットワーク プロトコル ブロック*	リストブロック タイプ(11)																ネットワー クのリス ト プロトコル															
	リストブロック長																															
	ネットワーク プロトコルのデータブロック																															
トランス ポートプロ トコルブ ロック*	リストブロック タイプ(11)																トランスポー トリス ト プロトコル															
	リストブロック長																															
	トランスポートプロトコルデータブロック																															
MAC アドレ スブロック*	リストブロック タイプ(11)																MAC のリス ト アドレス															
	リストブロック長																															
	ホスト MAC アドレスデータブロック																															
最終検出時のホスト																																
ホストタイプ																																
モバイル								改造								VLAN の有無								VLAN ID								

バイト	0								1								2								3								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
クライアントアプリケーションデータ	VLAN ID(続き)								VLAN タイプ								VLAN 優先順位								汎用リストブロックタイプ (31)								クライアントのリストアプリケーション
	汎用リストブロックタイプ(31)(続き)																汎用リストブロック長																
	汎用リストブロック長(続き)																クライアントアプリケーションデータブロック																
NetBIOS 名	文字列ブロックタイプ(0)																																
	文字列ブロック長																																
	NetBIOS 文字列データ...																																

次の表は、バージョン 5.1.x により返されるホストプロファイルデータブロックのフィールドについての説明です。

表 B-49 ホストプロファイルデータブロック 5.1.x のフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ホストプロファイルブロックタイプ	uint32	ホストプロファイルデータブロック 5.1.x を開始します。この値は常に 132 です。
ホストプロファイルブロック長	uint32	ホストプロファイルデータブロックのバイト数(ホストプロファイルブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くホストプロファイルデータに含まれるバイト数を含む)。
IPアドレス	uint8[4]	IP アドレス オクテットの、プロファイルに記述されているホストの IP アドレス。
ホップ	uint8	ホストからのデバイスまでのホップ数。
プライマリ/セカンダリ	uint8	ホストがそれを検出したデバイスのプライマリまたはセカンダリのどちらのネットワークにあるかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 0: ホストはプライマリ ネットワークにあります。 1: ホストはセカンダリ ネットワークにあります。
汎用リストブロックタイプ	uint32	サーバフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-49 ホストプロファイルデータブロック 5.1.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(サーバフィンガープリント)データブロック*	変数	サーバフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(クライアントフィンガープリント)データブロック*	変数	クライアントフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	SMB フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(SMB フィンガープリント)データブロック*	変数	SMB フィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	DHCP フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。

表 B-49 ホストプロファイルデータブロック 5.1.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
オペレーティングシステムフィンガープリント(DHCPフィンガープリント)データブロック*	変数	DHCP フィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
汎用リストブロックタイプ	uint32	DHCP フィンガープリントを使用して識別されるフィンガープリントデータを伝える、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを構成する汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのオペレーティングシステムフィンガープリントデータブロックを含む)。
オペレーティングシステムフィンガープリント(モバイルデバイスフィンガープリント)データブロック*	変数	モバイルデバイスフィンガープリントを使用して識別されるホスト上のオペレーティングシステムに関する情報が含まれている、オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 オペレーティングシステムフィンガープリントデータブロック 5.1+(4-167 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	TCP サーバデータを伝えるサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのサーバデータブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のサーバデータブロックが続きます。
TCP サーバデータブロック	変数	TCP サーバを記述するホストサーバデータブロック(旧バージョンの製品で説明)。
リストブロックタイプ	uint32	UDP サーバデータを伝えるサーバデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのサーバデータブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のサーバデータブロックが続きます。
UDP サーバデータブロック	uint32	UDP サーバを記述するホストサーバデータブロック(旧バージョンの製品で説明)。
リストブロックタイプ	uint32	ネットワークプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。

表 B-49 ホストプロファイルデータブロック 5.1.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のプロトコルデータブロックが続きます。
ネットワークプロトコルのデータブロック	uint32	ネットワークプロトコルを記述するプロトコルデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 プロトコルデータブロック (4-79 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	トランスポートプロトコルデータを伝えるプロトコルデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リスト内のバイト数。この数には、リストブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイトと、カプセル化されたすべてのプロトコルデータブロックが含まれています。 このフィールドには、ゼロ以上のトランスポートプロトコルデータブロックが続きます。
トランスポートプロトコルデータブロック	uint32	トランスポートプロトコルを記述するプロトコルデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 プロトコルデータブロック (4-79 ページ) を参照してください。
リストブロックタイプ	uint32	MAC アドレスデータブロックを構成するリストデータブロックを開始します。この値は常に 11 です。
リストブロック長	uint32	リストのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべての MAC アドレスデータブロックを含む)。
ホスト MAC アドレスデータブロック	uint32	ホスト MAC アドレスを記述するホスト MAC アドレスデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 ホスト MAC アドレス 4.9+(4-120 ページ) を参照してください。
最終検出時のホスト	uint32	システムがホストのアクティビティを検出した最終時刻を表す UNIX タイムスタンプ。
ホストタイプ	uint32	ホストのタイプを示します。表示される可能性がある値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 0:ホスト • 1:ルータ • 2:ブリッジ • 3:NAT デバイス • 4:LB(ロードバランサ)
モバイル	uint8	検出したホストがモバイルデバイスであるかどうかを示す true/false フラグ。
改造	uint8	ホストが(ジェイルブレイクされていない)モバイルデバイスであるかどうかを示す true/false フラグ。

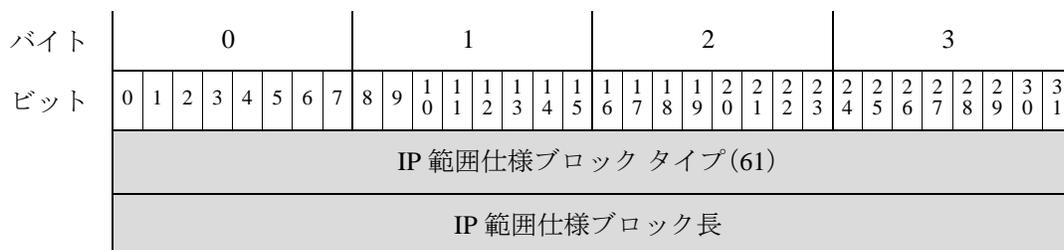
表 B-49 ホストプロファイルデータブロック 5.1.x のフィールド(続き)

フィールド	データタイプ	説明
VLANの有無	uint8	VLANが存在するかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> 0:はい 1:いいえ
VLAN ID	uint16	ホストがメンバーである VLAN を示す VLAN ID 番号。
VLAN タイプ	uint8	VLAN タグにカプセル化されたパケットのタイプ。
VLAN 優先順位	uint8	VLAN タグに含まれる優先順位値。
汎用リストブロックタイプ	uint32	クライアントアプリケーションデータを伝えるクライアントアプリケーションデータブロックで構成される汎用リストデータブロックを開始します。この値は常に 31 です。
汎用リストブロック長	uint32	汎用リストデータブロックのバイト数(リストヘッダーと、カプセル化されたすべてのクライアントアプリケーションデータブロックを含む)。
クライアントアプリケーションデータブロック	uint32	クライアントアプリケーションを記述するクライアントアプリケーションデータブロック。このデータブロックの説明の詳細については、 フルクライアントアプリケーションデータブロック 5.0+(4-160 ページ) を参照してください。
文字列ブロックタイプ	uint32	NetBIOS 名の文字列データブロックを開始します。この値は文字列データを示す 0 に設定されます。
文字列ブロック長	uint32	NetBIOS 名データブロックのバイト数を示します(文字列ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、および NetBIOS 名のバイト数を含む)。
NetBIOS 文字列データ	変数	ホストプロファイルに記述されているホストの NetBIOS 名が含まれます。

IP 範囲仕様データブロック 5.0 ~ 5.1.1.x

IP 範囲仕様データブロックは、一定範囲内の IP アドレスを伝えます。IP 範囲仕様データブロックは、ユーザプロトコル、ユーザクライアントアプリケーション、アドレス指定、ユーザ製品、ユーザサーバ、ユーザホスト、ユーザ脆弱性、ユーザ重要度、およびユーザ属性値の各データブロックで使用されます。IP 範囲仕様データブロックのブロックタイプは 61 です。

次の図は、IP 範囲仕様データブロックの形式を示しています。



バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
IP 範囲の開始																																
IP 範囲の終了																																

次の表は、IP 範囲仕様データブロックのコンポーネントについての説明です。

表 B-50 IP 範囲仕様データブロックのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
IP 範囲仕様データブロックタイプ	uint32	IP 範囲仕様データブロックを開始します。この値は常に 61 です。
IP 範囲仕様ブロック長	uint32	IP 範囲仕様データブロックのバイトの合計数(IP 範囲仕様ブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続く IP 範囲仕様データのバイト数を含む)。
IP 範囲仕様の開始	uint32	IP アドレス範囲の開始 IP アドレス。
IP 範囲仕様の終了	uint32	IP アドレス範囲の最終 IP アドレス。

アクセスコントロールポリシールール理由データブロック

eStreamer サービスは、アクセスコントロールルールのポリシールールの理由のデータブロックを使用して、アクセスコントロールポリシールール ID に関する情報を表示します。このデータブロックは、シリーズ 2 のブロックタイプ 21 です。

次の図に、アクセスコントロールポリシールール ID のメタデータブロックの構造を示します。

バイト	0								1								2								3							
ビット	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
アクセスコントロールポリシールールの理由のデータブロックタイプ(21)																																
アクセスコントロールポリシールールの理由のデータブロックの長さ																																
説明	理由																文字列ブロックタイプ(0)															
	文字列ブロックタイプ(0)(続き)																文字列ブロック長															
	文字列ブロック長(続き)																説明...															

次の表に、アクセスコントロールポリシールール ID のメタデータブロックのフィールドの説明を示します。

表 B-51 **アクセスコントロールポリシールール理由データブロックのフィールド**

フィールド	データタイプ	説明
アクセスコントロールポリシールール理由データブロックタイプ	uint32	アクセスコントロールポリシールール理由データブロックを開始します。この値は常に 21 です。
アクセスコントロールポリシールールの理由のデータブロックの長さ	uint32	アクセスコントロールポリシールール理由データブロックのバイトの合計数(アクセスコントロールポリシールール理由データブロックタイプと長さのフィールド用の 8 バイト、およびそれに続くデータのバイト数を含む)。
理由	uint16	イベントをトリガーしたルールの理由の番号。
文字列ブロックタイプ	uint32	アクセスコントロールポリシールール理由の説明を含む文字列データブロックを開始します。この値は常に 0 です。
文字列ブロック長	uint32	名前の文字列データブロックのバイト数です。ブロックタイプとヘッダーフィールドの 8 バイトと説明フィールドのバイト数が含まれます。
説明	string	ルールの理由の説明。

